

全 員 協 議 会

令和5年8月17日(木)
10時00分 ~ 時 分
全 員 協 議 会 室

〔出席議員〕

笹田議長、川神副議長

肥後議員、村木議員、大谷議員、三浦議員、沖田議員、村武議員、川上議員、
柳楽議員、串崎議員、小川議員、上野議員、布施議員、岡本議員、芦谷議員、
永見議員、佐々木議員、田畑議員、西田議員、牛尾議員

〔執行部〕

市長、副市長、教育長、総務部長、地域政策部長、都市建設部長、教育部長

〔事務局〕 局長、次長、大下書記

議 題

1 執行部報告事項

- (1) 令和5年7月8日から9日の大雨対応について (総務部)
- (2) 南極観測船「しらせ」入港歓迎事業について (総務部)
- (3) 浜田市行財政改革実施計画令和4年度実績及び令和5年度計画について (総務部)
- (4) 附属機関等の見直し(案)について (総務部)
- (5) 浜田市まちなか交流プラザの運用開始について (地域政策部)
- (6) 石見交道路線バス有福線の路線廃止に伴う再要望及び今後の対応について (地域政策部)
- (7) JR西浜田駅舎の更新、ホーム待合所の撤去等について (地域政策部)
- (8) 周布橋整備事業について (都市建設部)
- (9) 浜田郷土資料館建替え整備について (教育委員会)
- (10) その他

2 行政視察レポートについて

- (1) 総務文教委員会
- (2) 福祉環境委員会

3 議会改革に関する検討結果について

- (1) 第3回報告 議員選出監査委員の廃止について

4 地域井戸端会における回答について

5 その他

- (1) 自由討議について
- (2) その他

令和 5 年 7 月 8 日から 9 日の大雨対応について

下記のとおり対応状況を報告します。

記

1 時系列

7 月 8 日 7 日 16:40 から大雨注意報継続
 16:30 大雨に備えた対策会議
 自主避難所の開所（浜田 5、金城 6、旭 1、弥栄 2、三隅 1）
 夜間に高齢者等避難の発令可能性があったため
 （結果的に夜間の高齢者等避難の発令無し）

7 月 9 日

気象台

9:21 大雨警報（土砂災害）発表

島根県土砂災害予警報システム

11:30 下府町千畳苑付近の砂浜及び金城町広島県境付近で大雨警報（土砂災害）の土壌雨量指数の超過予測が出現したが、いずれも民家無しのため避難情報発令対象外

14:00 土砂災害の警報範囲縮小、消滅

気象台

22:40 大雨警報（土砂災害）解除

2 自主避難所開設状況

7 月 8 日

	避難所数	開所時間	閉所時間	避難者数
浜田地域	5	17:00～ 4 か所 17:20～ 1 か所	7/9 8:45	0
金城地域	6	17:00～	7/9 8:45	2 世帯 5 人
旭地域	1	17:00～	7/9 8:45	0
弥栄地域	2	17:00～	7/9 8:45	0
三隅地域	1	17:00～	7/9 8:45	0

※自主防災組織が開所

旭地域 1 か所(18:00 開所) 1 世帯 2 人

弥栄地域 1 か所(17:35 開所) 1 世帯 1 人

7 月 9 日

	避難所数	開所時間	閉所時間	避難者数
弥栄地域	2	9:55～	13:50	1 世帯 2 人

※自主防災組織が開所

浜田地域 1 か所(11:09 開所) 避難者なし

3 被害状況

12:36 停電（津摩町 約 130 戸） 14:30 解消

16:30 三隅町山田川樋門が逆流により閉門 19:00 開門

市道倒木 3 件（対応済通行可） 市道路肩崩落 1 件（年内通行止め）

県道落石・法面崩落 2 件（対応済通行可）

南極観測船「しらせ」入港歓迎事業について

1 入港艦艇：南極観測船（砕氷艦）「しらせ」【二代目】

- (1) 基準排水量：12,650 トン
- (2) 最大速度：19 ノット
- (3) 出力：30,000 馬力
- (4) 長さ：138m
- (5) 幅：28m
- (6) 深さ：15.9m
- (7) 喫水：9.2m
- (8) 乗員：175 名



2 背景：重要港湾「浜田港」の利用促進やPRの取り組みとして、クルーズ船等の誘致を行っており、その一環として海上自衛隊艦艇の浜田港寄港を受け入れている。

3 目的：南極観測船「しらせ」の浜田港入港に際して、児童生徒をはじめ多くの方に南極観測の学術的意義や地球環境の保全の重要性を認識いただくため、入港歓迎事業及び艦艇公開支援を行う。

4 入港日程：令和 5 年 9 月 8 日（金）～11 日（月）の 4 日間（予定）

月 日	時 間	行 事 等	備 考
9 月 8 日（金）	10：00	入港出迎え	実行委員会
	10：30～11：00	入港歓迎式典	場所：福井ふ頭
	11：00～12：00	特別公開（来賓）	実行委員会委員等
	13：00～15：00	特別公開	小・中学生対象
	18：30～20：00	艦上懇談会	舞鶴地方総監部主催
9 月 9 日（土）	09：00～16：00	一般公開	駐車場は、はまだお魚市場周辺
	13：30～16：30	乗員史跡研修	乗員を市内にご案内
	18：00～19：30	歓迎レセプション	実行委員会主催
	夕方～翌 8：30	艦内宿泊体験	市内高校の学生を対象
9 月 10 日（日）	09：00～16：00	一般公開	駐車場は、はまだお魚市場周辺
	13：30～16：30	乗員史跡研修	乗員を市内にご案内
9 月 11 日（月）	10：00	出港見送り	実行委員会

5 入港場所：浜田港福井ふ頭 第 3 号岸壁

6 主 催：しらせ入港歓迎事業実行委員会

7 一般公開及び、はまだお魚市場から福井ふ頭を往復するシャトルバス：無料

浜田市行財政改革実施計画

〔令和 4 年度実績・令和 5 年度計画〕

令和 5 年 7 月

浜 田 市

目次

I 令和4年度実績の概要	・・・P1
1 評価状況	・・・P1
2 財政効果額の状況	・・・P2
3 主な実績等	・・・P2
II 項目一覧表及び個票	・・・P5
個票	
1 将来を見据えた行政サービスの再構築	・・・P8
(1) 市民との協働によるまちづくりと民間活力の活用	
(2) スリムで機能的な行政の構築	
(3) 自治体DXの推進	
(4) 人材育成等の推進	
2 公共施設マネジメント	・・・P23
(1) 公共施設再配置実施計画の推進	
(2) インフラ資産等の長寿命化対策	
3 持続可能な財務体質への転換	・・・P30
(1) 財政健全化の推進	
(2) 特別会計等の経営健全化	
(3) 自主財源の確保	

I 令和4年度実績の概要

総括

計画期間1年目となる令和4年度については、概ね計画どおりの進捗状況にあると評価しています。

下水道事業における公民連携事業の進展、浜田浄苑の民間委託などに取り組みました。また、浜田漁港高度衛生管理型7号荷捌所への再生エネルギー導入事業を実施するなど新たな行政課題への対応を進めました。

自治体DXの推進に関しては、AI-OCR及び議事録作成支援システムの活用による業務時間の削減を図るとともに、オンライン申請の拡充を図るなど一定の成果があったところです。引き続き「いつでもどこでも行政手続き」の実現、市民サービスの向上、行政事務の効率化に向けた取組みを推進します。

1 評価状況[全54項目]

全54項目中47項目(87.0%)がA評価(うち2項目は計画終了)、7項目(13.0%)がB評価となっています。

■表1 令和4年度評価

(単位：項目)

3つの基本方針と重点取組項目	項目数 (終了)	評価状況		
		A (終了)	B (終了)	C (終了)
1 将来を見据えた行政サービスの再構築	27 <input type="checkbox"/>	23 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	0 <input type="checkbox"/>
(1) 市民との協働によるまちづくりと民間活力の活用	10 <input type="checkbox"/>	7 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	0 <input type="checkbox"/>
(2) スリムで機能的な行政の構築	9 <input type="checkbox"/>	8 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	0 <input type="checkbox"/>
(3) 自治体DXの推進	6 <input type="checkbox"/>	6 <input type="checkbox"/>	0 <input type="checkbox"/>	0 <input type="checkbox"/>
(4) 人材育成等の推進	2 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	0 <input type="checkbox"/>	0 <input type="checkbox"/>
2 公共施設マネジメント	14 <input type="checkbox"/>	11 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	0 <input type="checkbox"/>
(1) 公共施設再配置実施計画の推進	7 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	0 <input type="checkbox"/>
(2) インフラ資産等の長寿命化対策	7 <input type="checkbox"/>	6 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	0 <input type="checkbox"/>
3 持続可能な財務体質への転換	13 <input type="checkbox"/>	13 <input type="checkbox"/>	0 <input type="checkbox"/>	0 <input type="checkbox"/>
(1) 財政健全化の推進	4 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	0 <input type="checkbox"/>	0 <input type="checkbox"/>
(2) 特別会計等の経営健全化	5 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>	0 <input type="checkbox"/>	0 <input type="checkbox"/>
(3) 自主財源の確保	4 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	0 <input type="checkbox"/>	0 <input type="checkbox"/>
合計	54	47	7	0
構成比(%)	100.0	87.0	13.0	0.0

※ 令和5年度からは新規の3項目を加え、57項目(終了2項目含む)となります。

[凡例] 評価基準

評価区分 評価	〈ア〉 計画策定、各種見直し、外部化など	〈イ〉 毎年成果が求められるもの (財産活用、物件費見直しなど)	〈ウ〉 毎年実施し成果が見えないもの (職員研修、中期財政計画など)
A	進捗あり	計画どおりの成果があった	計画どおり実施した
B	進捗なし	計画に至らないが、成果があった	一部実施した
C	後退	成果がなかった	全く実施できなかった

2 財政効果額の状況

■表 2 財政効果額の状況

(単位：千円)

	財政効果額				
	R4	R5 (推計)	R6 (推計)	R7 (推計)	合計 (推計)
当初計画額[R3]	143,795	387,983	296,480	303,259	1,131,517
計画額[R4]	143,795	527,487	436,184	442,663	1,550,129
実績額又は推計額(R5以降は推計)	537,645	527,487	436,184	442,663	1,943,979
比較 [実績額] - [計画額R4]	393,850	0	0	0	393,850
(参考) 比較 [実績額] - [当初計画額]	393,850	139,504	139,704	139,404	812,462

※ 財政効果額は理論値を含みます。

3 主な実績等

1 将来を見据えた行政サービスの再構築

(1) 市民との協働によるまちづくりと民間活力の活用

ア 実績等

「5 公民連携手法の導入検討」(A評価。P10)では、公共下水道の管路整備において公民連携(DB方式)での事業推進を図った。

「10 浜田浄苑運営での民間活力の活用」(A評価。P12)では、令和5年4月から民間事業者への委託運営を開始した。(計画終了)

イ 新規項目

「11 成年後見制度利用促進に係る中核機関の整備」(新規。P13)では、権利擁護支援の受け皿として、地域連携ネットワーク及び中核機関を整備し、当該中核機関への外部委託を目指す。

(2) スリムで機能的な行政の構築

ア 実績等

「6 ひゃこるネットみすみの効率的運営」(A 評価。P16)では、加入者の光回線移行等を概ね完了し、計画どおり令和5年4月からのケーブルテレビ局統合を行った。

「9 任意協議会の見直し」(A 評価。P17)では、会議体のあり方について、の全庁的な検討を進めた。令和5年度には庁内方針を定め、各会議体と見直しに向けた協議を進めていく。

イ 新規項目

「10 郵便料金計器の導入による事務の効率化の検討」(新規。P18)は、日次で発生する郵便発送について、事務効率化、料金計算や発送通数ミスの防止等を図るため、郵便物の重量等を自動で読み取る計器の導入を検討

(3) 自治体 DX の推進

ア 実績等

「1 ICT を活用した業務最適化の推進」(A 評価。P18)について、AI 議事録作成支援システム導入(業務削減効果△400 時間)及び新型コロナウイルスワクチンの予診票点検での AI-OCR 導入(同△3,000 時間)により、計画時の150万円に対し、約750万円(時給換算した理論値)の効果があった。

「3 オンライン(電子)申請の拡充」(A 評価。P19)では、42 手続について令和5年2月からマイナポータルでの運用を開始した。

「5 マイナンバーカードの交付促進」(A 評価。P20)では、出張申請や休日窓口開設等を実施し、普及率78%(令和5年3月末時点全国平均67%)となった。

イ 新規項目

「7 浜田市掲示場の見直し」(新規。P21)は、自治体 DX の推進のため、告示等の情報を浜田市HPに掲載する運用を検討

(4) 人材育成等の推進

ア 実績等

「2 職員情報リテラシーの向上」(A 評価。P22)では、従来研修に加え、地方公共団体情報システム機構が提供する動画研修を職員向けに公開、活用した。

2 公共施設マネジメント

(1) 公共施設再配置実施計画の推進

ア 実績等

「4 公立幼稚園の統合」(A 評価。P24)では、公立幼稚園(原井、石見、長浜、美川)を統合し、令和5年4月から浜田幼稚園及び幼児教育センター(旧長浜幼稚園舎)を開設した。

「5 公共施設への再生可能エネルギー活用及び省エネ設備等導入検討」(A 評価。P25) では、浜田漁港高度衛生管理型荷捌所(7号)への再生可能エネルギー導入(PPA事業)を行った。

(2) インフラ資産等の長寿命化対策

ア 実績等

「2 水道施設の維持更新計画の策定、見直し及び推進」(B 評価。P27) では、防災上の重要性を考慮し、口径の大きい管路を中心に組み組んだため、更新延長は伸び悩んだものの、計画どおり管路の耐震化に取り組んだ。

「7 エコクリーンセンター長寿命化計画に基づく基幹的設備改良工事」(A 評価。P29) について、DBO方式での事業者選定を公募型プロポーザル方式で行った。総事業費約49億円(うち浜田市負担金約20億円)の事業であり、国等の交付金、補助金等を活用しながら、老朽化機器の延命、二酸化炭素排出量の削減等を図る。

3 持続可能な財務体質への転換

(1) 財政健全化の推進

ア 実績等

「1 スクラップ・フォー・ビルドによる事業推進」(A 評価。P30) では、計画どおり、当初予算編成時に各部裁量予算の縮減を図った。

(2) 特別会計等の経営健全化

ア 実績等

「2 (国保)ジェネリック医薬品の普及」(A 評価。P32) では、先発医薬品とジェネリック医薬品との差額通知等に取り組み、約250万円(計画170万円)の利用効果額となった。

「5 三隅地区終末処理場の統廃合」(A 評価。P34) では、三隅地区処理場の統合に伴う維持管理費の削減が図られた(計画約850万円→実績約1,000万円)。

(3) 自主財源の確保

ア 実績等

「1 市有財産の利活用」(A 評価。P34) では、計画外の市有地売却が進み、約28,000千円(計画約1,850万円)の売却収入があった。

「4 ふるさと寄附の推進」(A 評価。P36) では、新たなポータルサイト追加等により約12億1,000万円の寄附があった。また、企業版ふるさと納税では約1,700万円の寄附があった。次年度以降も特産品PR等に努め、4年間で50億円の目標達成に取り組む。

II 項目一覧表及び個票

1 将来を見据えた行政サービスの再構築

(単位：千円)

項目名	区分	財政効果額、各年度の進捗評価					合計 (推計)	ページ
		R4	R5 (推計)	R6 (推計)	R7 (推計)			
(1) 市民との協働によるまちづくりと民間活力の活用	計画額	1,515	1,115	415	1,715	4,760		
	実績額	1,296	1,115	415	1,715	4,541		
1 協働のまちづくりの推進 (地区まちづくり推進委員会の設立推進)	評価ウ	B	-	-	-	-	8	
2 まちづくりセンターの検証	評価ア	A	-	-	-	-	8	
3 まちづくり総合交付金の検証	評価ア	A	-	-	-	-	9	
4 指定管理者制度の効率的な運営	評価ウ	B	-	-	-	-	9	
5 公民連携手法の導入検討	評価ア	A	-	-	-	-	10	
6 公募委員の推進、審議会等委員体制の見直し	評価ア	A	-	-	-	-	10	
7 投票事務での外部人材登用	評価イ	B	-	-	-	-	11	
	計画額	1,100	700	0	1,300	3,100		
	実績額	881	700	0	1,300	2,881		
8 放課後児童クラブ運営での民間活力の活用	評価ア	A	-	-	-	-	11	
	計画額	415	415	415	415	1,660		
	実績額	415	415	415	415	1,660		
9 不燃ごみ処理場運営での民間活力の活用	評価ア	A	-	-	-	-	12	
10 浜田浄苑運営での民間活力の活用【R4終了】	評価ア	A					12	
11 成年後見制度利用促進に係る中核機関の整備 新規	評価ア	-	-	-	-	-	13	
(2) スリムで機能的な行政の構築	計画額	92,000	157,000	203,000	206,000	658,000		
	実績額	324,137	157,000	203,000	206,000	890,137		
1 定員適正化計画の管理・推進	評価イ	A	-	-	-	-	13	
	計画額	92,000	157,000	203,000	206,000	658,000		
	実績額	324,137	157,000	203,000	206,000	890,137		
2 適切な給与水準の維持	評価ア	A	-	-	-	-	14	
3 時間外勤務の抑制	評価イ	A	-	-	-	-	14	
4 現業業務の見直し	評価ア	A	-	-	-	-	15	
5 組織機構の見直し	評価ア	B	-	-	-	-	15	
6 ひゃこるネットみすみの効率的運営	評価ア	A	-	-	-	-	16	
7 浜田市消防団の再編	評価ア	A	-	-	-	-	16	
8 浜田市教育文化振興事業団のあり方見直し	評価ア	A	-	-	-	-	17	
9 任意協議会等の見直し	評価ア	A	-	-	-	-	17	
10 郵便料金計器の導入による事務の効率化の検討 新規	評価ア	-	-	-	-	-	18	
(3) 自治体DXの推進	計画額	1,540	2,200	2,200	2,200	8,140		
	実績額	7,480	2,200	2,200	2,200	14,080		
1 ICTを活用した業務最適化の推進	評価イ	A	-	-	-	-	18	
	計画額	1,540	2,200	2,200	2,200	8,140		
	実績額	7,480	2,200	2,200	2,200	14,080		
2 業務システムの最適化	評価ア	A	-	-	-	-	19	
3 オンライン(電子)申請の拡充	評価イ	A	-	-	-	-	19	
4 SNS活用による行政情報の発信	評価ウ	A	-	-	-	-	20	
5 マイナンバーカードの交付促進	評価イ	A	-	-	-	-	20	
6 情報システムの耐災害性の向上	評価ア	A	-	-	-	-	21	
7 浜田市掲示場の見直し 新規	評価ア	-	-	-	-	-	21	
(4) 人材育成等の推進		0	0	0	0	0		
1 新たな人材育成基本方針等の策定と同方針に基づく人事管理	評価ア	A	-	-	-	-	22	
2 職員情報リテラシーの向上	評価ウ	A	-	-	-	-	22	
小計	計画額	95,055	160,315	205,615	209,915	670,900		
	実績額	332,913	160,315	205,615	209,915	908,758		
比較 [実績額] - [計画額]		237,858	0	0	0	237,858		

※斜字は特別会計のため参考額。また、上記財政効果額は理論値を含む。

※財政効果額を見込んでいない項目については評価のみ記載。

2 公共施設マネジメント

(単位：千円)

項目名	区分	財政効果額、各年度の進捗評価					ページ
		R4	R5 (推計)	R6 (推計)	R7 (推計)	合計 (推計)	
(1) 公共施設再配置実施計画の推進	計画額	156	17,889	73,286	76,765	168,096	
	実績額	156	17,889	73,286	76,765	168,096	
1 公共施設再配置実施計画の推進	評価イ	A	-	-	-	-	23
	計画額	156	16,889	72,286	75,765	165,096	
	実績額	156	16,889	72,286	75,765	165,096	
2 コミュニティ活用施設等のあり方見直し	評価ア	A	-	-	-	-	23
3 学校給食施設の統合	評価ア	B	-	-	-	-	24
4 公立幼稚園の統合	評価ア	A	-	-	-	-	24
	計画額	0	1,000	1,000	1,000	3,000	
	実績額	0	1,000	1,000	1,000	3,000	
5 公共施設への再生可能エネルギー活用及び省エネ設備等導入検討	評価ア	A	-	-	-	-	25
6 指定管理者制度導入施設の見直し【あさひやすらぎの家】	評価ア	A	-	-	-	-	25
7 災害公営住宅の譲渡	評価ア	B	-	-	-	-	26
(2) インフラ資産等の長寿命化対策		0	0	0	0	0	
1 学校施設長寿命化の推進	評価イ	A	-	-	-	-	26
2 水道施設の維持更新計画の策定、見直し及び推進	評価イ	B	-	-	-	-	27
3 下水道施設（農業集落排水含む）長寿命化の推進	評価イ	A	-	-	-	-	27
4 農道、林道橋個別施設計画に基づく計画的な調査点検	評価イ	A	-	-	-	-	28
5 インフラ資産（トンネル、都市公園、橋梁、横断歩道橋）長寿命化の推進	評価イ	A	-	-	-	-	28
6 公営住宅等長寿命化の推進	評価イ	A	-	-	-	-	29
7 エコクリーンセンター長寿命化計画に基づく基幹的設備改良工事	評価イ	A	-	-	-	-	29
小計	計画額	156	17,889	73,286	76,765	168,096	
	実績額	156	17,889	73,286	76,765	168,096	
比較 [実績額] - [計画額]		0	0	0	0	0	

※斜字は特別会計のため参考額。また、上記財政効果額は理論値を含む。

※財政効果額を見込んでいない項目については評価のみ記載。

3 持続可能な財務体質への転換

(単位：千円)

項目名	区分	財政効果額、各年度の進捗評価					ページ
		R4	R5 (推計)	R6 (推計)	R7 (推計)	合計 (推計)	
(1) 財政健全化の推進	計画額	28,788	57,483	383	483	87,137	
	実績額	30,245	57,483	383	483	88,594	
1 スクラップ・フォー・ビルドによる事業推進	評価イ	A	-	-	-	-	30
	計画額	28,600	57,200	0	0	85,800	
	実績額	28,600	57,200	0	0	85,800	
2 中期財政計画に基づく事業実施	評価ウ	A	-	-	-	-	30
3 自治体健全化法への対応	評価ウ	A	-	-	-	-	31
4 広島プロジェクト推進事業費の見直し	評価イ	A	-	-	-	-	31
	計画額	188	283	383	483	1,337	
	実績額	1,645	283	383	483	2,794	
(2) 特別会計等の経営健全化（※参考額として表示）	計画額	10,642	11,436	12,180	12,924	47,182	
	実績額	13,882	7,836	12,180	12,924	13,882	
1 (国保) 保健事業の推進	評価ア	A	-	-	-	-	32
	計画額	0	50	50	50	150	
	実績額	0	50	50	50	150	
2 (国保) ジェネリック医薬品の普及	評価イ	A	-	-	-	-	32
	計画額	1,771	1,771	1,771	1,771	7,084	
	実績額	2,550	1,771	1,771	1,771	7,863	
3 水道経営戦略の見直し【R4終了】	評価ア	A					33
4 下水道事業（公共、農集、漁集）の経営健全化	評価イ	A	-	-	-	-	33
	計画額	372	1,116	1,860	2,604	5,952	
	実績額	539	1,116	1,860	2,604	6,119	
5 三隅地区終末処理場の統廃合	評価ア	A	-	-	-	-	34
	計画額	8,499	8,499	8,499	8,499	33,996	
	実績額	10,793	4,899	8,499	8,499	32,690	
(3) 自主財源の確保	計画額	19,796	291,800	156,900	155,500	623,996	
	実績額	174,331	291,800	156,900	155,500	778,531	
1 市有財産の利活用	評価イ	A	-	-	-	-	34
	計画額	18,500	150,800	15,900	14,500	199,700	
	実績額	28,159	150,800	15,900	14,500	209,359	
2 使用料及び手数料の見直し	評価ア	A	-	-	-	-	35
3 市税の収納率向上	評価イ	A	-	-	-	-	35
	計画額	1,296	141,000	141,000	141,000	424,296	
実績額	146,172	141,000	141,000	141,000	569,172		
4 ふるさと寄附の推進	評価イ	A	-	-	-	-	36
小計	計画額	48,584	349,283	157,283	155,983	711,133	
	実績額	204,576	349,283	157,283	155,983	867,125	
比較 [実績額] - [計画額]		155,992	0	0	0	155,992	
合計	計画額	143,795	527,487	436,184	442,663	1,550,129	
	実績額	537,645	527,487	436,184	442,663	1,943,979	

※斜字は特別会計のため参考額。また、上記財政効果額は理論値を含む。

※財政効果額を見込んでいない項目については評価のみ記載。

1 (1) 1

項目名	協働のまちづくりの推進(地区まちづくり推進委員会の設立推進)						
担当部署	部		課		取組期間		
	地域政策部		地域活動支援課		R4 ~ R7		
取組概要							
<p>・地区まちづくり推進委員会未設立の地区に対し、地域の実情に応じた組織化への支援を行う。 ・浜田市協働のまちづくり推進条例及び浜田市協働のまちづくり推進計画に基づき、まちづくりフォーラムや研修会等を開催し、市民及び職員の意識の醸成を図る。</p>							
取組工程			R4	R5	R6	R7	備考
		計画	推進	推進	推進	推進	
		実績	推進				
数値による進捗管理		R3(現状)	R4	R5	R6	R7	備考
組織率(%)		計画	80.5	82	86	88	90
		実績	80.5				
年度評価(区分)			B				
年度計画及び実績(評価理由等)							
R4	計画	<p>・まちづくりセンター及びまちづくりコーディネーターと連携し、浜田地域における地区まちづくり推進委員会の組織化を促す。また、まちづくりフォーラム及び職員研修の開催により、市民及び市職員の協働のまちづくりに対する意識の醸成を図る。</p>					
	実績	<p>(1)まちづくりコーディネーター、まちづくりセンター、関係課等と連携し地区まちづくり推進委員会設立準備会の設立促進及び設立準備会等の話し合いや活動支援を行った。 ①地区まちづくり推進委員会の設立支援(6地区) ・定例会への参加 ・住民アンケート実施の支援 ・まちづくり事業の企画、運営 (2)協働研修会及びまちづくりフォーラムを実施し、市民及び市職員の協働のまちづくりに対する意識の醸成を図った。 ①協働推進研修会の実施(2回:講演方式、オンデマンド方式) 対象:市民、まちづくり活動、市議会議員等 ②協働推進研修の実施(2回:オンデマンド方式) 対象:市職員(全職員)、まちづくりセンター職員 ③協働のまちづくりフォーラムの開催(1回:発表方式) 対象:市民、まちづくり活動団体等 参加者数:180名(スタッフ含む)</p>					
R5	計画	<p>・まちづくりセンター及びまちづくりコーディネーターと連携し、浜田地域における地区まちづくり推進委員会の組織化を更に促す。また、まちづくりフォーラム及び職員研修の開催により、引き続き市民及び市職員の協働のまちづくりに対する意識の醸成を図る。</p>					
	実績						

1 (1) 2

項目名	まちづくりセンターの検証						
担当部署	部		課		取組期間		
	地域政策部		まちづくり社会教育課		R4 ~ R7		
取組概要							
<p>・協働のまちづくり検討部会において、まちづくりセンターの検証を行い、令和6年度以降の方向性を定める。</p>							
取組工程			R4	R5	R6	R7	備考
		計画	検証	検証	-	-	
		実績	検証				
年度評価(区分)			A				
年度計画及び実績(評価理由等)							
R4	計画	<p>協働のまちづくり検討部会を3回開催し、以下事項について協議を行う。 ・明確な検証項目を設定する。 ・検証項目に基づき、令和4年度に検証を行い、年度末に中間報告を実施する。</p>					
	実績	<p>協働のまちづくり検討部会を3回開催し、年度末に以下の調査結果について、中間報告を行った。 ・まちづくりセンター及び地区まちづくり推進委員会へのアンケート調査結果 ・他自治体の公民館及びコミュニティセンターの現況調査結果</p>					
R5	計画	<p>協働のまちづくり検討部会を約5回程度開催し、以下の評価検証作業を行う。 ・まちづくりセンター利用者及び市民アンケート調査の実施 ・まちづくりセンターへのヒアリングや視察 ・令和6年度の報告書作成に向けたまとめ作業</p>					
	実績						

1	(1)	3					
項目名		まちづくり総合交付金の検証					
担当部署		部	課		取組期間		
		地域政策部	地域活動支援課		R4 ~ R5		
取組概要							
・各団体の活動実績や交付金の支出状況等の調査を行い、まちづくり総合交付金制度が有効的に活用されているかの検証を行う。							
取組工程			R4	R5	R6	R7	備考
		計画	継続(→)	検証	継続(→)	継続(→)	
		実績	継続(→)				
年度評価(区分ア)			A				
年度計画及び実績(評価理由等)							
R4	計画	・各団体の実績報告の内容を調査し、支出状況等の分析を行う。また、必要に応じて団体へのヒアリング等を行う。					
	実績	・各団体の実績報告を基に支出状況等の分析を行うとともに、地区まちづくり推進委員会においては、連絡会で活動及び交付金の執行状況について意見交換を実施した。また、町内会等においては、まちづくり総合交付金事務取扱説明会を行うとともに町内会等の活動をまとめた事例集を作成し配布した。					
R5	計画	・浜田市まちづくり総合交付金制度検証・検討委員会において関係者の意見聴取やアンケートを実施し、これまでの活用状況の分析結果と合わせて中間検証を行う。					
	実績						

1	(1)	4					
項目名		指定管理者制度の効率的な運営					
担当部署		部	課		取組期間		
		総務部	行財政改革推進課		R4 ~ R7		
取組概要							
<ul style="list-style-type: none"> ・公募による事業者選定の推進 ・指定管理者制度運用ガイドラインの改訂 ・効率的な制度運営に向けた調査・研究 							
取組工程			R4	R5	R6	R7	備考
		計画	継続(→)	継続(→)	継続(→)	継続(→)	
		実績	継続(→)				
数値による進捗管理		R3(現状)	R4	R5	R6	R7	備考
公募施設数/総施設数		27/64	-	-	-	-	
		計画					
		実績	21/61				
年度評価(区分ウ)			B				
年度計画及び実績(評価理由等)							
R4	計画	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年3月更新施設の公募および指名の手続きを進める。 ・再公募となった公募施設の方針を決定し令和5年度開始に向けた手続きを進める。 					
	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅施設における募集区分の見直しや選定後の指定管理者辞退等により、公募施設の割合は減少した。 ・令和5年3月からの更新に向けて、美又温泉国民保養センター、あさひ荘の再公募を含む7件の公募及び10件の指名(新規：ふるさと体験村、石州和紙会館含む)手続きを進めた。 ・令和6年4月更新施設の公募及び指名の手続きを進める。 					
R5	計画						
	実績						

1	(1)	5					
項目名		公民連携手法の導入検討					
担当部署		部	課		取組期間		
		総務部、上下水道部	行財政改革推進課、下水道課		R4 ~ R7		
取組概要							
<p>・効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図るため、新たな公民連携手法を検討する。 (下水道整備でのDB方式を検討) ※公民連携(PPP…パブリック・プライベート・パートナーシップ):民間と行政が連携して公共サービスの提供を行う仕組み。公共施設整備におけるDB(デザイン・ビルド)方式や運営までを任せるDBO(デザイン・ビルド・オペレーション)方式等が含まれる。</p>							
取組工程			R4	R5	R6	R7	備考
		計画	検討	導入	継続(→)	継続(→)	
		実績	導入				
数値による進捗管理		R3(現状)	R4	R5	R6	R7	備考
のべ公民連携導入事業数(件)		計画	0	1	1	1	
		実績	1				
年度評価(区分ア)			A				
年度計画及び実績(評価理由等)							
R4	計画	・下水道整備のDB方式について、令和4年度に実施方針案を作成、公表し、プロポーザル方式により事業者募集、選定を行う。					
	実績	・管路整備事業について、実施方針に基づき公募型プロポーザルを実施し、管路DBの契約候補者の選定を行った。また、契約候補者と当該事業に関する基本協定書を締結した。					
R5	計画	・管路DBは、R4年度に締結した基本協定書に基づき、設計・工事監理業務の契約を締結する。設計成果品完成の上は、速やかに工事に着手する。 ・処理場建設においても、効果的で実現可能な公民連携手法を検討し、事業者募集、選定を行う。					
	実績						

1	(1)	6					
項目名		公募委員の推進、審議会等委員体制の見直し					
担当部署		部	課		取組期間		
		総務部	行財政改革推進課 他		R4 ~ R7		
取組概要							
<p>・「附属機関等の設置及び構成員の専任等に関する指針」に基づき、審議会委員等の公募を推進するとともに、同指針による多選、重複などの取り決めについて再度周知していく。 ・各審議会等委員の女性参画率向上のため、「浜田市男女共同参画推進計画」に基づいた取り組みを進める。</p>							
取組工程			R4	R5	R6	R7	備考
		計画	実施	継続(→)	継続(→)	継続(→)	
		実績	実施				
数値による進捗管理		R3(現状)	R4	R5	R6	R7	備考
公募委員数(人)		計画	11	-	-	-	
		実績	11				
年度評価(区分ア)			A				
年度計画及び実績(評価理由等)							
R4	計画	・指針について各課へ再周知、公募委員の推進を依頼する。また、委員選定状況の調査を行う。 ・審議会等の女性参画率向上のため、各委員会や担当課へ意識改革の働きかけを行う。					
	実績	・任意協議会等の見直しとあわせて、令和5年1月に指針を改定した。新たな指針における附属機関等のあり方について、庁内方針の検討作業を進めた。					
R5	計画	・附属機関、任意協議会等の見直しを推進する。 ・審議会等の公募委員、女性参画率向上のため、各委員会や担当課へ意識改革の働きかけを行う。					
	実績						

1	(1)	7	
項目名	投開票事務での外部人材登用		
担当部署	部	課	
	健康福祉部	選挙管理委員会事務局	
		取組期間	
		R4 ~ R7	
取組概要			
・投開票事務へ非正規職員、外部人材(大学生・シルバー人材センター等)を積極的に活用する。			
取組工程		R4 R5 R6 R7 備考	
計画		推進 推進 検討 推進	
実績		推進	
数値による進捗管理	R3(現状)	R4 R5 R6 R7 備考	
外部人材従事者数(人)	計画	109 70 70 0 130	
	実績	90	
財政効果額(千円)		R4 R5 R6 R7 備考	
外部人材従事者効果額	計画	単年	1,100 700 0 1,300
		累計	1,100 1,800 1,800 3,100
	実績	単年	881
		累計	881 881 881 881
年度評価(区分)		B	
年度計画及び実績(評価理由等)			
R4	計画	・参議院議員選挙があり、選挙事務に外部人材(会計年度任用職員・大学生・シルバー人材センター等)等の登用を行い、経費削減と啓発を行う。	
	実績	・参議院議員選挙、県知事選挙及び県議会議員選挙期日前投票があり、選挙事務に外部人材(会計年度任用職員・大学生・シルバー人材センター等)等の登用を行い、経費削減と啓発に努めた。	
R5	計画	・県知事選挙及び県議会議員選挙があり、選挙事務に外部人材(会計年度任用職員・大学生・シルバー人材センター等)等の登用を行い、経費削減と啓発を行う。	
	実績		

1	(1)	8	
項目名	放課後児童クラブ運営での民間活力の活用		
担当部署	部	課	
	健康福祉部	子ども・子育て支援課	
		取組期間	
		R4 ~ R7	
取組概要			
・令和3年度時点で直営の児童クラブは13、地域団体や社会福祉法人へ委託している児童クラブは7となっている。 ・現在、直営で実施している放課後児童クラブについては、民間ノウハウ等を活用するため、順次民間委託を進める。			
取組工程		R4 R5 R6 R7 備考	
計画		実施 実施 実施 実施	
実績		実施	
数値による進捗管理	R3(現状)	R4 R5 R6 R7 備考	
外部委託数/クラブ総数	計画	7/20 9/20 9/20 9/20 9/20	
	実績	9/20	
財政効果額(千円)		R4 R5 R6 R7 備考	
事務職員人件費(@2,700千円)削減効果額	計画	単年	415 415 415 415
		累計	415 830 1,245 1,660
	実績	単年	415
		累計	415 415 415 415
年度評価(区分)		A	
年度計画及び実績(評価理由等)			
R4	計画	・令和4年度から国府小学校のかもめ学級放課後児童クラブ及びびかぜの子学級放課後児童クラブの外部委託を開始する。 ・引き続き、放課後児童クラブの民間委託についての検討を行う。	
	実績	・令和4年度から国府小学校のかもめ学級放課後児童クラブ及びびかぜの子学級放課後児童クラブの外部委託を開始した。 ・市内の保育所等を運営する社会福祉法人に対し、民間委託の意向確認の調査を実施し、2法人に意向があることを確認した。	
R5	計画	・令和5年度中に民間委託を実施する放課後児童クラブを1か所程度選定し、受託者を公募して、令和6年度からの外部委託を開始する。	
	実績		

1	(1)	9
項目名	不燃ごみ処理場運営での民間活力の活用	
担当部署	部	課
	市民生活部	環境課
	取組期間	
	R4 ~ R7	
取組概要		
<ul style="list-style-type: none"> 安定した施設の運営管理を行い、市民サービスの向上を図るため、専門性の高い民間事業者への業務委託を目指す。 また、業務委託にあたっては、現職員の退職年度や他部署の現業職員の配置状況を踏まえながら進める。 		
取組工程		R4
	計画	調査研究
	実績	調査研究
		R5
		検討
		R6
		継続(→)
		R7
		継続(→)
		備考
年度評価(区分A)		
A		
年度計画及び実績(評価理由等)		
R	計画	・外部委託に向けた調査研究。
4	実績	・外部委託に向けた調査研究を行った。
R	計画	・外部委託に向けた調査研究。 ・関係者協議を行い仕様書等の検討を行う。
5	実績	

1	(1)	10
項目名	浜田浄苑運営での民間活力の活用	
担当部署	部	課
	市民生活部	環境課
	取組期間	
	R4 ~ R4	
取組概要		
<ul style="list-style-type: none"> 安定した施設の運営管理を行い、市民サービスの向上を図るため、専門性の高い民間事業者への業務委託を目指す。 また、業務委託にあたっては、現職員の退職年度や他部署の現業職員の配置状況を踏まえながら進める。 		
取組工程		R4
	計画	調整
	実績	実施
		R5
		-
		R6
		-
		R7
		-
		備考
年度評価(区分A)		
A		
年度計画及び実績(評価理由等)		
R	計画	・委託先の検討、選定、決定を進める。 ・受託者への引継を進める。
4	実績	・委託先(受注者)を決定し、施設の管理運営業務委託契約を締結のうえ、令和5年4月から委託を開始した。 ・委託先(受注者)において、し尿処理業務を適切に行い、施設の安定した管理運営を行う。【計画終了】
R	計画	
5	実績	

1	(1)	11	(R5新規)				
項目名		成年後見制度利用促進に係る中核機関の整備					
担当部署		部	課	取組期間			
		健康福祉部	健康医療対策課	R5 ~ R5			
取組概要							
<ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護支援の地域連携ネットワーク及び中核機関を整備し、外部委託する。 ・受託機関が相談機能・成年後見制度利用促進機能・後見人支援機能・広報機能を担うことにより、法律・福祉職等が様々なケースに対応し、地域の専門職や幅広い関係者との信頼関係を維持発展させ、地域における連携・対応強化を継続的に推進していくことが期待できる。 							
取組工程			R4	R5	R6	R7	備考
		計画		検討	実施	実施	
		実績					
数値による進捗管理		R3(現状)	R4	R5	R6	R7	備考
受託機関数		計画		0	1	1	
		実績					
年度評価(区分ア)							
年度計画及び実績(評価理由等)							
R4	計画						
	実績						
R5	計画	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度の委託に向けて受託可能な機関の検討を行う。 ・役割を明確化し、具体的な実施に向けて協議する。 					
	実績						

1	(2)	1					
項目名		定員適正化計画の管理・推進					
担当部署		部	課	取組期間			
		総務部	人事課	R4 ~ R7			
取組概要							
<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度に策定した定員適正化計画に基づき、退職者の3分の2採用(技能労務職の不採用、消防職除く。)により、令和10年4月1日の常勤職員数(消防除く。)の目標値を463人とする。 ・また、公務員の定年引上げに係る法改正の制度趣旨を踏まえた定員計画を検討する。 							
取組工程			R4	R5	R6	R7	備考
		計画	継続(→)	継続(→)	継続(→)	継続(→)	
		実績	継続(→)				
数値による進捗管理		R3(現状)	R4	R5	R6	R7	備考
職員数(人)		計画	520	508	498	491	487
		実績	504	486			
財政効果額(千円)			R4	R5	R6	R7	備考
【理論値】常勤職員人件費(消防除く。)削減額		計画	単年	92,000	157,000	203,000	206,000
			累計	92,000	249,000	452,000	658,000
		実績	単年	324,137			
			累計	324,137	324,137	324,137	324,137
年度評価(区分イ)			A				
年度計画及び実績(評価理由等)							
R4	計画	<ul style="list-style-type: none"> ・公務員の定年引上げに係る制度改正を踏まえた定員管理を検討する。 ・また、様々な任用制度を活用した人員配置を進めていく。 					
	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・定員適正化計画に基づく職員採用を行った。 ・定員適正化計画との乖離(8名)は職員採用決定後に申し出のあった退職等の累積等によるもの。 					
R5	計画	<ul style="list-style-type: none"> ・公務員の定年引上げを踏まえ、定員適正化計画の見直しを行う。 ・また、様々な任用制度を活用した人員配置を進めていく。 					
	実績						

1	(2)	2					
項目名		適切な給与水準の維持					
担当部署		部	課		取組期間		
		総務部	人事課		R4 ~ R7		
取組概要							
・国人事院勧告及び島根県人事委員会勧告を踏まえ、勧告された内容を検討し、給与改定を行う。							
取組工程			R4	R5	R6	R7	備考
		計画	実施	実施	実施	実施	
		実績	実施				
数値による進捗管理		R3(現状)	R4	R5	R6	R7	備考
ラスパイレース指数(行政職)		計画	98.1	平均以下	平均以下	平均以下	平均以下
		実績	97.7				県内8市平均以下
年度評価(区分)			A				
年度計画及び実績(評価理由等)							
R4	計画	・国人事院勧告及び島根県人事委員会勧告を踏まえ、勧告された内容を検討し、給与改定を行う。					
	実績	・国人事院勧告及び島根県人事委員会勧告を踏まえ、勧告された内容を検討し、給与改定を行った。(県内市平均：98.7)					
R5	計画	・引き続き国人事院勧告及び島根県人事委員会勧告を踏まえ、勧告された内容を検討し、給与改定を行う。					
	実績						

1	(2)	3					
項目名		時間外勤務の抑制					
担当部署		部	課		取組期間		
		総務部	人事課		R4 ~ R7		
取組概要							
・時間外勤務の上限規制(原則月45時間、年360時間)を踏まえ、管理職等による業務の進捗管理や適切な時間外勤務命令を徹底し、時間外勤務を抑制する。							
取組工程			R4	R5	R6	R7	備考
		計画	実施	実施	実施	実施	
		実績	実施				
数値による進捗管理		R3(現状)	R4	R5	R6	R7	備考
時間外勤務時間(時間)		計画	52,500	52,000	51,500	51,000	
		実績	45,748	49,708			
年度評価(区分)			A				
年度計画及び実績(評価理由等)							
R4	計画	・時間外勤務の上限規制を遵守するため、月間、年間及び複数月の勤務状況を踏まえ、所属長と人事課で要因や改善策等の協議を行う。					
	実績	・時間外勤務が月45時間や年360時間を超える見込みの職員について、所属長と要因や改善策等の協議を行った。また、3か月ごとに管理職の時間外在庁時間についても各所属長に周知した。					
R5	計画	・引き続き時間外勤務の上限規制を遵守するため、月間、年間及び複数月の勤務状況を踏まえ、所属長と人事課で要因や改善策等の協議を行う。					
	実績						

1	(2)	4					
項目名		現業業務の見直し					
担当部署		部	課		取組期間		
		総務部	人事課 他		R4 ~ R7		
取組概要							
退職不採用の方針の下、現業業務の整理と職員の再配置の検討を進めていく。対象の業務(環境・道路パトロール、学校用務、マイクロバスの運行等)運営について、可能な業務から外部化や非常勤化を進めていく。							
取組工程			R4	R5	R6	R7	備考
		計画	継続(→)	継続(→)	継続(→)	継続(→)	
		実績	継続(→)				
年度評価(区分ア)			A				
年度計画及び実績(評価理由等)							
R4	計画	・引き続き退職不採用の方針とし、外部化を含めた現業業務の整理と職員の再配置の検討を進めていく。					
	実績	・令和4年度退職者4名について、技能労務職員の配置見直し等を行い対応した。					
R5	計画	・引き続き退職不採用の方針とし、外部化を含めた現業業務の整理と職員の再配置の検討を進めていく。					
	実績						

1	(2)	5					
項目名		組織機構の見直し					
担当部署		部	課		取組期間		
		総務部	行財政改革推進課 他		R4 ~ R7		
取組概要							
<ul style="list-style-type: none"> 毎年、各部の主管課長を部員とした組織機構部会を開催し、各部の状況をきちんと把握したうえで、次年度の組織機構の見直しを図る。 また、事務事業量調査結果及び定年引上げに伴う定員管理等を踏まえ、支所体制も含めた抜本的な組織改正を検討していく。 							
取組工程			R4	R5	R6	R7	備考
		計画	実施	実施	抜本改正	実施	
		実績	実施				
数値による進捗管理		R3(現状)	R4	R5	R6	R7	備考
課数/係数		71/156	スリム化	→	→	→	
		実績	70/156				
年度評価(区分ア)			B				
年度計画及び実績(評価理由等)							
R4	計画	<ul style="list-style-type: none"> 行政機構部会において各部の提案等を調査し、より効率的な機構の構築を進める。 令和3年度末時点 10部71課(4内室)156係 					
	実績	<ul style="list-style-type: none"> 4月にデジタル推進室の新設、子育て支援課の再編、ワクチン対策室の設置、地籍調査課の廃止等を行い、10月に上下水道の管理業務統合等を実施。 10部70課(5内室)156係 					
R5	計画	<ul style="list-style-type: none"> 行政機構部会において各部の提案等を調査し、より効率的な機構の構築を進める。 					
	実績						

1	(2)	6					
項目名	ひゃこるネットみすみの効率的運営						
担当部署	部	課			取組期間		
	三隅支所	防災自治課 他			R4 ~ R7		
取組概要							
<p>・ケーブルテレビ局を統合することにより、職員、会計年度職員の人員が削減できる。 ※正規職員1人役+会計年度任用職員2人(0.7人役×2)</p>							
取組工程			R4	R5	R6	R7	備考
		計画	推進	統合	継続(→)	継続(→)	
		実績	推進				
数値による進捗管理		R3(現状)	R4	R5	R6	R7	備考
職員数(人役)		計画	2.4	1.7	0	0	
		実績	2.4				
年度評価(区分ア)			A				
年度計画及び実績(評価理由等)							
R4	計画	<ul style="list-style-type: none"> 閉局へ向けての準備 光回線への完全移行 					
	実績	<ul style="list-style-type: none"> 休止加入者等を除き、全ての加入者が光回線へ移行したため、3月末で局を閉じた。なお、休止加入者等の移行及び閉局後の残務整理は次年度に行う。 					
R5	計画	<ul style="list-style-type: none"> 閉局後の残務整理 光回線への移行(休止家屋等) 					
	実績						

1	(2)	7					
項目名	浜田市消防団の再編						
担当部署	部	課			取組期間		
	消防本部	警防課			R4 ~ R7		
取組概要							
<p>・消防団施設のあり方検討会において、組織の編成、車庫、車両の適正な配備を検討し、持続可能な消防団組織となるよう見直しを図る。</p>							
取組工程			R4	R5	R6	R7	備考
		計画	実施	検討	検討	検討	
		実績	実施				
数値による進捗管理		R3(現状)	R4	R5	R6	R7	備考
消防団車庫の廃止数		計画	3	0	4	1	
		実績	1				
年度評価(区分ア)			A				
年度計画及び実績(評価理由等)							
R4	計画	<ul style="list-style-type: none"> 井野分団1、2班車庫を統合し、新築する。 					
	実績	<ul style="list-style-type: none"> 実施済 					
R5	計画	<ul style="list-style-type: none"> 計画なし 					
	実績						

1	(2)	8					
項目名	浜田市教育文化振興事業団のあり方見直し						
担当部署	部			課		取組期間	
	教育部			文化スポーツ課		R4 ~ R7	
取組概要							
・公益財団法人浜田市教育文化振興事業団の組織体制、職員数のあり方等を検討するとともに収支赤字となっている施設の経営改善を検討し、見直しを行う。							
取組工程			R4	R5	R6	R7	備考
		計画	検討	検討	検討	見直し	
		実績	検討				
年度評価(区分ア)			A				
年度計画及び実績(評価理由等)							
R4	計画	関連施設支援室と連携し、次期指定管理期間(令和7年度~)からの見直しを見据え、次の項目を検討する。 ①事業団の組織体制、職員数のあり方 ②石中央文化ホールの経営改善策					
	実績	①事業団と連携して、自主事業における施設を跨いだ事業協力や組織内での人事異動の実施準備を行った。また、事業団職員による施設を跨いだ業務協力や助働体制を実施した。 ②外部アドバイザー派遣を受けるため「地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業」(国事業)の申請を行った。 外部アドバイザーを活用し、事業団及び関連施設支援室と連携して次の項目を検討する。 ①事業団の組織体制、職員数のあり方 ②石中央文化ホールの経営改善策					
R5	計画	①事業団の組織体制、職員数のあり方 ②石中央文化ホールの経営改善策					
	実績						

1	(2)	9					
項目名	任意協議会等の見直し						
担当部署	部			課		取組期間	
	総務部			行財政改革推進課		R4 ~ R5	
取組概要							
・条例や規則等に基づかない任意の協議会等(地区まちづくり推進委員会の構成団体を除く。)のうち、市の関与の高いものについて、実態調査を行う。 ・あわせて、所期の目的が達成されたもの、地域ごとに設置してあり統合が可能なもの等について統廃合を推進する。							
取組工程			R4	R5	R6	R7	備考
		計画	実態把握	見直し			
		実績	方針検討				
数値による進捗管理		R3(現状)	R4	R5	R6	R7	備考
任意協議会等の設置数		計画	-	-	-	-	
		実績	96				
年度評価(区分ア)			A				
年度計画及び実績(評価理由等)							
R4	計画	・令和5年度の見直しに向けて、各課が関与する協議会等の現状を把握する。					
	実績	・8月以降、現状把握、庁内方針の検討が進行中。また、全庁的な見直しを推進するため、令和5年1月に指針を改定した。					
R5	計画	・附属機関、任意協議会等の見直しを推進する。					
	実績						

1	(2)	10					(R5新規)
項目名		郵便料金計器の導入による事務の効率化の検討					
担当部署		部	課		取組期間		
		総務部	総務課		R5 ~ R7		
取組概要							
・郵便物の「重量」、「郵便種別」等を自動で読み取る計器を導入することを検討する。導入にあたっては、総務課で日次集計していた郵便業務を廃止し、事務効率化を図るとともに、料金計算や発送通数ミス等の防止を図る。							
取組工程			R4	R5	R6	R7	備考
		計画		検討	検討	導入	
		実績					
年度評価(区分ア)							
年度計画及び実績(評価理由等)							
R4	計画						
	実績						
R5	計画	・導入経費等の検討を進める。					
	実績						

1	(3)	1							
項目名		ICTを活用した業務最適化の推進							
担当部署		部	課		取組期間				
		総務部	総務課 デジタル推進室、行財政改革推進課		R4 ~ R7				
取組概要									
・議事録作成支援システムやRPA等をはじめとしたICT(情報通信技術)を活用し、業務効率の最適化を目指す。									
※RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション):機械による処理の自動化									
取組工程			R4	R5	R6	R7	備考		
		計画		実施	検討	検討			
		実績		実施					
数値による進捗管理		R3(現状)	R4	R5	R6	R7	備考		
のべ業務削減時間(時間)		計画 0	700	1,000	1,000	1,000			
		実績	3,400						
財政効果額(千円)			R4	R5	R6	R7	備考		
【理論値】時間効果額 (時給換算@2,200円/時間)		計画	単年	1,540	2,200	2,200	2,200		
			累計	1,540	3,740	5,940	8,140		
		実績	単年	7,480					
			累計	7,480	7,480	7,480	7,480		
年度評価(区分イ)			A						
年度計画及び実績(評価理由等)									
R4	計画	・議事録作成支援システムを導入するとともに業務削減時間の検証を行う。 ・また、ICTの更なる活用を検討する。							
	実績	・4月 AI-OCR導入(新型コロナワクチン予診票点検) ▲3,000時間 ・7月 議事録作成支援システム導入(全庁) ▲400時間							
R5	計画	・申し込み、アンケート、施設予約等がオンラインでできるプラットフォームを導入する。							
	実績								

1	(3)	2					
項目名		業務システムの最適化					
担当部署		部	課		取組期間		
		総務部	総務課 デジタル推進室		R4 ~ R7		
取組概要							
<p>・国の業務システム標準化、共通化の動向を注視しながら、各種システムの新規構築や更新のタイミングにおいて、業務内容、規模、システム構成などを見直し、適切な規模と構成のシステムにすることで、運用効率と費用面で優れた形に最適化する。</p>							
取組工程			R4	R5	R6	R7	備考
		計画	実施	継続(→)	継続(→)	実施	
		実績	実施				
数値による進捗管理		R3(現状)	R4	R5	R6	R7	備考
のべ実施件数(件)		計画	0	3	4	5	5
		実績	3				
年度評価(区分ア)			A				
年度計画及び実績(評価理由等)							
R4	計画	・生活保護システム及び地籍システムの更新時に、従来型から仮想基盤への移行を実施する。その他、更新や新規調達をするシステムについての構成見直しを行う。					
	実績	・生活保護システム及び地籍システムを従来型から仮想基盤へ移行した。また、財務会計システムについては、引き続きLGWAN-ASPを使用する形で更新した。					
R5	計画	・庁内システムサーバ及び庁内ネットワークの更新を実施する。更新にあわせて、近年増大する通信量やシステム容量に対応した構成への見直しを実施する。					
	実績						

1	(3)	3					
項目名		オンライン(電子)申請の拡充					
担当部署		部	課		取組期間		
		総務部	総務課 デジタル推進室		R4 ~ R7		
取組概要							
<p>・マイナンバーカードの電子証明書を利用してオンラインで申請ができる環境を構築し、対象業務を拡充していく。</p>							
取組工程			R4	R5	R6	R7	備考
		計画	実施	推進	継続(→)	継続(→)	
		実績	実施				
数値による進捗管理		R3(現状)	R4	R5	R6	R7	備考
電子申請 導入手続数(手続)		計画	0	15	45	50	55
		実績	42				
年度評価(区分イ)			A				
年度計画及び実績(評価理由等)							
R4	計画	・子育てに関する手続(15手続)について、オンライン申請ができる環境を構築する。					
	実績	・子育て、介護、火災予防、転出転入に関する手続をオンライン申請できる環境を構築した。					
R5	計画	・新規導入するオンライン化プラットフォームを活用したオンライン申請を拡充する。					
	実績						

1	(3)	4					
項目名		SNS活用による行政情報の発信					
担当部署		部	課		取組期間		
		地域政策部	政策企画課		R4 ~ R7		
取組概要							
<p>・現在、防災、広報、定住等、様々な行政情報をSNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)を活用し発信を行っている。引き続き、各部署が情報発信を行う選択肢の一つとしてSNSを考慮できるよう、各課にSNSの種類・機能・有用性を定期的に周知し、活用するよう促していく。</p>							
取組工程			R4	R5	R6	R7	備考
		計画	推進	推進	推進	推進	
		実績	推進				
数値による進捗管理		R3(現状)	R4	R5	R6	R7	備考
SNSフォロワー増加率		計画	1	1.05	1.1	1.15	1.2
		実績	1.17				
年度評価(区分ウ)			A				
年度計画及び実績(評価理由等)							
R4	計画	・SNSの利便性、有効性等を庁内で周知し、積極的な活用を促す。また、市公式ウェブサイトとSNSがお互いに閲覧者を誘導できるような仕組みを検討する。					
	実績	・SNS等有用な情報発信方法を庁内で周知し、積極的な活用を促した。また、市公式HPのトップページからSNS集約ページに誘導できるようにした。					
R5	計画	・引き続きSNSの利便性、有効性等を周知し、積極的な活用を促す。					
	実績						

1	(3)	5					
項目名		マイナンバーカードの交付促進					
担当部署		部	課		取組期間		
		市民生活部	総合窓口課		R4 ~ R7		
取組概要							
<p>・ほとんどの市民がマイナンバーカードを取得することを目的とし、マイナンバーカード取得のため市民への周知、取得促進を図るため、休日窓口の実施、まちづくりセンターや商業施設等で出張申請受付を行い、マイナンバーカードのメリット(保険証利用、新型コロナワクチン接種証明、e-tax等)を積極的に案内し、取得を促す。</p>							
取組工程			R4	R5	R6	R7	備考
		計画	実施	実施	実施	実施	
		実績	実施				
数値による進捗管理		R3(現状)	R4	R5	R6	R7	備考
マイナンバーカード普及率(%) (R4交付率。R5~保有率)		計画	43	50	79	81	83
		実績	78				
年度評価(区分イ)			A				
年度計画及び実績(評価理由等)							
R4	計画	・普及率を伸ばせるよう、企業やまちづくりセンターなどで出張申請等を積極的に実施し、受取勧奨等の普及促進を行う。					
	実績	・企業やまちづくりセンターなどで出張申請や休日窓口開設等、積極的に実施し、普及促進につながることができた。 ・令和5年3月末時点で全国平均67.0%のところ、普及率78%となった。					
R5	計画	・引き続き出張申請受付、休日窓口開設等、普及促進を図る。 ・令和5年度からは、国の方針変更に伴い、普及の基準を交付率から保有率に変更する。					
	実績						

1	(3)	6					
項目名	情報システムの耐災害性の向上						
担当部署	部		課		取組期間		
	総務部		総務課 デジタル推進室		R4 ~ R7		
取組概要							
・情報システムを災害に強い構成に変更することや、バックアップの拡充、災害時に必要となるICT機器の整備など災害を意識して情報システムを整備していく。							
取組工程			R4	R5	R6	R7	備考
	計画	 	実施	実施	実施	実施	
	実績	 	実施				
数値による進捗管理		R3(現状)	R4	R5	R6	R7	備考
災害を意識した情報システムの整備件数	計画	0	3			5	
	実績	 	3				
年度評価(区分ア)			A				
年度計画及び実績(評価理由等)							
R4	計画	・更新するシステムは災害時に耐えられるバックアップを備えるものとし、新規調達機器は災害時にも活用できる構成を検討する。					
	実績	・更新した生活保護システム及び地籍システムのバックアップ環境を整備した。また、Web会議用の大型ディスプレイ等を新たに調達し、災害時にも活用できる環境を拡充した。					
R5	計画	・更新を予定しているグループウェア及び庁内ネットワーク機器について、耐災害を想定したバックアップと構成を検討し、構築する。					
	実績						

1	(3)	7						(R5新規)
項目名	浜田市掲示場の見直し							
担当部署	部		課		取組期間			
	総務部		総務課		R5 ~ R7			
取組概要								
・浜田市公告式条例に基づく「掲示場」の設置場所を見直し、自治体DXの推進のため、告示等の情報を浜田市ホームページに掲載する運用への変更を検討する。								
取組工程			R4	R5	R6	R7	備考	
	計画	 	 	検討	検討	実施		
	実績	 	 					
数値による進捗管理		R3(現状)	R4	R5	R6	R7	備考	
掲示場 設置数	計画	 	 	15	15	5		
	実績	 	 					
年度評価(区分ア)								
年度計画及び実績(評価理由等)								
R4	計画							
	実績							
R5	計画	・他市事例の研究等を進める。						
	実績							

1 (4) 1

項目名	新たな人材育成基本方針等の策定と同方針に基づく人事管理						
担当部署	部		課			取組期間	
	総務部		人事課			R4 ~ R7	
取組概要							
・持続可能なサービス提供体制を実現するために、人材をマネジメントする視点に立った人材育成基本方針等を策定し、同方針に基づいて、人事評価等の制度の効果的活用、新たな人事制度の調査研究・実行により戦略的に人事管理に取り組む。							
取組工程			R4	R5	R6	R7	備考
		計画	調査研究	導入	実施	継続(→)	
		実績	調査研究				
年度評価(区分ア)			A				
年度計画及び実績(評価理由等)							
R4	計画	・公務員の定年引上げに係る制度改正を踏まえた新たな人事制度について調査研究を行う。					
	実績	・定年引上げに係る基本的な制度改正を行うとともに、新たな人事制度に関する情報収集等を行った。					
R5	計画	・公務員の定年引上げを踏まえ、新たな人材育成基本方針を策定する。					
	実績						

1 (4) 2

項目名	職員情報リテラシーの向上						
担当部署	部		課			取組期間	
	総務部		総務課 デジタル推進室			R4 ~ R7	
取組概要							
・ICTを活用した業務の省力化や新たな住民サービスを検討できる職員を育成するため、職員研修などを実施する。							
取組工程			R4	R5	R6	R7	備考
		計画	実施	実施	実施	実施	
		実績	実施				
数値による進捗管理		R3(現状)	R4	R5	R6	R7	備考
職員向け情報関連研修の実施件数		計画 3	4	4	4	4	
		実績	5				
年度評価(区分ウ)			A				
年度計画及び実績(評価理由等)							
R4	計画	・庁内のデジタル化を推進するにあたり、職員向けの研修を実施する。					
	実績	・これまでに実施してきた研修に加え、地方公共団体情報システム機構が提供する動画研修を職員向けに公開し、活用した。					
R5	計画	・引き続き、庁内のデジタル化の推進に向け、職員向けの研修を実施する。さらに、職員向けに提供できる研修は広く周知し、利用者の拡大に努める。					
	実績						

2	(1)	1					
項目名	公共施設再配置実施計画の推進						
担当部署	部	課			取組期間		
	総務部	行財政改革推進課			R4 ~ R7		
取組概要							
・第2期公共施設再配置実施計画の進捗管理を実施することにより、公共施設の適正配置を推進する。 (期間中の再配置) 三隅デイサービスセンター(R5) 雇用促進住宅(R6) 等							
取組工程		R4	R5	R6	R7	備考	
	計画	370,047	継続(→)	継続(→)	継続(→)		
	実績	370,047	継続(→)				
数値による進捗管理		R3(現状)	R4	R5	R6	R7	備考
公共施設 延床面積(m ²)	計画	370,047	369,519	356,499	337,618	329,798	
	実績	370,047	369,251				
財政効果額(千円)			R4	R5	R6	R7	備考
維持管理費削減額	計画	単年	156	16,889	72,286	75,765	
		累計	156	17,045	89,331	165,096	
	実績	単年	156				
		累計	156	156	156	156	
年度評価(区分)		A					
年度計画及び実績(評価理由等)							
R4	計画	・井野分団ポンプ車庫の統合、一般住宅(今市、重富)の廃止を進める。					
	実績	・井野分団ポンプ車庫の統合、一般住宅(今市、重富)の用途廃止を行った。					
R5	計画	・令和5年4月から市内幼稚園の統合、美又温泉会館及び三隅デイサービスセンターの譲渡を行う。また、地域定住住宅の廃止を進める。					
	実績						

2	(1)	2					
項目名	コミュニティ活用施設等のあり方見直し						
担当部署	部	課			取組期間		
	総務部	行財政改革推進課 他			R4 ~ R7		
取組概要							
・地元利用が中心となる「コミュニティ活用施設」等について、普通財産化を検討する。 (検討施設) くゞ会館、エクス和紙の館、緑の里地域振興施設、山ノ内農作業管理休養施設 ・普通財産の貸付運用について、長期貸付する事例も踏まえて、調査研究を進める。(R5追加)							
取組工程		R4	R5	R6	R7	備考	
	計画	0	検討	検討	実施	実施	
	実績	0	検討				
数値による進捗管理		R3(現状)	R4	R5	R6	R7	備考
のべ見直し施設数	計画	0	0	0	2	2	
	実績	0	0				
年度評価(区分)		A					
年度計画及び実績(評価理由等)							
R4	計画	・対象施設の普通財産化に向けて、譲渡先との協議等を進める。					
	実績	・ゆうひパーク浜田の取得(令和5年3月)にあたり、今治市の特区事例を参考に「普通財産の貸付運用」という手法を検討した。					
R5	計画	・普通財産運用について、長期貸付する事例も踏まえ、調査研究を進める。 ・対象施設の普通財産化に向けた協議等を進める。					
	実績						

2	(1)	3
項目名	学校給食施設の統合	
担当部署	部	課
	教育部	教育総務課
		取組期間
		R4 ~ R7
取組概要		
・学校給食施設の統合について、まず、三隅地域の自校方式給食施設(三隅小、岡見小、三隅中)からセンター方式への移行を検討するため、今後、保護者等の説明会や施設改修費用の積算を実施する。		
取組工程		R4 R5 R6 R7 備考
計画	計画	検討 検討 検討 検討
実績	実績	検討
数値による進捗管理	R3(現状)	R4 R5 R6 R7 備考
学校給食施設(箇所数)	計画 7	7 7 7 7
	実績 実績	7
年度評価(区分ア)		B
年度計画及び実績(評価理由等)		
R4	計画	三隅地域の給食調理方式を検討するため、次の項目を実施する。 ・センター方式へ移行する際の全体経費(施設改修費、人件費等)を積算する。
	実績	・施設改修費について調査したところ、センター方式への移行経費がHACCP方式に沿った衛生管理基準での改修が必要なため、大幅に想定を上回ることが判明した。
R5	計画	三隅地域の給食調理方式を検討するため、次の項目を実施する。 ・センター方式へ移行する際の全体経費(施設改修費、人件費等)を積算する。 ・現施設(三隅小、岡見小、三隅中)の建物の劣化調査を実施する。
	実績	

2	(1)	4
項目名	公立幼稚園の統合	
担当部署	部	課
	教育部	教育総務課
		取組期間
		R4 ~ R5
取組概要		
・令和5年4月に公立幼稚園4園(うち1園休園中)を1園に統合する。統合後の園舎は、当面の間、現在の長浜幼稚園園舎を使用する予定。		
取組工程		R4 R5 R6 R7 備考
計画	計画	継続(→) 統合 - -
実績	実績	推進
数値による進捗管理	R3(現状)	R4 R5 R6 R7 備考
公立幼稚園数(園)	計画 4	4 1 1 1
	実績 実績	4
財政効果額(千円)		R4 R5 R6 R7 備考
維持管理費削減額	計画	単年 0 1,000 1,000 1,000
		累計 0 1,000 2,000 3,000
	実績	単年 0
		累計 0 0 0 0
年度評価(区分ア)		A
年度計画及び実績(評価理由等)		
R4	計画	・統合幼稚園に関する基本方針を策定し、長浜幼稚園の園舎を使用した統合に向け、準備を行う。
	実績	・統合幼稚園に関する基本方針を策定し、令和5年度に公立幼稚園4園を1園に統合し、長浜幼稚園の園舎を使用することを決定した。また、令和5年3月には、統合に向けて公立幼稚園4園を閉園した。
R5	計画	・令和4年度末に閉園した4園の統合幼稚園として、新たに浜田幼稚園を開園する。園舎は閉園した長浜幼稚園園舎を使用する。
	実績	

2	(1)	5					
項目名	公共施設への再生可能エネルギー活用及び省エネ設備等導入検討						
担当部署	部		課			取組期間	
	市民生活部		環境課 カーボンニュートラル推進室			R4 ~ R7	
取組概要							
<p>・カーボンニュートラルを目指して、各部署が所管する施設の新築又は改修に伴い、再生可能エネルギーの活用及び省エネ設備等の導入について検討するよう全庁的に呼びかける。</p> <p>・環境課は施設所管部署からの相談を受入れ、補助金制度の情報提供を行うなど、活用・導入を後押ししていく。</p> <p>※カーボンニュートラル:温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること。</p>							
取組工程			R4	R5	R6	R7	備考
		計画	指針策定	推進	継続(→)	継続(→)	
		実績	実施				
数値による進捗管理		R3(現状)	R4	R5	R6	R7	備考
再生エネルギー活用公共施設数	計画	0	1	1	10	20	累計施設数
	実績		1				
年度評価(区分ア)			A				
年度計画及び実績(評価理由等)							
R4	計画	・7号荷さばき所への再生可能エネルギー導入PPA事業					
	実績	・7号荷さばき所への再生可能エネルギー導入PPA事業					
R5	計画	・公共施設への再生可能エネルギー活用及び省エネ設備等導入検討のための計画づくり					
	実績						

2	(1)	6					
項目名	指定管理者制度導入施設の見直し【あさひやすらぎの家】						
担当部署	部		課			取組期間	
	旭支所		市民福祉課			R4 ~ R7	
取組概要							
<p>・指定管理者である旭福祉会と譲渡に向け協議を行ってきたが、経営が厳しいことや令和4年度より施設整備の更新計画もあり、令和5年度からの譲渡が困難であるため、再度指定管理を継続させてほしいと回答を受けた。</p> <p>・次期指定期間の終了年度(令和7年度)までの譲渡に向けて協議を継続する。</p>							
取組工程			R4	R5	R6	R7	備考
		計画	継続(→)	継続(→)	継続(→)	見直し	
		実績	継続(→)				
年度評価(区分ア)			A				
年度計画及び実績(評価理由等)							
R4	計画	<ul style="list-style-type: none"> ・現指定管理者との譲渡に向けた協議 ・譲渡条件による財産処分協議(補助金) 					
	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・譲渡に向けた継続協議を行った。 ・利用率の向上を図るため関係機関との連携及び情報提供を行い利用促進に努めた。 					
R5	計画	<ul style="list-style-type: none"> ・現指定管理者との譲渡に向けた協議 ・譲渡条件による財産処分協議(補助金) 					
	実績						

2	(1)	7
項目名	災害公営住宅の譲渡	
担当部署	部	課
	都市建設部	建築住宅課
		取組期間
		R4 ~ R6
取組概要		
<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の取得意向を確認し、令和4年度中の譲渡を検討する。 ・取得意向がない場合は、用途廃止・解体を検討する。 ・全8戸のうち、5戸は入居者譲渡が済みであり、残る3戸について対応を進める。 		
取組工程		R4 R5 R6 R7 備考
計画	 	実施 - - -
実績	 	方針決定
数値による進捗管理	R3(現状)	R4 R5 R6 R7 備考
進捗状況(%)	計画 20	60 80 100
実績	 	60
年度評価(区分ア)		B
年度計画及び実績(評価理由等)		
R4	計画	・いずれも、入居者が取得を希望する可能性はなく、用途廃止・解体に向け入居者と協議をすすめる。
	実績	・3戸中、2戸については用途廃止について了承するものの移転先が見つからず年度中の用途廃止には至らなかった。今後は廃止時期について協議を進めることとなった。残る1戸については引き続き協議を行うこととする。
R5	計画	・入居者等と必要な交渉を行い、具体的な用途廃止時期を決定する。
	実績	

2	(2)	1
項目名	学校施設長寿命化の推進	
担当部署	部	課
	教育部	教育総務課
		取組期間
		R4 ~ R7
取組概要		
<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度末に浜田市立小中学校統合再編計画(案)を策定し、現在、決定に向け取り組んでいる。これに伴って学校長寿命化計画を修正するとともに、今後計画に基づき施設の長寿命化を推進していく。 		
取組工程		R4 R5 R6 R7 備考
計画	 	検討 実施 実施 実施
実績	 	検討
数値による進捗管理	R3(現状)	R4 R5 R6 R7 備考
長寿命化計画に基づく改修件数(件)	計画 0	0 1 2 2
実績	 	1
年度評価(区分イ)		A
年度計画及び実績(評価理由等)		
R4	計画	令和4年度に策定予定の浜田市立小中学校統合再編計画に基づき、統廃合に伴う年次計画の変更など長寿命化計画の見直しを実施する。
	実績	浜田市立小中学校統合再編計画に基づき、学校施設長寿命化年次計画の見直しを実施した。また、長寿命化の改修工事を実施した。 ・石見小学校外壁改修工事
R5	計画	学校施設長寿命化計画に基づき、長寿命化の改修工事を実施する。 ・第一中学校外壁改修工事
	実績	

2 (2) 2

項目名	水道施設の維持更新計画の策定、見直し及び推進					
担当部署	部	課				取組期間
	上下水道部	工務課				R4 ~ R7
取組概要						
<p>・現在、令和元年度に策定した「浜田市上水道事業施設耐震化・更新計画」に基づき基幹管路の耐震化に取り組んでいる。 ・耐震化・更新計画を着実に推進するために、計画期間内に実施する事業の年次計画を策定するとともに、計画に沿った事業の推進を行う。</p>						
取組工程		R4	R5	R6	R7	備考
	計画	検査・実施	実施	実施	実施	
	実績	実施				
数値による進捗管理	R3(現状)	R4	R5	R6	R7	備考
計画路線の更新延長(m/年)	計画	41,955	45,200	48,445	51,690	54,935
	実績	43,227				
年度評価(区分)		B				
年度計画及び実績(評価理由等)						
R4	計画	・更新計画で選定している基幹管路の耐震化を行う。				
	実績	・防災上の重要性を考慮し、口径の大きい竹迫配水池から浜田医療センターまでの管路を中心に組み込んだため、更新延長は伸び悩んだものの、計画どおり管路の耐震化に取り組んだ。				
R5	計画	・更新計画で選定している基幹管路の耐震化を行う。				
	実績					

2 (2) 3

項目名	下水道施設(農業集落排水含む)長寿命化の推進					
担当部署	部	課				取組期間
	上下水道部	下水道課				R4 ~ R7
取組概要						
<p>・下水道施設の安定した運転管理とライフサイクルコストの縮減を図るため、各施設の長寿命化計画等に基づき、改築・更新及び調査点検を進める。</p>						
取組工程		R4	R5	R6	R7	備考
	計画	実施	実施	実施	実施	
	実績	実施				
数値による進捗管理	R3(現状)	R4	R5	R6	R7	備考
改築・更新の設備数(設備/年)	計画	5	8	7	7	4
	実績	13				
年度評価(区分)		A				
年度計画及び実績(評価理由等)						
R4	計画	・公共下水道に統合した福浦・古湊地区について、長寿命化計画に反映し、施設の改築、更新を行う。				
	実績	・管路や機器の調査点検の結果から、改築や更新を実施した。また、設備の一部改築を行うことで、長寿命化を図り更新費用の平準化を行った。				
R5	計画	・引き続き、調査点検の結果を基に計画的に施設の改築、更新を行っていく。また、公共下水道のストックマネジメント計画の見直しを行う。				
	実績					

2	(2)	6					
項目名	公営住宅等長寿命化の推進						
担当部署	部		課			取組期間	
	都市建設部		建築住宅課			R4 ~ R7	
取組概要							
<p>予防保全的な維持管理により公営住宅等の長寿命化を図ることでライフサイクルコストの縮減につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2期浜田市公営住宅等長寿命化計画(R3~R12) ・令和7年度に後期計画(R8~R12)の見直しを実施する。 							
取組工程			R4	R5	R6	R7	備考
		計画	継続(→)	継続(→)	継続(→)	見直し	
		実績	見直し				
数値による進捗管理		R3(現状)	R4	R5	R6	R7	備考
見直し件数		計画				1	
		実績	1				
年度評価(区分イ)			A				
年度計画及び実績(評価理由等)							
R4	計画	・長寿命化計画の着実な実行を図る。 (石原住宅1号棟外壁改修)					
	実績	・石原1号棟外壁工事を予定どおり施工した。 ・また、計画と実績に乖離があったため長寿命化計画の見直しを行い、事業費の平準化を図った。					
R5	計画	・日脚大久保住宅1号棟外壁改修。					
	実績						

2	(2)	7					
項目名	エコクリーンセンター長寿命化計画に基づく基幹的設備改良工事						
担当部署	部		課			取組期間	
	浜田地区広域行政組合		総務課			R4 ~ R7	
取組概要							
<p>・エコクリーンセンター(H18年11月竣工)の経年劣化の進行に伴い、「長寿命化総合計画(R2策定)」に基づき、DBO方式による基幹的設備改良工事を実施し、安定した運転管理とライフサイクルコストの縮減を図る。</p> <p>令和3~令和4年度:循環型社会形成推進交付金を活用して、基幹的設備改良工事及び運転管理業務の発注・契約準備 令和5~令和7年度:二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金及び過疎対策事業債を活用した基幹的設備改良工事 【効果】老化機器の15年延命及びCO₂の5%以上削減</p>							
取組工程			R4	R5	R6	R7	備考
		計画	実施	継続(→)	継続(→)	継続(→)	
		実績	実施				
年度評価(区分イ)			A				
年度計画及び実績(評価理由等)							
R4	計画	・循環型社会形成推進交付金を申請 (歳入予算計上額2,390千円)					
	実績	・循環型社会形成推進交付金を受領 (令和5年3月27日2,390千円)					
R5	計画	・二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金を申請 (歳入予算計上額1,022千円)					
	実績						

3	(1)	1				
項目名	スクラップ・フォー・ビルドによる事業推進					
担当部署	部	課			取組期間	
	総務部	行財政改革推進課			R4 ~ R5	
取組概要						
・公民館のまちづくりセンター化により、まちづくりの拠点機能が新たに加わったことに伴う事業費を捻出するため、各部裁量予算の段階的縮減を図る。(令和3年度当初予算から令和5年度まで28,600千円/年)						
取組工程		R4	R5	R6	R7	備考
計画		実施	継続(→)	-	-	
実績		実施				
財政効果額(千円)		R4	R5	R6	R7	備考
財源捻出効果額(計画期間中 R4~R5)	計画	単年	28,600	57,200		
		累計	28,600	85,800	85,800	85,800
	実績	単年	28,600			
		累計	28,600	28,600	28,600	28,600
年度評価(区分)		A				
年度計画及び実績(評価理由等)						
R4	計画	・事業費捻出のため、予算縮減について当初予算編成時に反映させる。				
	実績	・令和4年度当初予算において各部裁量枠から28,600千円の縮減を図った。				
R5	計画	・事業費捻出のため、予算縮減について当初予算編成時に反映させる。				
	実績					

3	(1)	2					
項目名	中期財政計画に基づく事業実施						
担当部署	部	課			取組期間		
	総務部	財政課			R4 ~ R7		
取組概要							
・国の地方財政対策による影響を踏まえつつ、毎年度中期財政計画をローリングすることで、財政状況のトレンドを明らかにする。							
取組工程		R4	R5	R6	R7	備考	
計画		継続(→)	継続(→)	継続(→)	継続(→)		
実績		継続(→)					
数値による進捗管理		R3(現状)	R4	R5	R6	R7	備考
予算規模(R3中財より) (億円)	計画	428	399	372	359	352	
	実績		389				
年度評価(区分)		A					
年度計画及び実績(評価理由等)							
R4	計画	・6月に主要事業実施計画書各課提出、7月に各課ヒアリング、12月に中期財政計画を公表、この計画をふまえ令和5年度当初予算を編成する予定。					
	実績	・6月に主要事業実施計画書各課提出、7月に各課ヒアリング、この計画をふまえ令和5年度当初予算を編成した。これを経て、12月に中期財政計画を公表した。					
R5	計画	・6月に主要事業実施計画書各課提出、7月に各課ヒアリング、12月に中期財政計画を公表、この計画をふまえ令和6年度当初予算を編成する予定。					
	実績						

3	(1)	3
項目名	自治体健全化法への対応	
担当部署	部	課
	総務部	財政課
取組期間		
R4 ~ R7		
取組概要		
・公債費の負担を軽減するため、短期的には地方債の繰上償還を行うとともに長期的には投資的経費の縮減による地方債発行の抑制を図る。		
取組工程		R4 R5 R6 R7 備考
計画		継続(→) 継続(→) 継続(→) 継続(→)
実績		継続(→)
数値による進捗管理	R3(現状)	R4 R5 R6 R7 備考
実質赤字比率(%)	計画	- - - -
	実績	- - - -
連結実質赤字比率(%)	計画	- - - -
	実績	- - - -
実質公債費比率(%)	(R3中財より) 計画	11.2 11.3 11.4 10.9 9.9
	(R4中財より) 計画	10.9 10.9 11.0 10.6 9.7
	実績	10.8
将来負担比率(%)	(R2決算より) 計画	44.1 44.1 44.1 44.1 44.1
	(R3決算より) 計画	29.4 29.4 29.4 29.4 29.4
	実績	20.9
年度評価(区分)	A	
年度計画及び実績(評価理由等)		
R4	計画	・健全化判断比率の算定については、6月に令和3年度決算に基づく健全化4指標を算定。9月に令和3年度健全化4指標を議会報告、住民公表を行う予定。
	実績	・健全化判断比率の算定については、6月に令和3年度決算に基づく健全化4指標を算定。9月に令和3年度健全化4指標を議会報告、住民公表を行った。
R5	計画	・健全化判断比率の算定については、6月に令和4年度決算に基づく健全化4指標を算定。9月に令和4年度健全化4指標を議会報告、住民公表を行う予定。
	実績	

3	(1)	4	
項目名	広島プロジェクト推進事業費の見直し		
担当部署	部	課	
	産業経済部	広島事務所	
取組期間			
R4 ~ R7			
取組概要			
・平成30年度に広島市場開拓室および広島PRセンターを組織統合し広島事務所を設立。広島を中心に山陽、四国、九州への浜田産品販路開拓、企業誘致、ポートセールス、観光誘客、合宿誘致を行う。 ・活動においては、アプローチ先を絞り込んだ企業リストの活用や関係機関等との連携など効率的な活動を行い予算執行により経費削減を図る。			
取組工程		R4 R5 R6 R7 備考	
計画		実施 実施 実施 実施	
実績		実施	
数値による進捗管理	R3(現状)	R4 R5 R6 R7 備考	
事業費(千円)	計画	18,643 18,455 18,353 18,260 18,160	
	実績	16,998	
財政効果額(千円)	R3年度予算と各年度計画の差異	R4 R5 R6 R7 備考	
		計画	単年 188 290 383 483
		累計	188 478 861 1,344
		実績	単年 1,645
		累計	1,645 1,645 1,645 1,645
年度評価(区分)	A		
年度計画及び実績(評価理由等)			
R4	計画	・広島事務所長は、産業振興課長が兼務とし、広島事務所の正規職員常駐を止め、産業振興課職員が兼任する。 ・広島事務所には参与(会計年度任用職員)を配備し、引き続き新型コロナウイルス感染拡大に配慮しながら、効率的な活動、予算執行に取り組む。	
	実績	・人員体制は計画通りとした。新体制のもと、企業訪問等を実施することで情報収集や新規取引先の開拓に努めた。また、効率的な活動、予算執行に取り組んだ。	
R5	計画	・人員体制は令和4年度の体制を継続する。コロナ後の情勢を見据えて、積極的に活動を行っていく一方、引き続き効率的な活動、予算執行に取り組む。	
	実績		

3	(2)	1				
項目名	(国保)保健事業の推進					
担当部署	部	課				
	健康福祉部	健康医療対策課				
取組期間						
R4 ~ R7						
取組概要						
<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導について、受託機関の増加について検討していく。 ・受託機関が増えることで、特定保健指導を受ける人が増加し、生活習慣病予防が期待できる。 						
取組工程		R4	R5	R6	R7	備考
計画		検討	実施	実施	実施	
実績		実施				
数値による進捗管理	R3(現状)	R4	R5	R6	R7	備考
特定保健指導 受託機関数	計画	1	1	2	2	2
実績		2				
財政効果額(千円)		R4	R5	R6	R7	備考
【参考額】	計画	単年	0	50	50	50
		累計	0	50	100	150
	実績	単年	0			
		累計	0	0	0	0
年度評価(区分A)		A				
年度計画及び実績(評価理由等)						
R4	計画	・令和5年度の委託に向け、受託可能な機関の検討を行い、具体的に実施に向け協議する。				
	実績	・検討の結果、令和4年度中に受託医療機関が2か所に増加した。				
R5	計画	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の利用実績がなく受託医療機関から辞退の申出があり、令和5年度の受託には繋がらなかった。 ・再度、令和6年度の委託に向け、受託可能な機関の検討を行い、具体的に実施に向け協議する。 				
	実績					

3	(2)	2				
項目名	(国保)ジェネリック医薬品の普及					
担当部署	部	課				
	健康福祉部	保険年金課				
取組期間						
R4 ~ R7						
取組概要						
<ul style="list-style-type: none"> ・先発医薬品と治療学的に同等であり薬価の安いジェネリック(後発)医薬品の普及を促進し、医療費の削減を図る。 ・先発医薬品とジェネリック医薬品との差額通知を年4回行うことを継続する。 						
取組工程		R4	R5	R6	R7	備考
計画		実施	実施	実施	実施	
実績		実施				
数値による進捗管理	R3(現状)	R4	R5	R6	R7	備考
通知回数(回数/年)	計画	4	4	4	4	4
実績		4				
財政効果額(千円)		R4	R5	R6	R7	備考
【参考額】利用効果額	計画	単年	1,771	1,771	1,771	1,771
		累計	1,771	3,542	5,313	7,084
	実績	単年	2,550			
		累計	2,550	2,550	2,550	2,550
年度評価(区分イ)		A				
年度計画及び実績(評価理由等)						
R4	計画	・昨年度と同様、年4回(8月、9月、10月、11月)対象者へ差額通知を送付し、切替の周知を図る。				
	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・年4回(8月、9月、10月、11月)差額通知を送付。 通知件数1,093件、削減効果額計2,550,046円 				
R5	計画	・昨年度と同様、年4回(8月、9月、10月、11月)対象者へ差額通知を送付し、切替の周知を図る。				
	実績					

3	(2)	3
項目名	水道経営戦略の見直し	
担当部署	部	課
	上下水道部	水道管理課
取組期間		
R4 ~ R4		
取組概要		
<p>・平成29年3月に策定した経営戦略は、計画期間を平成29年度から平成38年度(令和8年度)までの10年間としているが、令和2年3月に策定した「浜田市上水道事業施設耐震化・更新計画(アセットマネジメント)」と令和2年10月に完了した水道料金の改定を踏まえて経営戦略を見直す。</p>		
取組工程		R4 R5 R6 R7 備考
計画		公表 - - -
実績		公表
年度評価(区分A)		
年度計画及び実績(評価理由等)		
R4	計画	・前年度に常設の附属機関である水道事業審議会で議論されたことを踏まえ、令和4年7月水道事業審議会の審議を経て、令和4年9月議会定例会議に報告後、公表する。
	実績	・令和4年8月水道事業審議会を経て8月に公表し、令和4年9月議会定例会議に報告した。【計画終了】
R5	計画	
	実績	

3	(2)	4	
項目名	下水道事業(公共、農集、漁集)の経営健全化		
担当部署	部	課	
	上下水道部	下水道課	
取組期間			
R4 ~ R7			
取組概要			
<p>・収入の基盤である使用料収入確保のため、普及啓発活動を積極的に行い、接続率の向上を図る。 ・将来に渡り安定した事業継続ができるよう、中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」の見直しを行い、経営健全化の取り組みについて検討する。</p>			
取組工程		R4 R5 R6 R7 備考	
計画		実施・公表 実施 実施 実施	
実績		実施・公表	
数値による進捗管理	R3(現状)	R4 R5 R6 R7 備考	
新規接続目標件数	計画 20	20 20 20 20	
	実績	29	
財政効果額(千円)		R4 R5 R6 R7 備考	
【参考額】使用料収入の増加額	計画	単年	372 1,116 1,860 2,604
		累計	372 1,488 3,348 5,952
	実績	単年	539
		累計	539 539 539 539
年度評価(区分A)			
年度計画及び実績(評価理由等)			
R4	計画	・下水道の役割について、広報誌等により啓発活動を行うとともに未接続世帯の臨戸訪問による接続勧奨を実施する。平成29年3月策定の公共下水道事業経営戦略の見直しを目的として下水道審議会を開催し、受益者等の意見を聴取し戦略に反映する。	
	実績	・出前講座や、広報誌などで普及啓発を行った。また、未接続世帯を訪問(令和4年5月実施)し接続勧奨を行った。 ・浜田処理区整備事業への理解と協力を得ること、また、市全域での汚水処理普及促進を行うため令和4年10月に「下水道通信 第2号」を発行し、周知、啓発に努めた。 ・令和4年8月の下水道審議会を経て、令和4~13年度を計画期間とした「浜田市公共下水道事業経営戦略」として見直し、同年8月に公表するとともに、令和4年9月議会でも報告した。	
R5	計画	・引き続き出前講座や広報誌を活用し普及啓発を行うとともに、接続率の低い地域を中心に臨戸訪問を行い接続勧奨を実施する。 ・見直し後の経営戦略の進捗管理を行い、事業計画、予算編成に反映する。	
	実績		

3	(2)	5					
項目名	三隅地区終末処理場の統廃合						
担当部署	部		課			取組期間	
	上下水道部		下水道課			R4 ~ R7	
取組概要							
・「浜田市汚水処理構想」に基づき、終末処理場の統廃合を進める。							
取組工程			R4	R5	R6	R7	備考
		計画	実施	継続(→)	継続(→)	継続(→)	
		実績	実施				
数値による進捗管理		R3(現状)	R4	R5	R6	R7	備考
三隅地区処理場数		計画	6	5	5	5	
		実績	5				
財政効果額(千円)			R4	R5	R6	R7	備考
【参考額】維持管理費削減額		計画	単年	8,499	8,499	8,499	8,499
			累計	8,499	16,998	25,497	33,996
		実績	単年	10,793			
			累計	10,793	10,793	10,793	10,793
年度評価(区分ア)			A				
年度計画及び実績(評価理由等)							
R4	計画	・計画していた地方地区農集・福浦、舌湊地区漁集の公共下水道への統合は令和3年度に完了したため、今後は公共下水道事業として管理運営していく。また、その他の処理場についても統合の可能性について検討を行う。					
	実績	・統合により、維持管理費の削減効果が計画以上にあった。					
R5	計画	・さらなる統合について検討を行う。					
	実績						

3	(3)	1					
項目名	市有財産の利活用						
担当部署	部		課			取組期間	
	総務部		行財政改革推進課			R4 ~ R7	
取組概要							
市有財産利活用方針に基づき、遊休財産の積極的な利活用に取り組む。 ・市有財産売却計画の見直し ・岡見住宅団地など分譲地の売却処分 ・売却や貸付、譲与等による処分							
取組工程			R4	R5	R6	R7	備考
		計画	実施	実施	実施	実施	
		実績	実施				
財政効果額(千円)			R4	R5	R6	R7	備考
財産の売却、新規貸付収入		計画	単年	18,500	276,600	11,200	13,200
			累計	18,500	295,100	306,300	319,500
		実績	単年	28,159			
			累計	28,159	28,159	28,159	28,159
年度評価(区分イ)			A				
年度計画及び実績(評価理由等)							
R4	計画	・市有財産売却計画の改訂版を作成する。 ・希望ヶ丘団地市有地等の売却を図る。 ・重富住宅団地1区画、岡見住宅団地1区画の売却を目指す。					
	実績	・市有財産売却計画の改訂版を作成した。 ・和田一般住宅跡地を売却した。 ・希望ヶ丘団地市有地、重富住宅団地、岡見団地は売却に至らなかった。					
R5	計画	・市有財産売却計画の改訂版を作成する。 ・子育て支援センター跡地、雇用促進住宅等の売却を図る。 ・希望ヶ丘団地市有地、重富住宅団地1区画、岡見住宅団地1区画の売却を目指す。					
	実績						

3	(3)	2
項目名	使用料及び手数料の見直し	
担当部署	部	課
	総務部	行財政改革推進課
取組期間		
R4 ~ R6		
取組概要		
・使用料及び手数料の見直しについては、新型コロナウイルス感染症の影響等を考慮し適切な時期、外部評価の活用など手法を検討する。		
取組工程		R4 R5 R6 R7 備考
計画		検討 継続(→) 見直し
実績		検討
年度評価(区分A)		
A		
年度計画及び実績(評価理由等)		
R4	計画	・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえながら、受益者負担の原則に基づく基本指針の必要性や見直しの具体的な手法について、調査・研究を進める。
R4	実績	・指定管理施設における光熱費高騰対策に関し、次年度以降の対応方針(案)を検討し、指定管理者の経営裁量拡大等のための利用料金上限規制の緩和等について協議した。
R5	計画	・指定管理施設における光熱費高騰対策に関し、指定管理者・利用者・市民全体(市税)による適切な対応のあり方について協議を進める。
R5	実績	

3	(3)	3	
項目名	市税の収納率向上		
担当部署	部	課	
	市民生活部	税務課	
取組期間			
R4 ~ R7			
取組概要			
<p>・新たな滞納者を増やさないため現年度の滞納者に対して早期催告を、やり方を工夫しながら徹底して行う。</p> <p>・督促状送付者に対して接触確率の高い夜間電話催告を行い、それでも納付のない者には警告書を送付すると同時に財産調査または臨戸を行い、生活状況を把握したうえで差押等の滞納処分を行う。</p>			
取組工程		R4 R5 R6 R7 備考	
計画		実施 実施 実施 実施	
実績		推進	
数値による進捗管理	R3(現状)	R4 R5 R6 R7 備考	
現年度収納率(%)	計画 99.48	99.50 99.55 99.55 99.55	
	実績	99.62	
財政効果額(千円)		R4 R5 R6 R7 備考	
【理論値】	計画	単年	1,296 141,000 141,000 141,000
		累計	1,296 142,296 283,296 424,296
	実績	単年	146,172
		累計	146,172 146,172 146,172 146,172
年度評価(区分イ)			
A			
年度計画及び実績(評価理由等)			
R4	計画	・新たな滞納者を増やさないことを最重要とし、現年度の滞納者に対して早期催告、財産調査を徹底して行う。臨戸を重視した納付資力の徹底調査を行い、長期滞納者への方針決定、滞納解消へとつないでいく。基準に基づき不良債権の不納欠損を適切に行う。	
R4	実績	・現年収納強化により計画よりも大幅増の結果となった。現年の滞納繰越額は前年比で285,799円の減少となった。なお、現年・滞繰の合計では23,570,653円の減少となっている。計画に対し、現状に合った方針を協議し実践できたことが要因と思う。今後も継続していくことが求められる。	
R5	計画	・新たな滞納者を増やさないことを最重要とし、現年度の滞納者に対して早期催告、財産調査を徹底して行う。臨戸を重視した納付資力の徹底調査を行い、長期滞納者を一元管理し方針決定、滞納解消へとつないでいく。基準に基づき不良債権の執行停止を適切に行う。	
R5	実績		

3	(3)	4				
項目名	ふるさと寄附の推進					
担当部署	部	課			取組期間	
	産業経済部	ふるさと寄附推進室			R4 ~ R7	
取組概要						
<p>・自治体間競争が厳しくなっているため、魅力ある返礼品の更なる拡充に努め、情報メディアを活用した情報発信を積極的に行い、リピーターの確保、新規寄附者の開拓を行い、事業の拡大を図る。</p> <p>・あわせて、企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)のプロモーションを実施し、更なる推進に向けて取り組む。(企業版ふるさと納税の適用期限は令和6年度まで)</p>						
取組工程		R4	R5	R6	R7	備考
	計画	推進	継続(→)	継続(→)	継続(→)	
	実績	推進				
数値による進捗管理	R3(現状)	R4	R5	R6	R7	備考
ふるさと寄附額(億円)	計画	12	12.0	12.3	12.7	13.0
	実績		12.1			
年度評価(区分イ)		A				R4~R7で50億円
年度計画及び実績(評価理由等)						
R4	計画	<p>・引き続き市及び特産品のPRと用途の発信を行い、ふるさと寄附の推進に努める。 当初予算で、ふるさと寄附金充当事業として「予算充実分」29事業を計上している。</p>				
	実績	<p>・個人版については、新たなポータルサイトの追加や、イベントの実施など、特産品のPRと用途の発信に努めた。また、ふるさと寄附金充当事業として「予算充実分」32事業を実施した。企業版についても、ポータルサイトへの参加に加え、マッチング支援サービスを利用し、プロモーション推進に努めた結果、約1,700万円の寄附につながった。</p>				
R5	計画	<p>・引き続き市及び特産品のPRと用途の発信を行い、ふるさと寄附の推進に努める。 当初予算で、ふるさと寄附金充当事業として「予算充実分」46事業を計上している。</p>				
	実績					

附属機関等の見直し（案）について

1 経過

- 令和 4 年 7 月 浜田市行財政改革実施計画 令和 4 年度計画の策定
 各種審議会等への委員選任にかかる地域への負担軽減について
 （要望）
- 8 月～9 月 附属機関等の現況調査
- 12 月 浜田市行財政改革推進委員会
- 令和 5 年 1 月 浜田市附属機関等の設置及び構成員の選任等に関する指針の改定
- 6 月 庁内方針（見直し案）の決定

2 集約結果（委員数は延べ人数。以下同じ）

	令和4年12月		見直し (案を含む)注		増減 見直し-令和4年12月	
	団体数	委員等数	団体数	委員等数	団体数	委員等数
附属機関	55団体	687人	50団体	651人	▲5団体	▲36人
懇談会	21団体	391人	12団体	246人	▲9団体	▲145人
任意の協議会	20団体	620人	13団体	454人	▲7団体	▲166人
合計	96団体	1,698人	75団体	1,351人	▲21団体	▲347人

注 統廃合等が庁内方針となった場合の推計を含む。

3 主な見直し（案も含む）について

(1) 附属機関

- ア 個人情報保護関連の附属機関の統合(総務部)(令和 4 年 12 月条例改正)
- イ 浜田市ひゃこるネット三隅放送番組審議会の廃止(地域政策部、三隅支所)
 (令和 5 年 3 月条例改正)
- ウ 浜田市美術品等収集委員会の廃止(教育部) (令和 5 年 9 月定例会議へ上程予定)
- エ 上下水道関連の附属機関の統合(上下水道部)
 (令和 5 年 12 月定例会議へ上程予定)

※ 令和 6 年 4 月下水道事業会計の地方公営企業法適用に合わせて、浜田市下水道事業審議会及び浜田市下水道審議会の統合を予定

(2) 懇談会及び任意協議会

庁内方針について、会議開催等にあわせて協議・検討を進める。

- ア 各地域の防災連絡協議会の見直し(防災安全課・各支所防災自治課)
 防災対策に不可欠な活動や機能に配慮しつつ、各地域委員の負担軽減を図るため、組織のあり方について協議・検討を進めていく。
- イ 青少年育成団体の見直し(まちづくり社会教育課)
 他地域の青少年会議との統廃合など組織のあり方について、協議・検討を進めていく。

附属機関等一覧

附属機関等_基本情報							開催頻度等		庁内方針（見直し案）	
NO	区分	部	担当課	機関名称	設置根拠	委員数	報酬等	開催頻度	見直し案	備考
1	附属機関	---	市長公室	浜田市名誉市民選考委員会	浜田市名誉市民条例	10人	報酬	不定期	現状維持	
2	附属機関	総務部	総務課	浜田市行政不服審査会	浜田市行政不服審査会条例	5人	報酬	不定期	現状維持	
3	附属機関	総務部	総務課	浜田市情報公開審査会	浜田市情報公開条例	5人	報酬	不定期	統廃合	○令和4年12月定例会議において、情報公開審査会、個人情報保護審査会及び個人情報保護審議会を統合済み
4	附属機関	総務部	総務課	浜田市個人情報保護審議会	浜田市個人情報保護条例	5人	報酬	不定期	統廃合	○令和4年12月定例会議において、情報公開審査会、個人情報保護審査会及び個人情報保護審議会を統合済み
5	附属機関	総務部	総務課	浜田市個人情報保護審査会	浜田市個人情報保護条例	5人	報酬	不定期	統廃合	○令和4年12月定例会議において、情報公開審査会、個人情報保護審査会及び個人情報保護審議会を統合済み
6	附属機関	総務部	防災安全課	浜田市防災会議	浜田市防災会議条例	38人	報酬	1年に1回	現状維持	○災害対策基本法第16条第6項に基づき、組織及び所掌事務は法令準拠
7	附属機関	総務部	防災安全課	浜田市国民保護協議会	浜田市国民保護協議会条例	40人	報酬	不定期	現状維持	○武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律第40条第8項に基づき委員構成は法令準拠 ○女性参画率の向上に努める。
8	附属機関	総務部	人事課	公務災害補償等認定委員会	浜田市議会の議員その他非常勤の職員 の公務災害補償等に関する条例	5人	報酬	不定期	現状維持	
9	附属機関	総務部	人事課	公務災害補償等審査会	浜田市議会の議員その他非常勤の職員 の公務災害補償等に関する条例		報酬	不定期	現状維持	
10	附属機関	総務部	人事課	浜田市特別職報酬等審議会	浜田市特別職報酬等審議会条例	10人	報酬	2年に1回	現状維持	
11	附属機関	総務部	行財政改革推進課	浜田市行財政改革推進委員会	浜田市附属機関設置条例	18人	報酬	1年に2回	現状維持	
12	附属機関	総務部	行財政改革推進課	浜田市指定管理者選定委員会	浜田市公の施設の指定管理者の指定の 手続き等に関する条例	6人	報酬	1年に3回	現状維持	

附属機関等_基本情報							開催頻度等		庁内方針（見直し案）	
NO	区分	部	担当課	機関名称	設置根拠	委員数	報酬等	開催頻度	見直し案	備考
13	附属機関	地域政策部	政策企画課	浜田市国土利用計画審議会	浜田市附属機関設置条例	15人	報酬	不定期	現状維持	○国土利用計画の見直しにあわせて開催
14	附属機関	地域政策部	政策企画課	浜田市総合振興計画審議会	浜田市総合振興計画審議会条例	25人	報酬	1年に3回	現状維持	
15	附属機関	地域政策部	地域活動支援課	浜田市協働のまちづくり検討部会	浜田市総合振興計画審議会条例	13人	報酬	1年に3回	現状維持	○浜田市総合振興計画審議会の専門部会
16	附属機関	地域政策部	地域活動支援課	地域協議会（浜田地域）	浜田市協働のまちづくり推進条例	15人	報酬	1年に3回	現状維持	
17	附属機関	金城支所	金城支所防災自治課	地域協議会（金城地域）	浜田市協働のまちづくり推進条例	15人	報酬	1年に7回	現状維持	
18	附属機関	旭支所	旭支所防災自治課	地域協議会（旭地域）	浜田市協働のまちづくり推進条例	15人	報酬	1年に5回	現状維持	
19	附属機関	弥栄支所	弥栄支所防災自治課	地域協議会（弥栄地域）	浜田市協働のまちづくり推進条例	15人	報酬	1年に4回	現状維持	
20	附属機関	三隅支所	三隅支所防災自治課	地域協議会（三隅地域）	浜田市協働のまちづくり推進条例	15人	報酬	1年に5～6回	現状維持	
21	附属機関	地域政策部	人権同和教育啓発センター	浜田市男女共同参画推進委員会	浜田市附属機関設置条例	9人	報酬	1年に2回	現状維持	
22	附属機関	健康福祉部	地域福祉課	浜田市保健医療福祉協議会	浜田市附属機関設置条例	20人	報酬	1年に3回	委員見直し	○浜田市保健医療福祉協議会及びその専門部会の委員構成について見直しを検討する。
23	附属機関	健康福祉部	地域福祉課	浜田市保健医療福祉協議会障がい者福祉専門部会	浜田市附属機関設置条例	15人	謝金	5年に2回	委員見直し	○浜田市保健医療福祉協議会及びその専門部会の委員構成について見直しを検討する。
24	附属機関	健康福祉部	地域福祉課	浜田市保健医療福祉協議会地域福祉専門部会	浜田市附属機関設置条例	12人	謝金	5年に2回	委員見直し	○浜田市保健医療福祉協議会及びその専門部会の委員構成について見直しを検討する。

附属機関等_基本情報							開催頻度等		庁内方針（見直し案）	
NO	区分	部	担当課	機関名称	設置根拠	委員数	報酬等	開催頻度	見直し案	備考
25	附属機関	健康福祉部	健康医療対策課	浜田市保健医療福祉協議会地域保健医療専門部会	浜田市附属機関設置条例	14人	謝金	5年に2回	委員見直し	○浜田市保健医療福祉協議会及びその専門部会の委員構成について見直しを検討する。
26	附属機関	健康福祉部	健康医療対策課	浜田市保健医療福祉協議会食育推進計画専門部会	浜田市附属機関設置条例	18人	謝金	5年に2回	委員見直し	○浜田市保健医療福祉協議会及びその専門部会の委員構成について見直しを検討する。
27	附属機関	健康福祉部	地域福祉課	浜田市民生委員推薦会	民生委員法	14人	報酬	1年に3回	現状維持	
28	附属機関	健康福祉部	地域福祉課	浜田市障がい者差別解消推進委員会	浜田市障がいのある人もない人も共に生きることができるまちづくり条例	10人	報酬	1年に2回	現状維持	
29	附属機関	健康福祉部	地域福祉課	浜田市障害者等介護給付費等審査会	浜田市障害者等介護給付費等審査会条例	12人	報酬	毎月開催	現状維持	
30	附属機関	健康福祉部	健康医療対策課	浜田市予防接種健康被害調査委員会	浜田市予防接種健康被害調査委員会設置条例	5人	報酬	不定期	現状維持	
31	附属機関	健康福祉部	保険年金課	浜田市国民健康保険運営協議会	浜田市国民健康保険条例	17人	報酬	1年に2回	現状維持	○国民健康保険法施行令に準拠
32	附属機関	市民生活部	環境課	浜田市環境清掃対策審議会	浜田市附属機関設置条例	10人	報酬	1年に3回	現状維持	
33	附属機関	市民生活部	環境課	浜田市環境審議会	浜田市環境審議会条例	19人	報酬	1年に1、2回	現状維持	
34	附属機関	産業経済部	農林振興課	浜田市名木保存審議会	浜田市名木保存条例	13人	報酬	不定期	現状維持	
35	附属機関	産業経済部	観光交流課	浜田市温泉審議会	浜田市附属機関設置条例	11人	報酬	不定期	現状維持	
36	附属機関	都市建設部	建設企画課	浜田市都市計画審議会	浜田市都市計画審議会条例	17人	報酬	1年に2回	現状維持	○女性参画率の向上に努める。

附属機関等_基本情報							開催頻度等		庁内方針（見直し案）	
NO	区分	部	担当課	機関名称	設置根拠	委員数	報酬等	開催頻度	見直し案	備考
37	附属機関	都市建設部	建設企画課	浜田市景観審議会	浜田市景観条例	11人	報酬	不定期	現状維持	
38	附属機関	都市建設部	建築住宅課	浜田市空家等対策協議会	浜田市空家等対策の推進に関する条例	11人	報酬	1年に1回	現状維持	○女性参画率の向上に努める。
39	附属機関	三隅支所	三隅支所防災自治課	浜田市ひゃこるネットみすみ放送番組審議会	浜田市ケーブルテレビ施設条例	7人	報酬		統廃合	○ケーブルテレビ局統合に伴い廃止
40	附属機関	教育部	教育総務課	浜田市教育振興計画審議会	浜田市附属機関設置条例	15人	報酬	5年に4、5回	現状維持	
41	附属機関	教育部	教育総務課	浜田市立学校統合計画審議会	浜田市附属機関設置条例	14人	報酬	10年に4～5回	現状維持	
42	附属機関	教育部	教育総務課	浜田市学校給食審議会	浜田市附属機関設置条例	13人	報酬	1年に1回	現状維持	
43	附属機関	教育部	教育総務課	浜田市奨学金審査委員会	浜田市附属機関設置条例	5人	報酬	1年に1回	現状維持	
44	附属機関	教育部	学校教育課	浜田市教育支援委員会	浜田市附属機関設置条例	14人	報酬	1年に6回	現状維持	
45	附属機関	教育部	学校教育課	浜田市立学校結核対策委員会	浜田市附属機関設置条例	7人	報酬	不定期	現状維持	
46	附属機関	教育部	学校教育課	いじめ問題対策連絡協議会	浜田市いじめ防止対策推進条例	17人	報酬	1年に2回	現状維持	
47	附属機関	教育部	学校教育課	いじめ防止対策推進委員会	浜田市いじめ防止対策推進条例	5人	報酬	1年に2回	現状維持	
48	附属機関	教育部	教育総務課	浜田市立図書館協議会	浜田市立図書館協議会条例	10人	報酬	1年に2回	現状維持	

附属機関等_基本情報							開催頻度等		庁内方針（見直し案）		
NO	区分	部	担当課	機関名称	設置根拠	委員数	報酬等	開催頻度	見直し案	備考	
49	附属機関	教育部	文化スポーツ課	浜田市スポーツ推進審議会	浜田市スポーツ審議会条例	10人	報酬	1年に2回	現状維持		
50	附属機関	教育部	文化スポーツ課	浜田市文化財審議会	浜田市文化財保護条例	13人	報酬	1年に2回	現状維持		
51	附属機関	教育部	文化スポーツ課	浜田市美術品等収集委員会	浜田市附属機関設置条例	6人	報酬	不定期	統廃合	○浜田市世界こども美術館の開設（平成8年11月）にあわせて設置 ○所期の目的を達成して合併時に美術品等取得基金を廃止しており、当面、高額な美術資料の購入を予定していないため、当該委員会の廃止を検討する。	
52	附属機関	教育部	文化スポーツ課	浜田市資料館運営協議会	浜田市資料館運営協議会条例	10人	報酬	1年に2回	現状維持		
53	附属機関	上下水道部	上下水道部水道管理課	浜田市水道事業審議会	浜田市水道事業審議会条例	15人	報酬	1年に2回	統廃合	○令和6年4月の下水道事業会計の地方公営企業法適用にあわせて、上下水道審議会として統合予定	
54	附属機関	上下水道部	上下水道部下水道課	浜田市下水道審議会	浜田市附属機関設置条例	13人	報酬	1年に2回	統廃合	○令和6年4月の下水道事業会計の地方公営企業法適用にあわせて、上下水道審議会として統合予定	
55	附属機関	消防本部	消防総務課	浜田市賞じゅつ金等審査委員会	浜田市消防賞じゅつ金及び殉職者特別賞じゅつ金条例		報酬	不定期	現状維持		
56	懇談会	健康福祉部	健康医療対策課	浜田市養護老人ホーム入所判定委員会	老人福祉法	5人	謝金	1年に3回	現状維持		
57	懇談会	健康福祉部	子ども・子育て支援課	浜田市要保護児童対策地域協議会	児童福祉法	20人	謝金	1年に1回	現状維持		
58	懇談会	産業経済部	観光交流課	浜田市日本遺産石見神楽保存・継承支援事業補助金選定委員会	浜田市日本遺産石見神楽保存・継承支援事業補助金交付要綱	7人	謝金	1年に1回	現状維持	○令和2年度から令和6年度までの時限設置	
59	懇談会	産業経済部	水産振興課	瀬戸ヶ島埋立地活用研究会	瀬戸ヶ島埋立地活用研究会設置要綱	14人		不定期	統廃合	○平成28年度以降、実質的な休止状態であり廃止を検討	
60	懇談会	健康福祉部	健康医療対策課	浜田市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会	浜田市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会設置要綱	21人	謝金	不定期	統廃合	○情報伝達が中心の委員会のため、他の会議体へ役割を分掌し、廃止を検討	

附属機関等_基本情報							開催頻度等		庁内方針（見直し案）	
NO	区分	部	担当課	機関名称	設置根拠	委員数	報酬等	開催頻度	見直し案	備考
61	懇談会	産業経済部	商工労働課	浜田市中心市街地活性化推進検討委員会	中心市街地の活性化に関する法律	15人	謝金	不定期	統廃合	○長期にわたり活動実績がなく、今後の活動予定もないため廃止を検討
62	懇談会	産業経済部	農林振興課	浜田市有害鳥獣捕獲対策協議会	浜田市有害鳥獣捕獲対策協議会規程	18人	報酬	1年に1回	現状維持	
63	懇談会	地域政策部	まちづくり社会教育課	はまだっ子共育運営委員会	はまだっ子共育運営委員会設置要項	36人	謝金	1年に2回	委員見直し	○委員選出について、設置要綱を見直す予定
64	懇談会	健康福祉部	健康医療対策課	浜田市地域包括支援センター運営協議会	浜田市地域包括支援センター運営協議会設置要綱	14人	謝金	年に2回	現状維持	
65	懇談会	地域政策部	人権同和教育啓発センター	浜田市人権教育・啓発推進基本計画策定委員会	浜田市人権教育・啓発推進基本計画策定委員会設置要綱	15人	謝金	不定期 計画策定時に年3回程度	統廃合	○現在検討中の「（仮称）浜田市人権を尊重するまちづくり条例」で設置する「人権尊重推進委員会」に役割を継承し、廃止する。
66	懇談会	消防本部	消防総務課	浜田市消防本部体制整備検討委員会	浜田市消防本部体制整備検討委員会設置要綱	14人	謝金	R4-1回 R5-3回 R6-3回	統廃合	○消防本部の体制整備に係る意見集約のため時限的に設置する委員会。令和6年度で終了し、委員会は廃止する。
67	懇談会	産業経済部	水産振興課	浜田漁港周辺エリア活性化推進委員会	浜田漁港周辺エリア活性化推進委員会設置要綱	20人	謝金	1年に1回	現状維持	
68	懇談会	産業経済部	水産振興課	浜田漁港高度衛生化施設整備検討委員会	浜田漁港高度衛生化施設整備検討委員会規約	18人	なし	不定期	統廃合	○令和4年度末をもって高度衛生管理型荷捌所の整備が完了したため廃止を検討
69	懇談会	地域政策部	地域活動支援課	浜田市地域公共交通会議	浜田市地域公共交通会議設置要綱	21人	謝金	不定期	現状維持	
70	懇談会	地域政策部	人権同和教育啓発センター	浜田市人権尊重のまちづくりに関する条例検討委員会	浜田市人権尊重のまちづくりに関する条例検討委員会設置要綱	15人	謝金	1年に5回	統廃合	○条例検討後に廃止
71	懇談会 (指針外)	金城支所	金城支所防災自治課	地域防災連絡協議会 (金城地域)	地域防災連絡協議会設置要綱	26人	謝金	1年に1回	統廃合	○各地域委員の負担軽減を図るため、組織のあり方について検討
72	懇談会 (指針外)	旭支所	旭支所防災自治課	地域防災連絡協議会 (旭地域)	(空白)	22人	謝金	1年に1回	統廃合	○全市統一的な協議が効果的なものかなど組織のあり方について検討 ○ただし、危険か所の把握など旭地域の防災対策に不可欠な活動は存続されるよう配慮する。

附属機関等_基本情報							開催頻度等		庁内方針（見直し案）	
NO	区分	部	担当課	機関名称	設置根拠	委員数	報酬等	開催頻度	見直し案	備考
73	懇談会 (指針外)	弥栄支所	弥栄支所 防災自治課	地域防災連絡協議会 (弥栄地域)	地域防災連絡協議会 設置要綱	18人	謝金	1年に1回	統廃合	○各地域委員の負担軽減を図るため、組織のあり方について検討
74	懇談会 (指針外)	三隅支所	三隅支所 防災自治課	地域防災連絡協議会 (三隅地域)	地域防災連絡協議会 設置要綱	8人	謝金	1年に1回	統廃合	○各地域委員の負担軽減を図るため、組織のあり方について検討
75	懇談会 (指針外)	総務部	防災安全課	浜田市犯罪のない安全 で安心なまちづくり推 進協議会	浜田市犯罪のない安全 で安心なまちづくり推 進協議会規約	45人	なし	1年に1回	現状維持	
76	懇談会 (指針外)	産業経済 部	水産振興 課	浜田漁港高度衛生管理 推進協議会	浜田漁港高度衛生管理 推進協議会規約	19人	謝金	不定期	現状維持	
77	任意協 外部	地域政策 部	人権同和 教育啓発 センター	浜田市人権・同和教育 推進連絡協議会	浜田市人権・同和教 育推進連絡協議会規 約	21人	交通費 のみ	1年に1回	現状維持	
78	任意協 外部	地域政策 部	人権同和 教育啓発 センター	浜田地域人権・同和教 育推進協議会	浜田地域人権・同和 教育推進協議会規約	32人	交通費 のみ	1年に1回	現状維持	
79	任意協 外部	金城支所	金城支所 防災自治課	金城地域人権・同和教 育推進協議会	金城地域人権・同和 教育推進協議会規約	66人	なし	1年に1回	現状維持	
80	任意協 外部	旭支所	旭支所防 災自治課	旭地域人権・同和教育 推進協議会	旭地域人権・同和教 育推進協議会規約	19人	なし	1年に1回	現状維持	
81	任意協 外部	弥栄支所	弥栄支所 防災自治課	弥栄地域人権・同和教 育推進協議会	弥栄地域人権・同和 教育推進協議会規約	41人	なし	1年に1回	現状維持	
82	任意協 外部	三隅支所	三隅支所 防災自治課	三隅地域人権・同和教 育推進協議会	三隅地域人権・同和 教育推進協議会規約	43人	交通費 のみ	1年に2~3 回	現状維持	
83	任意協 外部	三隅支所	三隅支所 防災自治課	三隅地域自治会連絡協 議会	三隅地域自治会連絡 協議会会則	10人	なし	1年に4~5 回	統廃合	○組織のあり方について、協議・検討を進めていく。
84	任意協 外部	三隅支所	三隅支所 防災自治課	浜田市三隅生涯学習企 画推進委員会	浜田市三隅生涯学習 企画推進委員会設置 要綱	8人	なし	不定期	統廃合	○組織のあり方について協議を行い、令和5年3月23日付で廃止

附属機関等_基本情報							開催頻度等		庁内方針（見直し案）	
NO	区分	部	担当課	機関名称	設置根拠	委員数	報酬等	開催頻度	見直し案	備考
85	任意協外部	地域政策部	地域活動支援課	浜田市地域公共交通活性化協議会	浜田市地域公共交通活性化協議会規約	29人	謝金	1年に4回	委員見直し	○関係法令の改正に伴う委員等の見直し
86	任意協外部	地域政策部	地域活動支援課	浜田市市民憲章推進協議会	浜田市市民憲章推進協議会規約	38人	なし	1年に3回	現状維持	
87	任意協外部	金城支所	金城支所防災自治課	金城地域まちづくり連絡会	金城地域まちづくり連絡会会則	14人	なし	1年に4回	現状維持	
88	任意協外部	三隅支所	三隅支所防災自治課	三隅地域まちづくり会議	三隅地域まちづくり会議会則	42人	なし	1年に1～2回	現状維持	
89	任意協外部	総務部	防災安全課	浜田市交通安全対策協議会	浜田市交通安全対策協議会会則	44人	なし	1年に1回	現状維持	
90	任意協外部	旭支所	旭支所防災自治課	浜田市交通安全対策協議会旭支部	浜田市交通安全対策協議会旭支部会則	21人	なし	1年に1回	統廃合	○組織のあり方について、協議・検討を進めていく。
91	任意協外部	旭支所	旭支所防災自治課	浜田市交通安全協会旭支部	浜田市交通安全協会旭支部会則	11人	なし	1年に1回	委員見直し	○浜田市交通安全対策協議会旭支部における活動の移行を含め、検討を進める。
92	任意協外部	三隅支所	三隅支所防災自治課	三隅町地域安全推進員協議会	三隅町地域安全推進員協議会会則	29人	なし	1年に2～3回	統廃合	○組織のあり方について、協議・検討を進めていく。
93	任意協外部	三隅支所	三隅支所防災自治課	浜田市交通安全協会三隅支部	浜田市交通安全協会会則、細則、三隅支部運営規程	32人	なし	1年に2～3回	統廃合	○組織のあり方について、協議・検討を進めていく。
94	任意協外部	地域政策部	まちづくり社会教育課	金城地域青少年健全育成連絡協議会	金城地域青少年健全育成協議会会則	54人	なし	1年に1回	統廃合	○組織のあり方について及び他地域の青少年会議との統廃合について、協議・検討を進めていく。
95	任意協外部	旭支所	旭支所防災自治課	あさひ子ども健全育成協議会	あさひ子ども健全育成協議会会則	20人	なし	1年に2回	統廃合	○組織のあり方について及び他地域の青少年会議との統廃合について、協議・検討を進めていく。 ○ただし、子どもの健全育成に向けた活動が衰退しないよう配慮する。
96	任意協外部	地域政策部	まちづくり社会教育課	青少年三隅町民会議	青少年育成三隅町民会議規約	46人	なし	1年に1回	統廃合	○組織のあり方について及び他地域の青少年会議との統廃合について、協議・検討を進めていく。

浜田市まちなか交流プラザの運用開始について

浜田の将来を担う人づくりを進め、若者など市民の交流による地域活性化を図るため、浜田商工会館1階の一部を「若者から高齢者まで世代を超えた多様な市民の場」として整備し運用を開始した。今後は、産・学・官・民で連携して活用する。

1 施設概要

- (1) 運用開始日 令和5年7月30日(日)
- (2) 開設日 年中無休(ただし、12月29日から1月3日は休み)
- (3) 開設時間 午前9時～午後9時(土日祝日は午後6時まで)
- (4) 利用料 セミナールームのみ有料(1室・1時間あたり330円)
市民・市民活動団体等の利用については減免あり

2 オープンイベント

第1部 オープニングセレモニー(10時00分～10時20分)

第2部 浜田高校生によるプロジェクト発表(10時30分～11時10分)

Y.A.C. : BLUE SEED PROJECT

第3部 島根県立大学生による調査発表 ほか

①地域づくりコース(11時10分～12時50分)

濱野ゼミ：浜田市政における観光資源としての石見神楽

伊藤ゼミ：石見麦酒とのお土産として持っていきたくなるビールの共同開発
住民参加型での文化財のデジタルアーカイブ化の検討
未利用バイオマスを活用した脱炭素型野菜の栽培

豊田ゼミ：浜田での有機農業実践、島根あさひ社会復帰促進センターとの協働

村岡ゼミ：AR体験会

田中ゼミ：はまだ協働学舎ファンタス、浜田でのコメ作り実践

②経済経営コース、基礎教養部(13時00分～14時00分)

村山ゼミ：島根まちづくり研究所 浜田地域応援プロジェクト

寺田ゼミ：浜田キャンパス学内ラジオ、フリーペーパー作成、3キャンパス交流

③活動展示・サークル活動発表 ほか(13時30分～15時00分)

出雲キャンパス あかえんぴつくん：献血や骨髄バンクの普及・啓発活動



浜田高校生によるプロジェクト発表



島根県立大学生による調査発表

石見交通路線バス有福線の路線廃止に伴う再要望及び今後の対応について

石見交通株式会社から「有福線」の路線廃止の申入れに伴い、廃止期日に関して再度要望書を提出するとともに、同社から回答を受けましたので、今後の対応と合わせて、次のとおり報告します。

1 再要望について(浜田市及び江津市の連名による。)

(1) 要望日 令和 5 年 7 月 25 日

(2) 内容

代替交通の実施に当たっては、交通手段の検討、予算確保、国への申請等が必要であり、一定の期間を要するため、廃止期日を令和 6 年 4 月 1 日とし、それまでの間は現行どおり運行すること。

2 再要望に対する石見交通株式会社からの回答について

(1) 回答日 令和 5 年 7 月 26 日

(2) 内容

ア 廃止期日を令和 6 年 4 月 1 日とする。

イ 令和 5 年 10 月 1 日以後は、平日については現行どおり、土日祝日及び令和 6 年 1 月 2 日、3 日については減便[※]して運行する。

※ 1 日当たりの便数を減便して運行

3 今後の対応について

(1) 地元説明会の開催

市からの再要望、石見交通からの回答内容を報告するとともに、令和 6 年 4 月からの代替交通について、地元(上府地区、宇野地区、下有福・大金地区)からご意見を頂く。

(2) 代替交通の検討等

地元説明会で頂いた意見を踏まえて、代替交通を構築し、予算確保、国への申請手続等を行う。

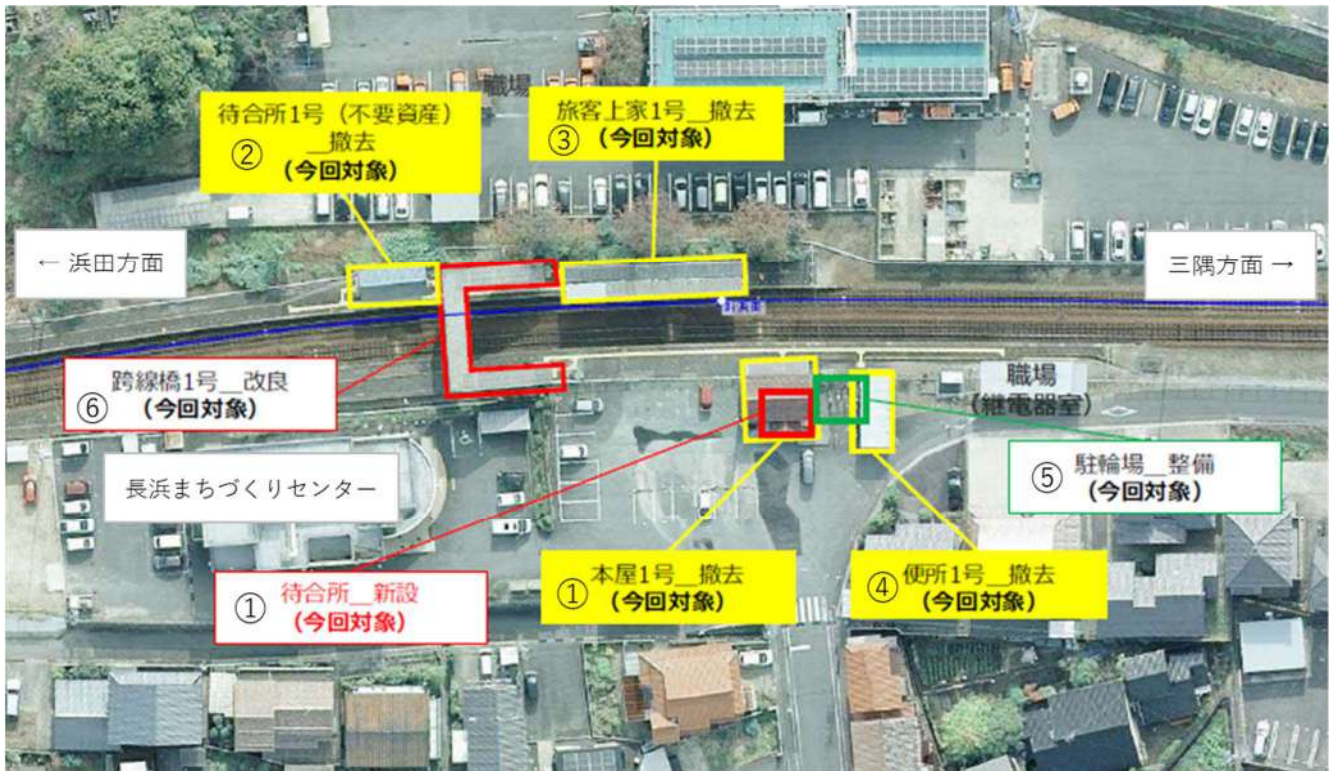
J R 西浜田駅舎の更新、ホーム待合所の撤去等について

J R 西日本の「駅設備のシンプル化構想」の一環として、西浜田駅の駅舎の更新等が行われますので、次のとおり報告します。

1 施設の更新、撤去の内容

- (1) 駅舎の撤去及び待合所の新設(小規模化)【図①】
- (2) ホーム設備(待合所、旅客上家)の撤去【図②、③】
- (3) 便所の撤去【図④】
- (4) 駐輪場の整備【図⑤】
- (5) 跨線橋の改修【図⑥】

< J R 西浜田駅位置図 >



2 工事期間

- (1) 駅舎の更新、ホーム待合所等の撤去【図①～⑤】
令和5年12月頃～令和6年3月末(詳細未定)
- (2) 跨線橋の改修【図⑥】
令和6年度中(詳細未定)

3 便所の撤去後の対応

長浜まちづくりセンターの利用等の検討を行う。

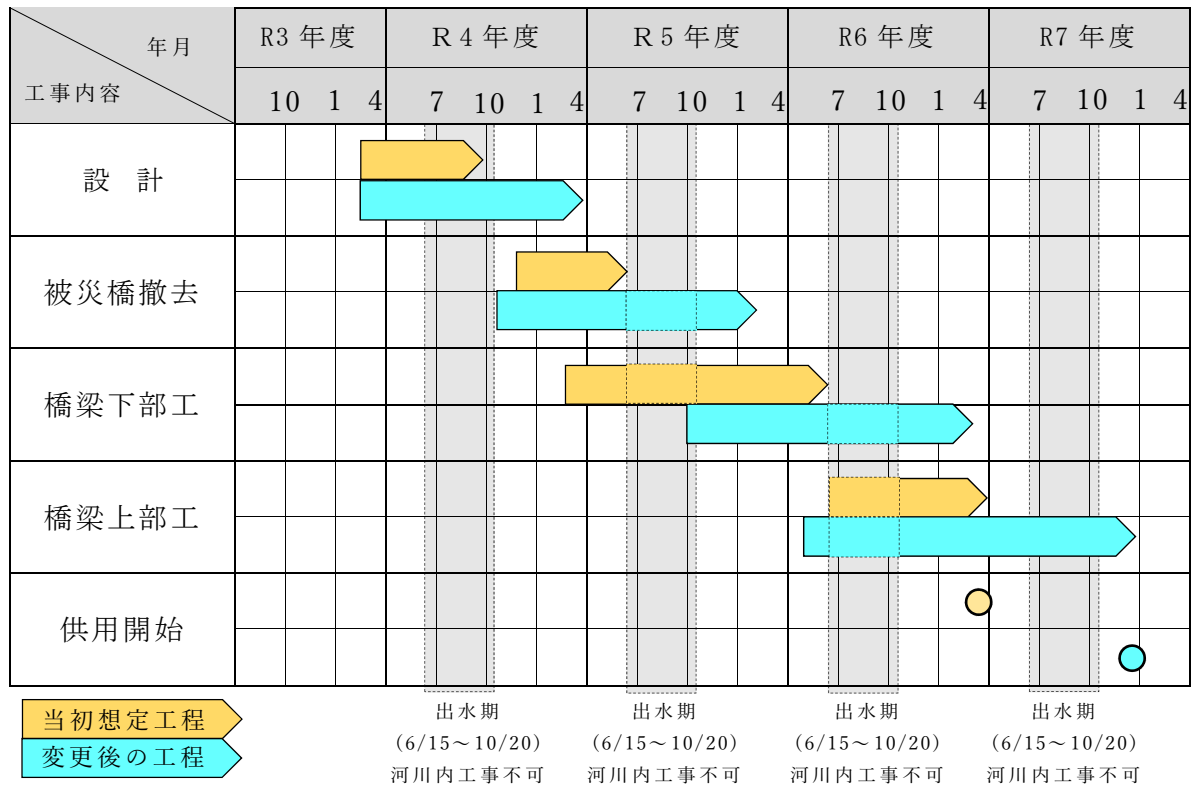
周布橋整備事業について

令和 3 年 8 月豪雨により被災した周布橋について、詳細設計が完了し、橋梁の構造や工法等が決まりましたので、整備スケジュール及び事業費、整備計画について報告します。

整備スケジュールにつきましては、橋梁の上部桁の製作に 8 ヶ月程度の期間を要するため上部工の工期が延び、供用開始が令和 7 年 3 月末から令和 7 年 12 月末となります。

また、事業費につきましては、詳細設計に基づき橋梁下部工及び上部工の工事費を精査した結果、約 2 億 8 千万円の増額となります。

○整備スケジュール [供用開始] 令和 7 年 3 月末 ⇒ 令和 7 年 12 月末



○総事業費 約 12 億円 ⇒ 約 14.8 億円

財源内訳

単位：百万円

項目	当初	変更後	差額
事業費	1,207	1,484	277
国費	690	844	154
起債の交付税措置	376	463	87
市の実質負担額	141	177	36

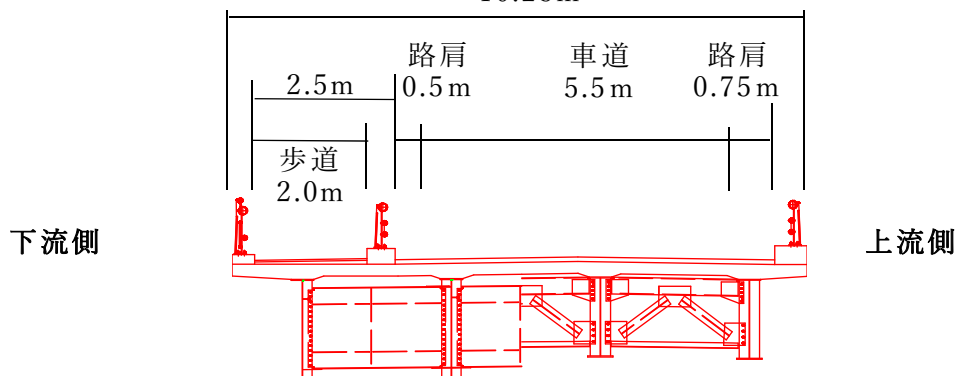
【裏面へ続く】

○整備計画図

- ・ 2車線、歩道（幅員 2.0m）を確保

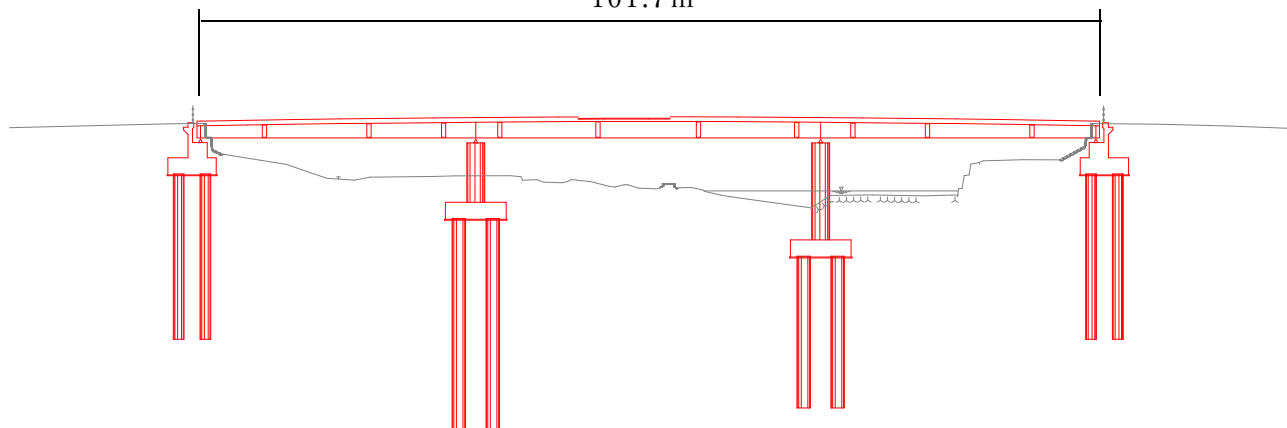
上部工断面図

橋梁幅員
10.25m



側面図

橋長
101.7m



橋梁諸元

工種	形式
上部工	3径間連続合成鈹桁橋
橋台工	逆T式橋台（杭基礎構造）
橋脚工	小判型壁式橋脚（杭基礎構造）

浜田郷土資料館建替え整備について

浜田郷土資料館の建替え整備について、老朽化や狭隘化が著しい現在の状況を多くの市民の方々に理解していただくため、見学会を実施し、その結果を集約しましたので下記のとおり報告します。

見学会後に実施したアンケートでは、全体で 81%の方から「整備が必要」との回答をいただきました。これらのご意見を踏まえ、次のとおりといたします。

- (1) 浜田郷土資料館の建替え整備を推進する。
- (2) 今後、具体的な検討に着手する。

記

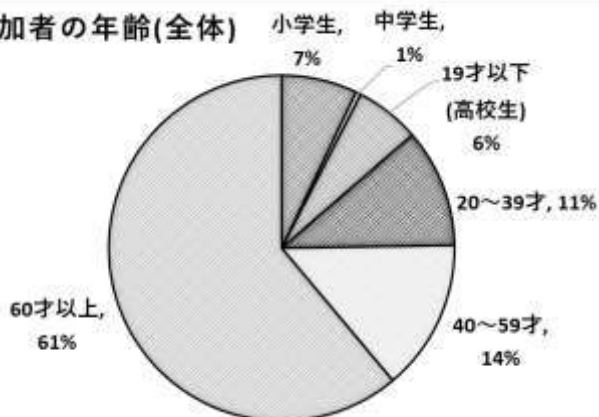
1 郷土資料館見学会について

- (1) 実施期間 令和 4 年 7 月～令和 5 年 7 月
- (2) 参加人数 198 人
- (3) 開催状況

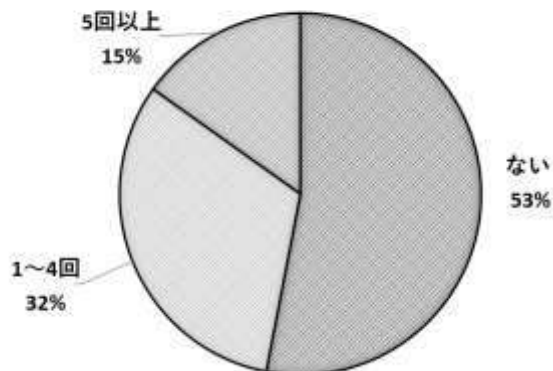
No.	日時	団体名等	参加人数	備考
1	令和4年7月1日～8月28日	各まちづくりセンター募集	141人	令和4年9月29日開催の議会全員協議会に報告
	小 計		141人	
2	令和5年2月15日	浜田青年会議所	14人	若い世代を対象とした見学会を追加で実施
3	令和5年2月18日・19日	小中学校生徒とその家族	24人	
4	令和5年2月25日	高校生学芸員第4回研修会	12人	
5	令和5年7月1日・2日	浜田市PTA連合会	7人	
	小 計		57人	
	合 計		198人	

(1) アンケート結果【全体】：令和4年7月～令和5年7月

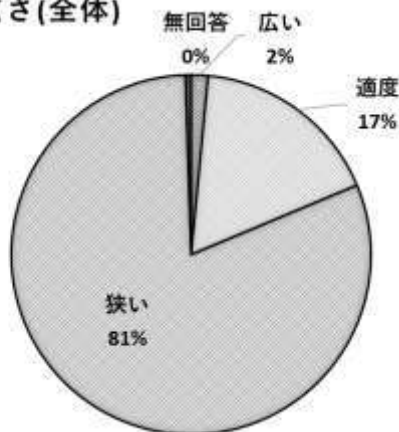
参加者の年齢(全体)



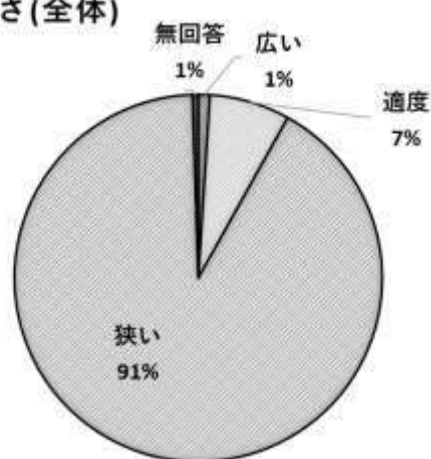
過去の来館回数(全体)



展示室の広さ(全体)

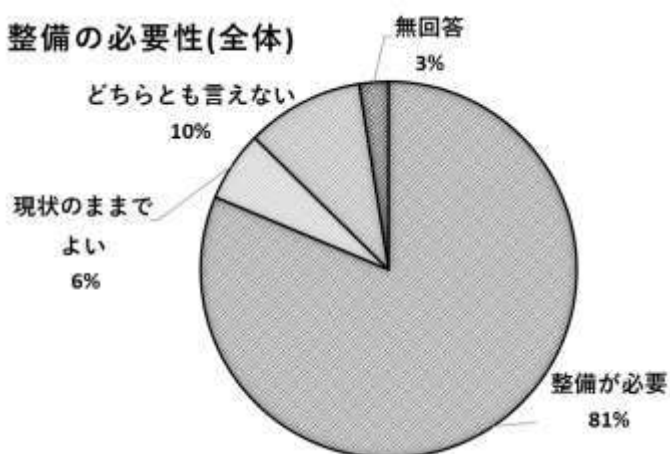


収蔵庫の広さ(全体)



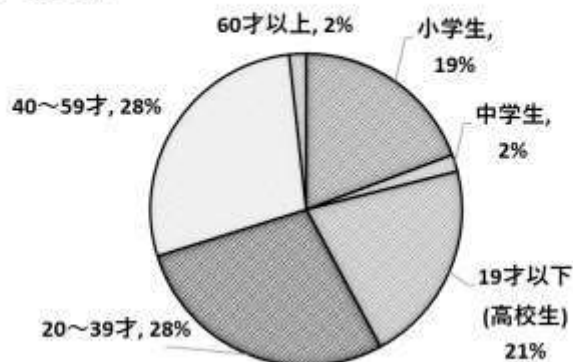
年齢	小学生	14人
	中学生	1人
	19才以下	12人
	20～39才	22人
	40～59才	28人
	60才以上	121人
合計	198人	
過去の来館回数	ない	105人
	1～4回	63人
	5回以上	30人
	合計	198人
展示室の広さ	広い	3人
	適度	34人
	狭い	160人
	無回答	1人
	合計	198人
収蔵庫の広さ	広い	2人
	適度	14人
	狭い	181人
	無回答	1人
	合計	198人
整備の必要性	整備が必要	161人
	現状のままでよい	12人
	どちらとも言えない	20人
	無回答	5人
	合計	198人

整備の必要性(全体)

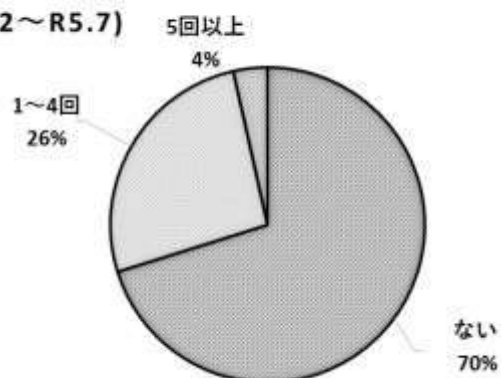


(2) アンケート結果【追加実施分】：令和5年2月～7月

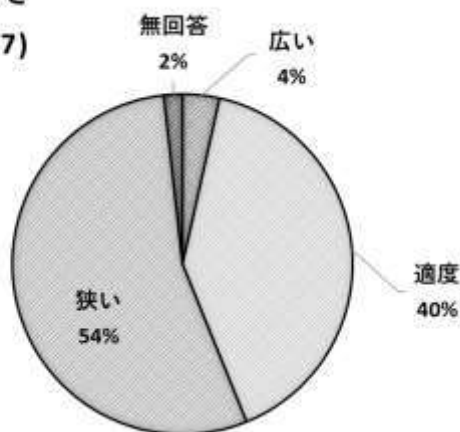
参加者の年齢
(R5.2～R5.7)



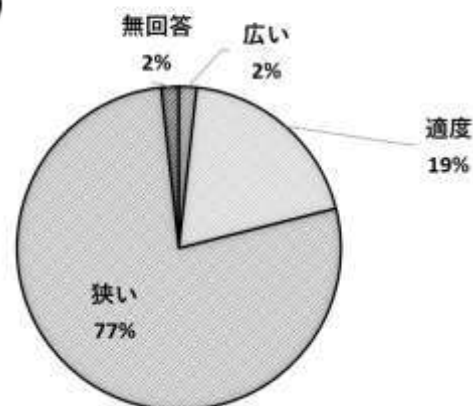
過去の来館回数
(R5.2～R5.7)



展示室の広さ
(R5.2～R5.7)

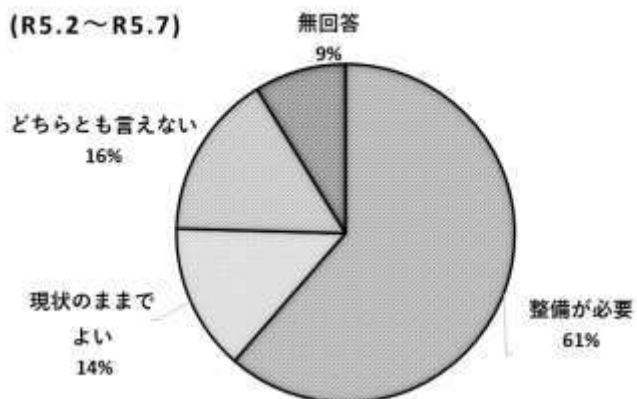


収蔵庫の広さ
(R5.2～R5.7)



年齢	小学生	11人
	中学生	1人
	19才以下	12人
	20～39才	16人
	40～59才	16人
	60才以上	1人
合計	57人	
過去の来館回数	ない	40人
	1～4回	15人
	5回以上	2人
	合計	57人
展示室の広さ	広い	2人
	適度	23人
	狭い	31人
	無回答	1人
	合計	57人
収蔵庫の広さ	広い	1人
	適度	11人
	狭い	44人
	無回答	1人
	合計	57人
整備の必要性	整備が必要	35人
	現状のままでよい	8人
	どちらとも言えない	9人
	無回答	5人
	合計	57人

整備の必要性
(R5.2～R5.7)

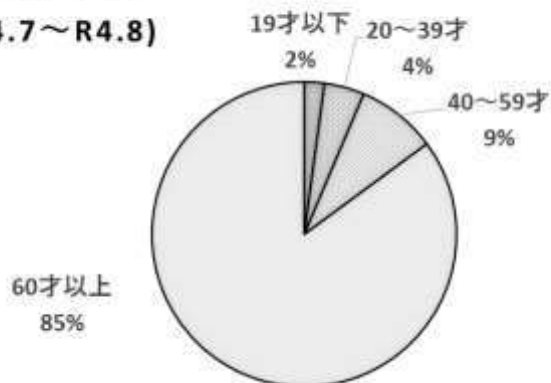


(3) アンケート結果

【各まちづくりセンター募集分】：令和4年7月～8月

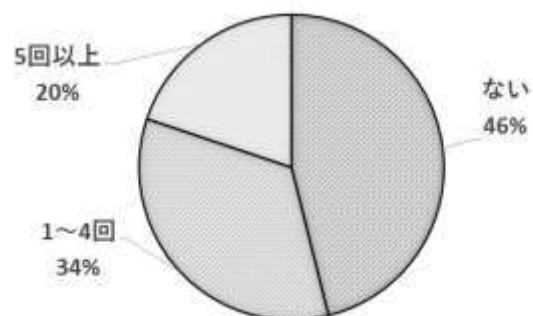
参加者の年齢

(R4.7～R4.8)



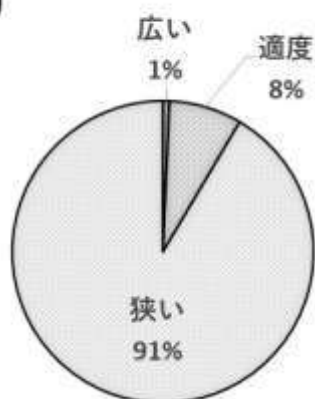
過去の来館回数

(R4.7～R4.8)



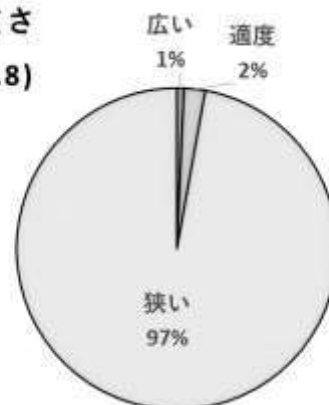
展示室の広さ

(R4.7～R4.8)



収蔵庫の広さ

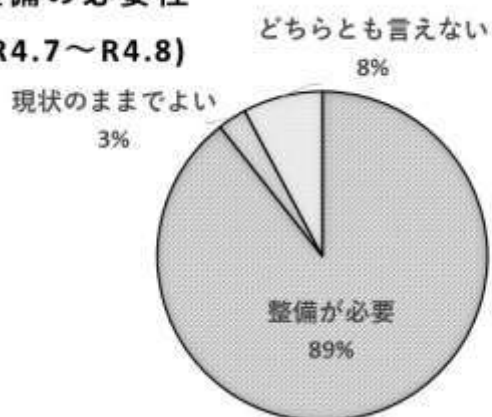
(R4.7～R4.8)



年齢	19才以下	3人
	20～39才	6人
	40～59才	12人
	60才以上	120人
	合計	141人
過去の来館回数	ない	65人
	1～4回	48人
	5回以上	28人
	合計	141人
	展示室の広さ	広い
適度		11人
狭い		129人
合計		141人
収蔵庫の広さ		広い
	適度	3人
	狭い	137人
	合計	141人
	整備の必要性	整備が必要
現状のままでよい		4人
どちらとも言えない		11人
合計		141人

整備の必要性

(R4.7～R4.8)



浜田郷土資料館見学会 アンケート

令和 年 月 日

今後の参考とするため、以下の設問についてご記入をお願いします。
記入にあたっては、該当する数字に○をしてください。

問1 年齢についてご記入ください。

1 : 19 歳以下 2 : 20 歳～39 歳 3 : 40 歳～59 歳 4 : 60 歳以上

問2 これまで資料館に来館されたことがありますか。

1 : ない（今回初めて） 2 : 1 回～4 回目 3 : 5 回以上

問3 展示室の広さについてどう思われますか。

1 : 広い 2 : 適度 3 : 狭い

問4 収蔵庫の広さについてどう思われますか。

1 : 広い 2 : 適度 3 : 狭い

問5 施設の状況を見学して、資料館の整備が必要と思いますか。

1 : 整備は必要と思う 2 : 現状のままでよい 3 : どちらとも言えない

上記の1～3について、選択された理由等のご意見があれば、ご記入ください。

問6 その他、見学をして、資料館のあり方や活用方法等、感想やご意見があればご記入ください。

浜田郷土資料館見学会【追加実施分】：令和5年2月～7月

アンケート集計（問5 整備の必要性に関する意見）

問5-1 整備は必要と思う

番号	選択した理由等の意見	団体等
1	老朽化が見てとれた。貴重な品を適切に管理されていないと感じた。	JC
2	歴史から学ぶ機会どうのは重要であると感じます。ただ資料館を新設するというのは必要なのか疑問を感じる。必要であれば今までもっとはやく実現できたと思うし、他にやるべき課題は他にあると思う。	JC
3	今後の学生教育を充実するにあたり、設備が必要だと思った。	JC
4	歴史物は残していく必要がある。資料に関して残していくべき物、見せ方を考えた上で整備が必要であると感じた。	JC
5	過去のモノを残すことは必要だと思います。しかし、場所のせんていが重要であり、市民になっとくして頂く形で新しくできればと思います。	JC
6	整備が必要。	JC
7	貴重な資料が展示されずにあるのはもったいないと思う。ここまで建物が古いと思わなかった。	JC
8	施設の老朽化を考えたら必要だとは思いますが資料館の必要性を感じない。	JC
9	後世へ残していかなければならない資料、まだまだ展示したい資料がかなりあり、それを保管しておくにはかなり不安な建物であると感じました。	JC
10	5問ゆかとか古いからちょっとつまづいたりあぶないから、なおしたほうが良いと思います。	小学生
11	1つ1つのてんじを見やすくしてほしい。	小学生
12	古くて雨が入ってくるとおっしゃっていたので、資料がぬれないように整備した方が良いと思います。	中学生
13	収蔵庫にたくさんある作品が現在の状況では十分に見てもらうことが難しいと思います。雨もりがあつて施設が古くなっていることもあり貴重な作品を保存するためにも整備は必要と思います。	保護者
14	さすがに建物が古すぎると思う。耐震・保存に耐えられるか心配	保護者
15	皆さんに見て知ってもらうには、もう少し広い方が良いと思います。	保護者
16	貴重な蔵品を見せていただきまして、もう少し広い建物に改築し、市民の皆様に見ていただきやすいようにした方が良いと思う。	保護者
17	たくさん収蔵されているので、見学に来た人がたくさん見れると良いと思います。	保護者
18	倉庫を増やしてみればよい。老朽化が進んでいるならば、改築するとか。	保護者
19	子どもたちが見て感じられる様に整備していただければうれしいと思う。	保護者
20	キッズスペースや休けい所があれば、家族で遊びに来て、色々見て感じて楽しめるものがたくさんあると思い、もったいないと思いました。	保護者
21	郷土資料館の整備は必要だと思います。一方で公共施設の整理、整備も必要だと思います。このバランスをしっかりと示して理解を得ることも検討ください。	保護者

番号	選択した理由等の意見	団体等
22	せっかく貴重な資料があるのですから、整備されれば更に素晴らしい資料館になると思います。	高校生
23	折角、沢山の貴重な資料があるのに、表に出る機会がないのはもったいないと思う。	市P連
24	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと教育は大切であり、浜田歴史を子供達に1度は学んで触れてほしいと思います。 ・現状の施設では人が来にくい。明るさ、建物のふんいき等をふくめて、新しく整備は必要と考える ・現在の建物との併設はとても良い。単独では集まりにくいと考える。 	市P連
25	整備の内容については、十分に考えて行ってほしい。展示と保存は、分離して考えた方が良くはないかと思っています。	市P連
26	初めて見学させてもらいましたが、多くの資料が展示されず 収蔵庫に保管されたままになっていて、もったいないと思いました。	市P連
27	大切な浜田の歴史を次の子どもたちに伝える為の大切な資料なので、新しくして多くの資料を展示してほしいです。	市P連
28	資料館の保管資量に対して施設の狭さが目立った 広い場所があれば、もっと倉庫の中の物が日の目を浴びると思った 老朽化が目立つ	市P連
29	すばらしい資料がねむっている状態で、もったいないと思いました。広さがあれば、多数展示できる。	市P連

問5-2 現状のままで良い

番号	選択した理由等の意見	団体等
1	資料などが保存できているならそれでいいと思う。必要な資料を厳選する必要がある。	JC
2	(該当意見なし)	JC
3	ちょうど良いと思いました。	高校生
4	ちょうど良いかんじだったから。	高校生
5	他の展示室をあまりみたことないから。	高校生
6	(該当意見なし)	市P連

問5-3 どちらとも言えない

番号	選択した理由等の意見	団体等
1	物の価値がわからない中で私見を述べるのは恐縮ですが、本当にいるものといらない物が関係なくあふれているのではと感じた。実際に今回、目にした中でまずは歴史的に本当に価値のある物は残し、そうでない物は捨てるといったことを行いスマートにするべきだと思います。	JC
2	整備は必要だと思うが、新設する資料館のビジョンが見えてない状況ではまずいと考えます。特殊な設備が高いなど分かるけど分からない感じなので、高いけど必要な物が可視化できる様にするなど工夫が必要だと思います。	JC
3	全体的にやはり狭いと思いますが、直接手にもってふれたり、近くで見れたりするのは子どもにとってすごくよい経験になったと思います。古いからこそその良さもあると思います。	保護者
4	(該当意見なし)	高校生
5	(該当意見なし)	市P連

浜田郷土資料館見学会【追加実施分】：令和5年2月～7月

アンケート集計（問6 その他感想や意見）

番号	見学会を通しての感想、意見	団体等
1	子供の興味を引くような展示法、触れるとか動画とか、見学ツアーのように、とによりで説明してくれるとわかりやすく楽しかった。実際見てみないとわからないことがたくさんありました。	JC
2	上に同じく知識のない中で述べることになりませんが、まずは簡単にできることから、例えばSNS発信を元に行うこと等、市民に身近なものにすることが重要ではないかと思いました。	JC
3	浜田市のまちの変遷が流れで見れるとおもしろい。	JC
4	私たちの世代が浜田の歴史を知ることが必要だと感じました。みらいへどう残していくかしんげんに考えていきたいと思います。	JC
5	現施設に行ったことがない市民がけっこういるとのことでした。新施設が出来ると、そういう人も行く様な構想を期待します。価値が伝われば納得すると思います。	JC
6	色々と収蔵しておりもったいないと感じる。一つ一つの展示が狭い。本日はありがとうございました。	JC
7	浜田郷土資料館が新しくなればいいと考えが変わりました。	JC
8	また来たくなる様な取組みをした方が良かったと思った。	JC
9	整備は必要だと感じましたが、費用をぼう大にかけて、来館する方がどれだけ増えるのか気になる所なのかなと思います。浜田の歴史に興味を持っていただく必要があると考えます。今日は参加させていただき良かったです。ありがとうございました。	JC
10	初めて中に入ったのですが、物品がしまいきれておらず、箱に入れられたままの物も多かったです。	JC
11	今までしらなかった昔の物などについていろいろ知れたから良かったです。昔にくらべたら今はすごいべんりになっているのが分かりました。	小学生
12	いろいろなものをさわって、でんわとか、むかしの刀をもってかっこいいし、すこしおもかったから、なれてもてるようにしたいし、てっぽうもささえてもらったから一人でもちたいと思いました。	小学生
13	現在とは近うくらしの見かたができ、どんなことをしていたかなどふだんの生活と見比べることができるととても良い体験だと思いました。これからの勉強に活用させていただきます。昔の人々のくらしや道具なかなか見れないとてもきちょうな時間でした。	小学生
14	前いったしりょう館にない物があって前よりも色いろしれて良かったです。とくべつに見せてもらった物もあって良かったです。	小学生
15	昔の物が浜田市でもあるとは、知らなかったのでびっくりしました。自学にかけそうなのでかきたいです。	小学生

番号	見学会を通しての感想、意見	団体等
16	今のどう具とちがった、昔のどう具のことがわかった。	小学生
17	見たことない道具や物がたくさんあって、そのことについてもたくさん知れたので、いいけいけんでした。	小学生
18	かたなをはじめてもちました。たのしかったです。またいきたいです。どうやってやるかがわかりました。よかったです。	小学生
19	私は実際資料を見て、とても分かりやすくて、とてもおもしろかったです。知っている物もさらに詳しく知れたので、来て良かったと思いました。私は歴史にきょう味があったけど、さらに歴史にきょうみを持つことができ、勉強になれたので、良かったです。	中学生
20	小学校の授業でも資料館の見学会があると子どもたちが浜田の歴史を知るきっかけになってよいと思います。	保護者
21	とても良い経験になりました。良かったです。 ・建て替えの話が出ていたが、修理と建て替えどちらが安く、長く保存できるかを比べて考えてほしい。 ・展示品を時代ごとに並べられれば分かりやすい。(広さの問題があると思うが)	保護者
22	普段見られないものが見られて良かった。話も面白くて良かった。	保護者
23	収蔵庫にあるものも、沢山展示して、気軽に市民が見たり、学校の課外授業に使いやすい資料館になったらよいです。	保護者
24	とてもおもしろく見学させてもらいました。1階を見てまわる時に説明をききながら 移動する時後ろの棚にぶつかってしまったのでもう少し広いと良いかと思いました。小学校1年生の子供には少し難しかったようなので、もう少し大きくなったらまた来たいです。	保護者
25	子供が興味深く見ていたので良かったと思います。	保護者
26	浜田の歴史を知る上で、必要な施設だと思います。これからの子どもたちに伝えていく為にわかりやすい展示、広さが必要だと思います	保護者
27	ふつう見ることのできない場所やさわることのできないものを見る等特別に入ったり さわれたのはよかったです。子どもも興味をもって参加していました。浜田の歴史は勉強になりました。わかりやすかったです。	保護者
28	限られたスペースの中での展示や保存はご苦労が多くあると思います。浜田城資料館との住み分けも大変だと思いますが、しっかりと郷土資料館の活用について理解を得るようがんばってください。	保護者
29	甲冑を見てみたいと思った。	高校生
30	本当に貴重なものを置いてほしい。	高校生
31	あることは知っていたけど、場所が全然分らなかったなので、ある場所をもっとみんなに広めたら良いと思いました。	高校生
32	小学校・中学校の勉強資料になればよいと思った。	高校生

番号	見学会を通しての感想、意見	団体等
33	見たことがないものがたくさんあったので、見てておもしろかったし、見ることでとてもよかったです。	高校生
34	昔、使っていた道具を見たり触ったりできてよかった。	高校生
35	浜田の歴史、文化について詳しく学ぶことができ、とても興味深く思いました。魚のはく製も、珍しい魚種がいくつかあり面白かったです。	高校生
36	刀などの興味をひきやすい展示物を増やした方がいいと思いました。	高校生
37	もっと主張するような看板があった方がよい。	高校生
38	やはり整備するのであれば、美術館や図書館等、親子が使用する設備と併設が望ましい。デジタルが身近にある子供達がより興味をしめせる、五感を刺激する様な設備が望ましい。例えば、サヒメルのような設備は子供が大変興味をそそられていました。(巢の下に行くとハチの大群の音がする等)今日は、大変、良い機会になりました。丁寧な説明をありがとうございました。	市P連
39	車社会であることも考えて整備してもらいたい。駅前+商業施設に近い所にはいらない。貴重な資料を少しでも多く展示してほしい。デジタル化の話もでたが建物整備と共にデータベースの活用も含めて、新しい資料館の型を考えてほしい。	市P連
40	年日の系列での来館者数のデータは知りたいです。また、「ふるさと教育」を最大のミッションとしておられる中でKGIやKPIはどう評価されているのか気になります。整備された時あわせてOPENにしていくべき!?	市P連
41	かっちゅうや、刃など、子供がすきそうなものなど、展示されると、子供はよろこぶのではないのでしょうか。すてきな物がたくさんあるのに、もったいないです。子供の学習などにも役立ってもらいたいです。観光にも役立てられるのではないのでしょうか。	市P連
42	子供だけではなく大人も見学するきかいがあれば良いと思う。資料館が狭いので多くの人一度に見る事は難しいと思うけどなるべく回数をふやし多くの人と同じ想いを考える事が出来れば新しく資料館を作ることができると思います。	市P連
43	ふるさとの歴史を知ることとはとても重要な学びだと思います。教科書だけでなく、自分の目でみて感じる経験(体験)を子供たちにさせてあげられる施設は貴重です。(深い学び)昔を知ることによって未来についても考えられる展示方法になっているとさらによいなと思いました。子ども達だけでなく、大人や観光客への浜田PRに活用もできるのでは。駅前、岩田屋あとやお魚センター周辺とか?	市P連

浜田郷土資料館見学会【各まちづくりセンター募集分】：令和4年7月～8月

アンケート集計（問5 整備の必要性に関する意見）

問5-1 整備は必要と思う

番号	選択した理由等の意見	募集地域
1	浜田市の資料で、知らないことが多く、学校（小学校）でも余り詳しく勉強しなかったように思います。殿町に住んでいましたので、城山を遊び場として育ちました。資料館を見学させてもらってなつかしく感じました。	美川
2	現況として厳しい状況では有るが、浜田市の財政及び優先順位を考えれば難しいと思う。	美川
3	資料等の管理が雨もりや地震等を考えると整備が必要と思う。	美川
4	整備は絶対必要。文化に対して力をいれるべきだ。	岡見
5	このままでは大事な資料が失われる。早急に整備してもらいたい。	岡見
6	歴史文化を大事に思う。保存を早急に整備するため、建物を建替える必要がある。	岡見
7	資料館と云えばマニアックな感じがしますが、大切な資料はもっと大切に保存、保護されるべきです（もう二度と作れないもの）。側道からでも見えるように市のシンボリックなものとして位置づけ、日頃から関心を持って取り組むことも大切。	長浜
8	貴重な資料を少しでも多く、展示し、郷土愛を市民の皆さんに育てほしい。	長浜
9	浜田の歴史が目に見える形で、市民が見れるということは、大切なことだと思います。	長浜
10	他市の資料館と比較してもスペースが狭い。見やすい字の大きさと理解してもらうためにも展示スペースは必要と感じる。	長浜
11	建物自体が60年以上も経過しており、また、歴史資料館専用のものではないので、新しく建て直すか、どこか適当な施設があれば移転した方が良くと思います。	長浜
12	せっかく重要な資料等がたくさんありますので、有意義に展示する為、施設を作ってください。	長浜
13	とても古く感じました。出来たら新しく成ると良いと思いました。	浜田
14	だいぶ古くなっている様子でした。	浜田
15	展示して見られる様にしてほしい。	浜田
16	これだけの資料を保管、展示するための施設は必要と思います。城跡などの場所を活用してみるなど、ぜひ、検討されたらよいと思います。	浜田
17	資料館を見学して資料が沢山有るのに展示場が狭いと感じた。	浜田
18	管理のご苦労が大変な事が良く分かりました。	浜田
19	整備必要で、もう少し広い所がほしい。	浜田

番号	選択した理由等の意見	募集地域
20	収蔵品の整理（必要・不要の区別）が必要と思う。	浜田
21	郷土の大切な品物をながく保管するためには、もっと広いスペースが必要と思う。使われなくなった建物などを使うという事もありだと思う。	浜田
22	もう少しゆとりがあればいいかなと思います。	浜田
23	保管が大変だと思います。選別して少なくとも良いと思います。	浜田
24	現状では大切な資料が活用されていない様を感じる。	三隅・三保・白砂・井野・黒沢
25	もう少し大きいのがいい。	三隅・三保・白砂・井野・黒沢
26	現状の施設は倉庫としての機能しかないように思います。学習施設として機能を中心とした本来の文化施設としての整備が必要だと思います。	三隅・三保・白砂・井野・黒沢
27	整備は必要だが、新たな建物は必要ないと思う。現在使っていない建物（小学校）などを再利用した方がよい。全てを新しくする必要は感じられない。	三隅・三保・白砂・井野・黒沢
28	乱雑であり、展示のみりよくに欠けるから（整備が必要）	三隅・三保・白砂・井野・黒沢
29	今のままで良いとは思いませんが、投資コスト、ランニングコスト、そしてコロナ等と社会情勢の変化の中、極力コストを押さえ市民の学びの場として考える必要があると思います。	三隅・三保・白砂・井野・黒沢
30	展示物が多いのに対し、狭すぎると思います。	周布
31	新しい資料館は、維持、管理は最小になるように。省エネの良い資料館を。少しコストがかかってもいい。	周布
32	早急に新しい資料館を新設した方がよいと思う。市議も資料館を見学したらいいのではないか。	周布
33	資料が多すぎて整理する事が大変だと思う。御苦労が多いと思う。	周布
34	膨大な資料があるのに、展示品はその一部しかない。	周布
35	色々な資料や説明を見たり聞いたりしてすばらしいと思った。	周布
36	思ったよりも資料が多くて、ぜひ施設を広くしてほしいです。	周布
37	資料館としては、非常に狭く、広いスペースが望ましい。	周布
38	新しい資料館が、ぜひとも必要と思った。	周布
39	現状では、貴重な資料を展示するには、あまりにも狭く、もっと市民に、この事を知ってもらい、郷土資料館として役目を果たす建物を希望します。	周布
40	管理、設備の充実が早急に必要と感じました。	周布
41	あまりにもひどい状態だと実感した。宝が宝としての扱いを受けていない。石見・浜田の人や郷土（資料）へのぼうとくだとさえ思う。	周布
42	改めて資料館を見学して、浜田の歴史の深さを知り、その後に繋がる流れを知りたくなりました。	国府

番号	選択した理由等の意見	募集地域
43	合併を繰り返して現在の浜田市がありますので、各地（三隅とか）に資料館があるが、これらとのかねあいは、どうなるのか。市としてまとめることが、是かどうかも考えてもらいたい（まとめると狭くなるのかも）。	国府
44	城山下に新しい施設を造った方が良い。ここでは人が来ない。郷土資料館の事務は頑張っておられます。もっと人をふやしてやれば良いけど、ここはせま過ぎる。	国府
45	雑多なところでの管理をされていないようで、大変であろうと思った。	国府
46	資料が埋もれていて利用されていない。資料がないています。	国府
47	展示品を見学している時、説明して下さり大変うれしく思い、すばらしい展示品を見せてもらいました。	国府
48	もう少し広いスペースで展示をすれば、もっと見やすいと思います。国分の昔の様子が、もっと分かるようになると思います。	国府
49	係の方にていねいに説明をうけて、わかり易く良かったように思います。	大麻
50	建物も古く、せまい、市として、もっと大きなものがほしいと思った。	大麻
51	エアコンが必要。	大麻
52	浜田の宝を見せて頂きました。良い時間でした。今まで知らなかった事が知る事が出来た。これからも浜田の宝を大切に展示してほしい。	大麻
53	空調せつびの見直し。バリアフリーの取り入れ。	大麻
54	少しせまく感じました。夏場でしたので、熱くゆっくりできませんでした。せつめいはとてもよかったです。	大麻
55	郷土の大事な資料があるので、ゆっくり見学が出来る様になれば良いと思います。保存が大変そうで、1ヶ所にまとめることが出来ると良いと思います。	大麻
56	狭いので展示品が出せないと思った。	大麻
57	重要なものがあると思うので、時間をかけず出来るだけ早い内に整備するのが良い。	安城・杵束
58	初めて見学させていただき、展示、整理されるのが非常に大変だと思いました。	安城・杵束
59	財源の見通しがつくなら、成るべく早期建替えが必要と強く思った。	安城・杵束
60	貴重な資料が収蔵されている期間のほうが、展示期間よりも長いと思うので、有効活用が図られていない。	安城・杵束
61	歴史資料がまだ増えそうに思うし、見学するにも、ゆっくりと出来たら良いと思う。	石見
62	今回初めて見学させてもらって、説明を聞き、なんとかしたらよいという感想をもちました。今日のような企画をもっと市民に周知して理解を深めていったら、良いのではないのでしょうか。	石見

番号	選択した理由等の意見	募集地域
63	歴史ある浜田の文化、歴史の資料は、とても大切です。しかし、現在の施設では貧弱で情けないです。他の施設も見学することがありますが、とても立派です。管理する人も大変、参加者も複雑すぎます。しっかりした施設が必ずほしいです。	石見
64	浜田の歴史をのこす爲に	都川・木田
65	初めて来館しましたが、なかなかいじするのが大変です。	都川・木田
66	暑くて狭い。	都川・木田
67	大事な多くの資料が、人の目にとどいていない。	都川・木田
68	見学するのに狭すぎる。収蔵庫が狭く、保存が大変。	都川・木田
69	展示室に空調設備を設置し、快適な環境で見学したい。狭い。大人数の団体客は見学が不便だと思う。	都川・木田
70	照明の改善が必要と思う。	和田・市木
71	早く整備しないと資料がいたむ。	和田・市木
72	1980～1990年代、バブル期に郷土資料館が全国各地に造られ、資料が収集された。今の時代、それをいかに保持散いつしないようにするかが、重要である。今の時期をのがすと二度と保存できないと思います。	和田・市木
73	他の文化施設との共同運営で新築する。各地の施設を統合する。	和田・市木
74	可能ならば、参考までに現段階のプラン（特に金額面）で例示していただくと、それにあわせて意見も出しやすい。	和田・市木
75	もっと広くした方が良い。	美又・久佐・今福
76	老朽化しているので、建替えは必要と考えますが、デジタル化できるものは、デジタル保存することも検討し、最低限、必要な施設整備を行っていただきたい。	美又・久佐・今福
77	興味深い展示品を拝見し、楽しい時を過ごすことができました。貴重な品を展示、収納する施設としては、明らかに古く狭いと思われませんが、なんといってもお金でしょう。	美又・久佐・今福
78	資料館整備については、是非進めていただきたい。その地域でしか集められない。歴史的事実を証明する。	美又・久佐・今福
79	1万点以上ある資料を今まで収集、保存、展示をされていて、案内していただきながら、ゆっくり見ました。今後も保存、展示していくには、ぜひ整備してください。	20日午前 現地集合
80	歴史を大事にしようとしている姿勢に感銘しました。展示場、保管場所とも狭すぎる。	20日午前 現地集合
81	歴史に興味があり参加しました。資料館がなんとか新しい形で出来ることを願っています。	20日午前 現地集合
82	収蔵資料がバックヤードにあれだけ多数ある事に驚き、それらの資料が常時展示できない状況なので、広い展示場が必要ではないかと。	20日午前 現地集合

番号	選択した理由等の意見	募集地域
83	展示スペースがなく、見せたい物と思われるものも展示出来ないと思う。	20日午前 現地集合
84	企画展の広さをもう少し広くしてもらいたい。	20日午後 現地集合
85	浜田市文化財が展示以外に、すごくあるのにびっくりしました。早急に展示が必要です。	雲城
86	資料が展示できていない（一部しか）。	雲城
87	収蔵庫に多くの展示品等が有りますし、今、これと出して展示したいと思っても大変な労力が必要で有り、早く整備された方が良くと思います。	雲城
88	もう少し広ければ、もっと沢山の資料がおけると思う。収蔵庫をもっと広げれば、職員の方も仕事がしやすいと思います。	雲城
89	老朽化している現状を見て、文化財を大切にすることが、必要だと思う。行政として、やるべきことは、多いのも十分解りますが、教育・文化面に力を入れることは、二の次、三の次にするのは、避けて欲しい。 経済（財政）面での問題が云われています。経費がどのくらいかかるか、よくわかりませんが、ふるさと納税とかの活用をすることも、いいかと思えます。文化財を大切に浜田市であって欲しいです。	雲城
90	手狭の一言。折角の資料展示を生かし切れない。ゆったりとした気持ちで鑑賞等をしたかった。資料の整理の難しさ、新しい持込の資料への対応。	雲城
91	企画展をされたりしているのに、狭すぎて展示内容のすばらしさが半減していて、もったいない。浜田の歴史を次世代に伝えるためにも、もっと広い場所で数多くの資料を展示してもらいたい。	雲城
92	常設展示の充実（浜田市の歴史に添ったもの）。企画展（個人的寄贈を含む）専門学芸員の成果とする。他館、豪州博物館、シリア博物館、海外（対岸）等施設と比較。 空調設備が必要。	雲城
93	コロナの中での説明など、広く場所をとった方が良い。	小国・波佐
94	歴史に関心があるから。	小国・波佐
95	せっかく資料が在ります。今の状態で管理できますか。	小国・波佐
96	資料館にてきしてない。	小国・波佐
97	資料保存の爲、ぜひ修理をされた方が良い。	小国・波佐
98	展示、収蔵スペースが小さい。ここまでは知らなかった。資料館を新たに建物をとということではなく、市にあるスペース活用もできるのではないのでしょうか。	小国・波佐
99	せっかくの資料が保存（箱入）では残念である。展示スペースがあれば良いと、今回せつに感じました。	小国・波佐
100	展示室の床や天井に、古くなったところがあり、雨もりがあると、貴重な資料の保存に問題がないといいなと思いました。	小国・波佐

番号	選択した理由等の意見	募集地域
101	老朽化が激しい。機能、あり方を再検し、市民に愛される施設にして欲しい。	28日午前 現地集合
102	収蔵施設の整備は、必要と感じる。展示については、企画展を中心に解説者をつけていただくとおもしろい。常設はストーリー性をもたせてほしい。	28日午前 現地集合

問5-2 現状のままで良い

番号	選択した理由等の意見	募集地域
1	資料館を建替えるのは、反対である。未だ大きなお金を使用するのはやめてほしいと考えています。他方面に使用する事がたくさんあると思っています。	美又・久佐・今福
2	展示物の質からして、今のままで良いのでは。	美又・久佐・今福

問5-3 どちらとも言えない

番号	選択した理由等の意見	募集地域
1	郷土資料館の建物が古いのはわかった。重要な資料があるのもわかった。	美川
2	施設については確かに収蔵スペースに関しては手狭な感じがするが、展示スペースについては、企画展の内容などによって受けるイメージが変わると思います。	長浜
3	はじめて来館しました。何度も来館に来られるところではないので、魅力ある展示の仕方、各地域で空いている施設利用を使用してほしい。	三隅・三保・白砂・井野・黒沢
4	新しい施設を作るのは、大変費用もかかるので、市民の賛同を得るのは大変むずかしいと思いますので、現資料館の横に土地をもとめて建てられるようにされたらどうでしょうか。	和田・市木
5	必要とは思いますが、経費面で問題があるのではないかと。	美又・久佐・今福
6	旧那賀郡の遊休施設を活用して整備すれば、中山間地の活性化にもつながると思います。	美又・久佐・今福
7	もう少し、ゆったりであればいい。	小国・波佐

浜田郷土資料館見学会【各まちづくりセンター募集分】：令和4年7月～8月

アンケート集計（問6 その他感想や意見）

番号	見学会を通しての感想、意見	募集地域
1	何か古いものはないかと担当の方が探していらっしやると感じていました。	美川
2	建築ありきの問題提起が市民の賛同を得られないのだと思う。例えば、原井幼稚園を使えば、造成費が浮くし、市内なら歩いて行けるので、見学者が増えるのではないか。我家はもっと古い家屋です。コロナで浜田市の財政も大変です。専門家の希望ではなく、玄武岩などはしょっちゅう見学会をしている。資料館ももっとアピール（浜田歴史展等）すべきではないか。	美川
3	資料の展示がせまくてわかりにくい。見学をしてみて今まで言われた事がわかりました。	美川
4	もっとこのような活動をしていただいてもらおうと良いと思う。話だけではなく動かせる物は動かせるといいな（特に小学生）と思う。そのためにも、もっと広いスペースがあればと思う。	美川
5	現在所蔵されている物のみの資料館を建替える予定なのか。それとも、他に関係ありそうな物も併設される予定か。石見神楽に関する物は？	美川
6	はじめて見学をしました。浜田の成り立ちなど改めて気づきました。多分、知らない人が多いんだろうと思います。多くの人に知ってもらおうことが、大切だと思いました。	美川
7	本日は資料館見学会第1回ということで、大変貴重な体験をさせていただき、勉強させていただきました。今後の資料館のあり方は一言では言えませんが、市民に負担のかからない様、検討して下さい。	美川
8	もっと市民にアピールしていただきたい。	岡見
9	早々に建物を建設頂きたい。資料館の存在意義を市民にPRして頂きたい。	岡見
10	特別展等、幅広く来館して貰いたい意図は理解できますが、身近で親近感のある企画が重要だと思います。新しい資料館を建替するにしても、市民に理解が広がらなければ盛り上がりません。	長浜
11	資料館の建替えが必要と感じます。	長浜
12	浜田市に外から来て、見学するとき場所がいろいろな所に点在していて、とても不便に感じます。公共交通の整備がもう少し考えて欲しいと思います。	長浜
13	経費のことも大事ではあるが、歴史を伝えることの価値を市民に理解してもらえるようPRした方が良いでしょう。古代、中世、近世を通じて浜田の良さがあるので。	長浜
14	私自身、初めての見学でしたが、来てみてわかったことは、ものすごくきちょうな資料があるなと思いました。もう少し、PRを工夫されると来館者が増えるのではないのでしょうか。	長浜

番号	見学会を通しての感想、意見	募集地域
15	初めて見学に来ましたが、くわしい説明をわかり易く聞かせて頂き、大変勉強になりました。これからはまだの爲、ぜひ、新しい施設を作ってほしいです。	長浜
16	ある程度整備は必要と思ったが、浜田城資料館や各まちづくりセンターに分散展示する方法も考えられると思う。少子高齢化が進む中でどれだけニーズがあるか考えてみる必要もあるのでは。収蔵品の整理（貴重なもの度合）など大変だと思いました。	長浜
17	せっかくの資料の展示が、出来ていない。もったいない。	浜田
18	昔を知る事が出来た。忘れていました。	浜田
19	説明がわかりやすかったです。有難うございました。	浜田
20	熱心に説明して頂き良くわかりました。有難うございました。	浜田
21	早く新しい資料館が出来ます様（何年も資料館のえん期で大変ですね）。	浜田
22	市民1人1人に現状がわかるよう何かで公表してもらい、寄付をするとかして作るようにする。	浜田
23	歴史資料の相談窓口が常設されると良い。1度収蔵品の全ての展示が出来ないものか。	浜田
24	今日のようなイベントをどんどんやっていく。少し遠くてもバスを使えば、皆さん見学に来られると思う。	浜田
25	新しく建物を造るより、市の所有する既存の建物の有効利用が望ましい。現在の建物の整備は投資が無駄になる。常設展や企画展で市民へ保管資料の重要性をアピールし、資料館の必要性に対する理解を深める事が最優先。	三隅・三保・白砂・井野・黒沢
26	建物自体も古さがあり、私は好きです。きれいな建物よりも補強して、このままの姿でみて頂くのも味があつて良いなと思いました。空調設備、収蔵庫等は、早めに何とかした方が良いでしょう。お話をききながら、市内の小中学生が、授業等で来られるように、展示もみやすく黒TV、黒でんわ等も研修室に置くのではなく、展示してあれば、市内の学校をはじめ、多くの見学者も来て頂けるのではないかと思います、そう考えると今のこの広さは、やはり狭いのかなと思いました。今後もっと浜田の人が来館しやすい場所になると良いなと思いました。	三隅・三保・白砂・井野・黒沢
27	大きな所にせっちした方がよい。	三隅・三保・白砂・井野・黒沢
28	浜田地域の資料館ではなく、合併後の新浜田市としての資料館が必要と思います。郷土愛を育てるためにも、市全体の歴史発展が理解出来る学習施設が出来ることを希望します。	三隅・三保・白砂・井野・黒沢
29	郷土資料館の建て直しでは、市長のいう観こう客は見込めないの、浜田城を再建した方がまだ良いと思う。	三隅・三保・白砂・井野・黒沢
30	同規模の資料がたくさんあり、整理した方が良いでしょう。特に民具は集まりやすいので、浜田地域以外の方が見学に来て期待がもてる物にしてもらいたい。	三隅・三保・白砂・井野・黒沢

番号	見学会を通しての感想、意見	募集地域
31	平成21年、平成27年の整備案の方が良かった。浜田城周辺整備案の際、なぜ出来なかったのか、とても疑問に感じている。	三隅・三保・白砂・井野・黒沢
32	浜田城資料館も市民に浸透していない中、新しく建物を整備しても意味が無いように感じます。市民の皆さんに興味、関心を持ってもらえるような工夫が必要だと思います。	三隅・三保・白砂・井野・黒沢
33	郷土資料館は狭くて古い建物ですが、もっと市民の意見を聞き、過疎化していく地域の方へ目をかたむけ、健康長寿が短いといわれる浜田市を元気にしていける方へ活動してほしい。資料館は空き施設が多くなってきているので、そこを再利用して展示をして行けば良いと思う。	三隅・三保・白砂・井野・黒沢
34	たくさん資料がねむったままでは、もったいないです。多くの方に、見ていただきたいです。	周布
35	営業は市民・学生・市と連携してイベントを実施して、皆さんに知ってもらうようにする。	周布
36	保管されている資料が見える状態で保管されたら、入館料は今まで通り無料にしてもらいたい。	周布
37	施設が狭すぎる。	周布
38	前回来館した際は、ただ、ひたすら見学しただけの爲、興味がわかなかったが、今回は学芸員さんの説明があり、時間が短く足らなかった。	周布
39	格納されている物が多く、もったいないと思う。	周布
40	市民の人達が気楽に来れる様な館を作ってほしい。特に子供達が来て浜田の事を知ってほしい。	周布
41	ゆっくり見学したくても狭く、エアコンもなく、改善して欲しい。	周布
42	もう少し広い展示場と、見学の体制などの充実が必要と思います。石見地域の歴史も広く知れるようにして頂きたい。	周布
43	早急に新しい郷土資料館を設立されたい。このままでは、浜田の恥をさらすことになる。旧那賀地区との綱ひきなど解決課題があるのかも知れないが、大団に就く心構えで、当たってもらいたい。	周布
44	家庭で使わないで物置の隅にある物に、もしかして、関心と呼ぶ物になるかと思った事に気がきました。	国府
45	現資料館の駐車場に新たに（分館を）建て、その後、今の資料館を解体してから本館を建てる。3～4階建ての建物でも現地を望む。	国府
46	私は資料館をこども美術館に併設は賛成できない。城山下はまだ空いている。長州軍（現在で言えばテロ）に敗れた浜田藩の人達は、悲しいと思う。文化が乏しい町は魅力が無い。それが分からない市議会議員が多過ぎる。今日は詳しい説明をありがとうございました。多くの貴重な資料があるので、もっと多くの市民に見てもらいたいけど、ここでは無理です。	国府

番号	見学会を通しての感想、意見	募集地域
47	勉強不足のもの意見ですが、浜田城資料館が出来た時になど、一緒にしないのかなと思いました。学習施設としてのあり方も大事だが、市外・県外の方が来ても興味が出るようなものにしていけたらと思う。アニメの映画などで取り上げられた聖地巡礼みたいなものも企画すると、より若い世代の方の関心もあがるのでは？と思います。	国府
48	移転は必要。市長の決断で早期に実現してほしい。	国府
49	温度差のある展示品大変と思うので建て替えを希望します。	国府
50	収蔵庫に置かれているお宝の多さにびっくりしました。説明の中で見てみたいなど、ぜひ展示をしていただきたらと思いました。	国府
51	大へんわかりやすいせつめい、ありがとうございました。	大麻
52	なんと言っても、せまいのが第一に思われた。もう少し広く、明るい建物にしたら良いなあ・・・。	大麻
53	これから先、展示される内容を知った時は、又見学等に公民館の事業としてもらって、1人でも多くの人に知ってほしいと心から思いました。大変良い時間をありがとうございました。	大麻
54	浜田の郷土資料を生かして若い世代、又子供たちに伝えて行く事は非常に重要であり、その為にもどうしたら資料館に足を運ぶようになるかを、前向きに取り組む必要があると思う。その1つが資料館の整備、又来館時に資料等の説明がわかりやすく出来る等が必要だと思います。将来の浜田市の活性化の為にも、子供たち等に浜田市の歴史を知ってもらう事が必要だと思います。	大麻
55	倉庫にしまっている展示物が、まだまだ、たくさんあったので、すごいなーと思いました。せっかくなので、それらも、表にだして展示できるスペースがあると、いいなーと思いました。本日はありがとうございました。	大麻
56	すばらしい展示物があるのを知り、ゆっくり展示したのを見たいです。	大麻
57	旧那賀郡の資料館の資料も一つにまとめて展示したらどうか。旧那賀郡の資料館は倉庫につめこんだようだった。1回見学にいったことがある。	大麻
58	今回、浜田の歴史について説明を受け認識不足を痛感しました。建物の老朽化は無論、スペースも狭く、魅力ある資料館ではない様に思いました。市民の皆が浜田の歴史を再認識できる魅力ある資料館になる事を希望します。	安城・杵束
59	展示等について旧浜田市中心はやむを得ないが、全市的な配慮が特に必要ではないか。	安城・杵束
60	整備費用の優先順位付けが必要。現資料館は全て収蔵庫とし、展示は既存の他施設を利用するなど。	安城・杵束
61	縄文時代からの浜田の歴史を初めて詳しく聞いて、関心しました。ありがとうございました。	石見
62	浜田の歴史を知る上で、資料館はあったほうが良いという感想をもちました。	石見

番号	見学会を通しての感想、意見	募集地域
63	新しくするのは反対でしたが、これでは狭いので、よくわかりました。	都川・木田
64	狭くて見学はらくですが、余りにも物が多くて、もう少し広い方が良いのでは・・・。	都川・木田
65	市の資料館としては、いかにもさびしい気がします。	都川・木田
66	大至急、新しい資料館を作る事が必要である。	都川・木田
67	楽に見学できるスペースにしてほしい。	都川・木田
68	浜田城関係の資料や、郷土の歴史の資料など、あちら、こちらの建物に展示せず、一つの建物に展示すれば、より利用価値が高くなると思う。	都川・木田
69	御便殿の近接が適地と考えられる。こども美術館近接では遠い（相手へ効果が期待できる）	和田・市木
70	施設が狭いので保存が大変である。郷土の子供達に歴史を知る機会が大切である。早急の資料館検討をお願いします。城跡の整備は？	和田・市木
71	資料館見学会等は、土・日・祭日にした方が、現役世代の方も参加しやすいのではないか。	和田・市木
72	皆様が来られて、見学が出る様にする。イベントが必要となる。車の駐車場が必要になる。	和田・市木
73	資料館の整備はなるべく早く行った方がよいと思うが、一から建てるのではなく、空き施設や廃校などを改築して利用することもよいのではないかと思う。まちセン等へ出張展示会等をするのもよいのではないかと思う。山間部は高齢者も多く、なかなかわざわざ市内まで行くことは難しい。身近な場所であれば、興味のある方も来て下さる方もおられるのでは。お話されていたように、イベントの開催もよいと思った。	和田・市木
74	浜田に生まれ、金城に行き、とても見学してよかったです。	美又・久佐・今福
75	見学中、室内が暑いとの声がありました。空調も整った施設が必要と思います。	美又・久佐・今福
76	資料館を建替えるのは、反対である。未だ大きなお金を使用するのはやめてほしいと考えています。他方面に使用する事がたくさんあると思っています。	美又・久佐・今福
77	新しい建物を作るのではなく、図書館を利用するとか、現在使用していない建物等の再利用も検討すべきではないか。	美又・久佐・今福
78	浜田の事が良く理解できた。	美又・久佐・今福
79	重要な資料を保存することは、大切だと思います。	美又・久佐・今福
80	今日の説明、とてもわかり易く、楽しかったです。ありがとうございました。	美又・久佐・今福
81	本日見学して説明を聞き、学ぶこと大でした。館内を前にして一番気付いた点は、とにかく手狭であること。早期整備見直しの検討をお願いします。	美又・久佐・今福

番号	見学会を通しての感想、意見	募集地域
82	建物を新築した場合、入館料を維持費として徴収した方がよいと思います。展示の基本は、今のままでも十分よいと思います。説明があると、とてもわかりやすいです。	20日午前 現地集合
83	郷土資料館を是非作って、お手本を示して下さい。浜田に比べ益田市はあまりにも歴史を粗末に扱っていることを痛感。	20日午前 現地集合
84	収蔵館も見せて頂き、かんげきです。年に3回ぐらい入替わっての展示も大変に楽しみにしています。温古知新です。	20日午前 現地集合
85	資料館は市内に置くべき。100円バスがあっても、遠く便利が悪い。	20日午前 現地集合
86	平成12年の構想から時間が経ちすぎています。早く立派な歴史資料館を作ってください。	20日午後 現地集合
87	建物が老朽化しており、文化財を展示するには無理があるように思う。数の多さにびっくりしました。夥しい全ての文化財を展示して、浜田のPRと、もっと浜田を知ると共に、今後活かしてほしいと思いました。	雲城
88	広い場所へ移転すべきと思う。	雲城
89	今回入館して説明を受けて、良く解りました。有りがとうございました。	雲城
90	来て見ればよくわかる。見学者を増やすことを考える必要がある。見学者の募集。センターとしてやられて来たが 関心を持つ人が少ないことをつくづく感じた。根本的な市民教育が大切。	雲城
91	見学を通して、資料館の整備が必要であると感じた。収蔵庫もあまりにも狭すぎていると思う。せめて、収蔵庫だけでも廃校（小学校統合の結果）を利用されたらどうかと思います。	雲城
92	基本的には改正博物館法（4.19、6/27）に即したもので、事業、職員体制の推進。検討委員会には専門教育を受けた者で構成。行政サイド（教育委員会）はその案を重視し、市の現状を踏まえて将来的方向性を示す。既存の文化団体や従事者はギャラリーとして見守る。若年層の参加を促す（小、中、高の課外授業で一般の研究者と交えての場作り）	雲城
93	早急に施設を建てた方がよいと思う。	小国・波佐
94	新しい資料館が必要です。	小国・波佐
95	場所が悪い。プレハブの資料館なんて見たことがない。早急に建設すべきです。	小国・波佐
96	暑くて話が耳に入らない部分あり。	小国・波佐
97	浜田歴史を見学させて頂き勉強になりました。	小国・波佐
98	もっと早く今回のような企画があれば、よかったですと思いました。	小国・波佐
99	建物を建てると難しい点が沢山出て来るので、5箇所（分散型）に分けて展示して頂ければ、見学に行く事が出来ると感じた。、	小国・波佐
100	石見のすばらしい宝物、皆様に見て頂けるよう建物を作ってほしいです。	小国・波佐

番号	見学会を通しての感想、意見	募集地域
101	たくさん資料があるので、見ることができる様、機会があると良いと思った。	小国・波佐
102	新しい建物が必要と言う事が、良くわかりました。	小国・波佐
103	貴重な資料がたくさんあるので、多くの市民に見てもらって、浜田に誇りを持ってもらいたい。	28日午前 現地集合
104	人口が減少する中、新しく資料館を建設するなら、他の歴史関係の資料展示施設を、減らすべきと思う。	28日午前 現地集合

行政視察報告

令和5年7月4日（火）～7月5日（水）

総務文教委員会

視察日時・視察先

■日時 令和5年7月4日(火) 15:30~18:00

■視察先 京都市立洛友中学校(京都府京都市)

■日時 令和5年7月5日(水) 10:00~11:30

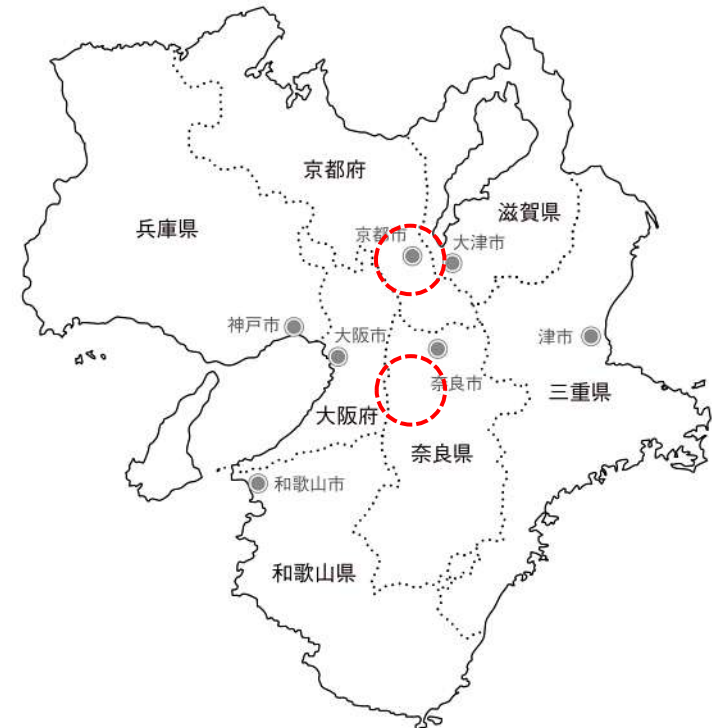
■視察先 上牧町役場、フリースクール「Smile Farm かんまき」
(奈良県北葛城郡上牧町)

参加者

職名	氏名
総務文教委員会 委員長	永見 利久
総務文教委員会 副委員長	三浦 大紀
総務文教委員会 委員	肥後 孝俊
総務文教委員会 委員	大谷 学
総務文教委員会 委員	芦谷 英夫
総務文教委員会 委員	佐々木 豊治
総務文教委員会 委員	西田 清久

1、視察目的

浜田市における課題の解決の参考とするため、京都府及び奈良県内の自治体で実施される特徴的な事業及び施設（不登校特例校、公営フリースクール）について調査し、今後の取組に生かす。



2、視察先一覧

(1) 京都市立洛友中学校

@京都府京都市下京区

【選定理由】

公立の不登校児童生徒特例校14校の中で、夜間部を設置する中学校。開校に至った経緯、教育環境や内容、昼間部・夜間部の世代や国籍を超えて学び合う教育環境が参考になると考えたため。



(2) Smile Farm かんまき

@奈良県北葛城郡上牧町

【選定理由】

不登校児童生徒に寄り添う安心な居場所として、令和4年9月にフリースクールを開設した行政の体制や施設などを参考とするため。



3、視察報告

(1) 京都市立洛友中学校

【視察先の概要】

- 二部学級（夜間部）と不登校特例校（昼間部）を併設する中学校として開校。
- 特例校は独自に教育課程を編成可能。洛友中は常勤教員10名。昼間部と夜間部を分担し担当。
- 不登校児童生徒を受け入れる「不登校特例校」は、2023年4月で全国24校。国は全都道府県への設置を目指している。
- 教育機会確保法（H29年施行）に基づく国の基本方針では、不登校児童生徒を対象とする特別の教育課程を編成して教育をする学校（特例校）の設置を促進することが示されている。

【ポイント】

- 昼間部と夜間部の良さを生かし、世代や国籍を超えてふれあい学び合う取り組み・工夫がされている。
- 担任制度は学年をまたぐ。
- 各種行事や合同授業・交流学习をはじめ、積極的な地域との交流活動が行われている。
- 生徒によって事情が異なるため、相性を考えて相談しながら担任を決めている。
- 学校に出席しない児童生徒に対し学びを継続して提供できるかが課題。一人に1台パソコンを提供しているので、ポケットWi-Fiの貸し出しも行い授業の様子を配信。
- フリースクールと連携し家庭訪問も行う。



* 音楽の授業の様子



* 校内に設置された進路情報コーナー

3、視察報告

(1) Smile Farm かんまき

【視察先の概要】

- 学校復帰や社会的自立支援を目的に令和4年9月に町が設立。
- 令和5年度予算は700万円。大半が人件費。
- 遊休状態であった旧JA出張所として使われていた建物を改修。
- 町内の不登校児童生徒は約30人。当該施設には小学生2人、中学生5人の計7人が在籍。残る児童生徒についても支援の必要性を認識。
- 原則利用料なし。
- 小学校低学年生の基礎学力や規範意識向上のため、毎週水曜日開校の「まきっ子塾」をH28年度から実施、60人が学ぶ。元教員、大学生など60人のスタッフで運営。
- 令和5年3月、学校の安全な教育環境認証制度として、奈良県で初めて上牧町立の小中学校2校がSPS（セーフティプロモーションスクール）に認証された。

【ポイント】

- まちづくりのNPO法人が運営（官民連携）。教員免許や認定心理士の資格を持つスタッフを置き運営。
- 決まったプログラムはなく利用者の希望に沿うようサポート。
- 地域力（場所や建物）、財力（財源）、人間力（専門知識やスタッフの力）の3つの力が設置・運営に必要と教育長。
- 保護者の「子どもの活躍への期待や将来への思い」をどう受け止め応えるかも大事。



* Smile Farm かんまきの外観（パンフレットより）



* 当該施設の内観（アイランドキッチンの設置）

4、考察

～ 全体を通じて ～

- 今回視察した2つの施設について、それぞれが立地する自治体の規模を含めた状況は浜田市と同じではないが、施設に通う児童・生徒の様子からも「居場所」の必要性は十分に理解できるものであった。
- 施設の事業状況を通じて感じた「個々を尊重するサポート」、「互いを知り、認め合う環境」、「社会との接点づくりとしての居場所」といった視点の有無が、居場所の居心地に大きく関わることはもちろんのこと、多様で適切な学習活動の提供においても重要だと考えられる。

4、考察

～ 全体を通じて ～

- 各地で様々な形で運営されているフリースクールなど、今回の視察先を含めた他の施設を参考にしながら、浜田市における「山びこ学級」や「青少年サポートセンター」の位置付けや機能、活動内容を改めて評価するとともに、立地や体制、官民連携の可能性などの項目について検討し、当該施設の機能の維持・充実や別事業の新設の必要性など、あるべき像を今後議論することとした。
- 増加傾向にある浜田市の不登校児童生徒へのサポート環境の充実に向けて、引き続き活動していく。

(了)

総務文教委員会

行政視察レポート

令和5年7月25日(火)～7月26日(水)

福祉環境委員会

1.視察先、調査項目及び派遣委員

(1) 愛知県豊田市

ア 重層的支援体制について

(2) 神奈川県座間市

ア 断らない相談支援体制について

(3) 派遣委員

委員長 小川稔宏

副委員長 村木勝也

委員 柳楽真智子、岡本正友、川神裕司

事務局職員 久保田 翼

2.視察目的

現在、当委員会が取り組んでいる「就労支援を含めた障がい者支援について」を具現化するために、先進地である豊田市及び座間市が取り組まれている民間活力を導入した社会参加から就労自立までの一体的な支援の取組について調査する。

3-1.調査事項／豊田市

(1) 視察の選定理由

令和3年度より豊田市重層的(多角的)支援体制推進(整備)事業の実施から一連の流れ(事業)による支援と様々な支援機関が協力し合う連携体制の下の支援を研究し、提言に繋げるため。

(2) 視察先の概要

面積： 918.32km²

人口：416,765人

世帯数：186,195世帯 (R5年5月末)

3-2.調査事項／豊田市

(3) ◆重層的支援体制推進事業における「包括的相談支援事業」 基本事項

- 属性や世代を問わず包括的に相談を受け止める
- 支援機関のネットワークで対応する
- 複雑化・複合化した課題について適切に多機関協働事業につなぐ

対応方針【既存】

- 相談を担う事業について、これまで同様に、主たる支援対象者以外からの相談であっても、しっかりと受け止め、適切に支援機関につなぐ
- 適切に支援機関につなぐため自身の属する分野以外の支援について
広く学ぶ機会を創出する⇒「この相談内容はうちじゃない」の対応は
厳禁

3-3.調査事項／豊田市

(4) ◆重層的支援体制推進事業における「アウトリーチ等を通じた継続的支援事業」

基本事項

○早期に発見するため、関係機関からのネットワークから相談者を発見

○支援を届けるため自宅訪問などの支援を行う(本人との関係づくり)

支援会議 情報収集と情報提供、同意が得られた場合重層的支援会議

対応方針【一部新規】

○情報が入った場合、支援機関は情報収集及びアセスメント(客観的に評価や分析)を実施し、対象者を訪問するなど受け身でなくアウトリーチ(出向く訪問支援)による積極的行動をとる

○対象別で主体となるアウトリーチ機能を持つ機関を確保

⇒「本人が相談に来ないとムリ」は厳禁になった。

3-4.調査事項／豊田市

(5) ◆重層的支援体制推進事業における「地域づくり事業」

基本事項

- 多様な「場」づくり
- 繋げるコーディネート機能
- 5事業のすべてが実施されることを規定

対応方針【一部新規】

- 既存事業は継続。
- 社協CSWを主導に、各事業実施者の困りごと解消や事業改善を図り各事業の一体化を目指す
- 参加支援事業で結びつける地域資源の一つとなる地域力の育成を意識する
⇒「対象を限定する」地域づくりから「全世代化」の地域づくりに趣向する。

3-5.調査事項／豊田市

(6)とよた多世代参加支援プロジェクト→本人にあった支援の創出・提供
重層事業実施のポイント

特徴・参加支援事業

- 包括的相談支援事業：高齢福祉課、地域包括支援センター等担当課
- 多機関協働事業：生活福祉課、次世代育成課、子育て支援センター
- 参加支援事業：とよた多世代参加支援プロジェクト(民間ベースの任意団体)
- 地域づくり事業：地域保健課、福祉総合相談課、社会福祉協議会

* 市内10課にまたがるため様々な支援機関を巻き込んで体制化する必要性
* 施策で対応できない支援策を参加支援で形成するため民間も含めた支援体制が必須

3-6.調査事項／豊田市

◆とよた多世代参加支援プロジェクト

□とよた多世代参加支援プロジェクトの『ミッション』

ミッション1—利用できない困難を抱えた住民の個別支援について市からの支援依頼を受けて、居場所や生活改善の場を創出・提供

ミッション2—事業の根幹の地域共生社会の推進を民間事業所への理解促進

□団体構成(令和5年4月現在) 66法人及び事業所

【内訳】 高齢者関係9事業所、障がい者関係19事業所、子ども関係5事業所
社協13事業所、その他20事業所

4-1.委員会考察／豊田市

豊田市では重層的支援体制推進事業において「『誰かが担う』のではなく、『誰もが担う』発想」への早期のシフトチェンジの必要性が強調されている。持続可能なまちづくりの推進に向けては「すべての人に健康と福祉を（SDGsの17のゴールの一つ）」も達成しないと持続可能なまちづくりの推進にはならないという明確な目標を設定し、福祉制度の強化が図られている。

4-2.委員会考察／豊田市

地域づくりは福祉の課題といわれ、まちづくりとつなぐための取組として民間主導の「とよた多世代参加支援プロジェクト」設立により、行政と民間との連携が具体化されている。支援の「伸びしろ」とも言われているが、支援策、制度等がないものは、どうにかして作るという考え方は重要である。新たなサービスの創出・提供において地域の資源、民間事業所のノウハウの活用という観点からも大変参考となった。

5-1.調査事項／座間市

(1) 視察の選定理由

- ・「断らない相談支援」の取組
- ・市民が安心して相談できる体制
- ・市としてもあらゆる相談をどのように対応されているのかのノウハウ

(2) 視察先の概要

面積：17.57km²

人口：132,143人

世帯数：61,949世帯（R5年6月末）

5-2.調査事項／座間市

(3)断らない相談支援

- ・相談へのハードルを下げる
 - ・最新の困りごとへの気づき
 - ・地域資源の開拓と連携(地域づくり)
 - ・支援の事業化
 - ・支援員の負担軽減
 - 第2のセーフティネット
 - 第1 社会保障(健康保険、年金など)
 - 第2 生活困窮自立支援制度
 - 第3 生活保護制度
- ガードレールではない(伴走型の支援)

5-3.調査事項／座間市

(4) 自立相談支援事業の全体像

生活の困りごと

◆自立サポート相談

ひきこもり、仕事の困りごと

◆就労支援事業(無料職業紹介事業も実施。)

◆就労準備支援事業(委託)

◆ひきこもりサポート事業(委託)

◆アウトリーチ支援事業(委託)

5-4.調査事項／座間市

(5)座間市の支援事業

お金の困りごと

◆家計改善支援事業(委託)

住まいの困りごと

◆一時生活支援事業(委託)

子どもの困りごと

◆子どもの学習・生活支援事業(委託)

その他の事業

◆助言弁護士(専任)

5-5.調査事項／座間市

(6) 支援の考え方

相談者の抱える困りごとは、複合的で複雑な場合があり、一つの事業だけで解決はできない。また、困りごとを的確に把握できる方は、ほとんどいない。

各事業が連携し、抱えている困りごとや解決方法に気付くことが重要と考えている。

5-6.調査事項／座間市

(7) 庁内連携

包括的支援体制構築ワーキンググループ

「生活に困りごと」の支援を通じた庁内連携体制の構築を検討している。

庁内ルールや連絡体制など、包括的な支援体制の仕組みを整備している。

平成29年度に行政改革推進委員会の専門部会として発足し、令和2年度にワーキンググループへ移行した。

5-7.調査事項／座間市

◆つなぐシート

平成30年度に施行し、令和2年度から本格実施した仕組み。複数部署がかかわる困りごとを支援する場合に使用し、たらい回しの回避や相談負担の軽減、職員力の向上を目的としている。

◆相談チャート

令和2年度に作成した、市民の困りごとへ気付くための図。各部署及び新規採用職員へ配布している。

◆職員研修

庁内連携の重要性や考え方について、集合型や庁内ネットワーク、新規採用職員向けなど、令和元年度からさまざまな方法で研修を実施している。

◆包括的支援体制構築ワーキンググループ[再掲]

「生活困窮者支援」を福祉だけでの問題ではなく、**市役所へ来る方は、困りごとを抱えている可能性があると考え**、市役所全体で、市民の困りごとに「きづき」、適切な支援へ「つなぐ」ための仕組みを検討している。

5-8.調査事項／座間市

(8)庁外連携 居住支援協議会

◆居住支援協議会

高齢や障がい、低所得など、さまざまな理由で住まい探しにお困りの方の支援を検討する会議。

入居の支援や物件の安全確保、物件情報の提供などを話し合う。

行政、不動産事業者、関係団体などが同じ目線で話せる組織を目指している。

6-1.委員会考察／座間市

- ・座間市では、「誰も断らない」フレーズを掲げ庁内外において連携し、事業構築を行っている。
- ・座間市では、支援に必要なサービスを当てはめるのではなく、困りごとを聞いて必要な支援を作り上げる、その考え方が「断らない」ことへのベースと考える。
- ・そのためにも、相談を解決することだけが仕事ではなく、市役所に相談に来ていただく環境づくり、市役所に来られる方は、何らかの困りごとを抱えておられる想定で、職員が来庁者を意識するポイントや、相談に来られた方の負担を軽減するために「つなぐシート」で共有する仕組みは、参考となった。

6-2.委員会考察／座間市

- ・特に命に係わる相談については、話しづらい中、独自の「相談チャート」等を活用して市民の困りごとに気づき、話を聞く体制作りは、今後の提言等に活かしたい。（「困りごと」と「要望」は違う。）
- ・無料職業紹介事業の実施については、当委員会の就労支援に直接つながるものとして参考になった。
- ・「中間支援組織」が浜田市には、まだなじみがなく、今後、浜田市において、中間支援組織を考えるとときにおいて、座間市の仕組みは、参考にすべきと考える。
- ・豊田市との共通部分でもあるが、福祉の課題は、地域の課題であり、その解決のためには、民間組織や中間支援組織との合同会議の開催やその会議を進行するファシリテートやどの組織・団体とつながる(つなげる)かのコーディネート力が必要であると感じた。

議会改革に関する検討結果

第3回報告書

令和5年8月

議会改革推進特別委員会

令和 5 年 8 月 10 日

浜田市議会議長 笹田 卓 様

議会改革推進特別委員会
委員長 牛 尾 昭

議会改革に関する検討結果について（第 3 回報告）

当委員会で定めました議会改革の検討項目のうち、検討が終了した事項について下記のとおり結果を報告します。

今後、検討結果に伴う事務処理をはじめ、必要に応じて全議員への周知または関係委員会への通知等、適切な対応をお願いいたします。

【検討項目】議員選出監査委員の廃止について

平成 29 年の地方自治法の改正により、議員のうちから選出する監査委員の選任の義務付けが緩和され、議員選出監査委員（以下「議選監査委員」という。）の選任については、各自治体の判断により選択できることとなった。現在、約 30 の自治体が議選監査委員を廃止しており、本市議会において引き続き、議選監査委員を選任するかどうかについて検討し、下記のとおり結論を得た。

記

1. 議選監査委員の選任について

識見の監査委員は市の財務管理や事業の経営管理に視点を置いた監査である一方、議選監査委員は、議員として、予算をはじめとする各種議案審議等を経て、市の事業や政策を十分把握した上で監査を行うことができる。また、住民代表としての視点から監査に臨むことができる。このため、それぞれの視点や知見の違いを生かしたより厳正かつ的確な監査を行うことが可能であることから、引き続き議選監査委員の選任は必要である。

2. 議会と議選監査をつなぐ仕組みについて

監査業務について、議選監査委員から議会へ守秘義務を遵守した上で、情報共有を図ることにより、議会がその情報を活用し、監視機能の充実強化につなげるため、以下のとおり実施することとする。

- ① 9 月定例会議の初日に開催される全員協議会において、監査委員が作成する決算審査意見書や健全化判断比率及び資金不足比率審査意見書について、議選監査委員から内容説明を受け、議員から質疑等を行い、理解を深めることにより、決算審査等の充実を図る。

- ② 必要に応じて全員協議会等において、定期監査、行政監査、財政援助団体等監査の結果について議選監査委員から報告を受けるとともに、議員と意見交換会を実施し、議会の監視機能の充実を図る。
- ③ 監査委員から議会へ報告することが義務化されている各種監査報告書については、タブレットに配信し、全議員が内容を確認できるようにする。なお、毎月報告のある例月出納検査報告書は、タブレットに配信せず、必要に応じて、議会事務局保管の書類を閲覧する方法とする。

3. 議選監査委員の選出方法・任期について

議選監査委員の選出については、公正で合理的かつ効率的な行政運営の確保を主眼とした監査を行えるよう、人格が高潔で豊富な経験と知見が監査業務へ十分に発揮できる議員を選出すること。また、議選監査委員の任期については、監査委員の専門性と経験の確保の観点からも、地方自治法に定めのある議員任期と同様の4年であることを再確認した。



浜田市議会主催の地域井戸端会にご参加いただき、ありがとうございました。

会場を分散した結果、延べ 200 人(前回比 159%)の市民の皆さまの意見を伺うことができました。

事前にお知らせしていたとおり、浜田まちづくりセンターでいただいたご意見に対し、議会としての対応を以下のとおりお知らせします。

【テーマ別にいただいた意見への各委員会の所感】

○子どもたちと地域の関わりについて（総務文教委員会）

たくさんのご意見、ありがとうございました。大変参考になりました。

子どもを皆で育てていこうという認識をお持ちの方々(地域)が多かったように感じました。私たちも同様で、子どもたちに地域に関わる(関われる)まちを目指したいと考えています。まちづくりセンター等が主導となって子どもを意識した活動を積極的に企画されているところでは、子どもを通じて保護者とも接点生まれ、地域内コミュニケーションの充実が図られている様子がうかがえました。暮らしの安全確保、地域教育、歴史文化継承など、学校や家庭だけでは担えない地域の役割も改めて認識したところです。

一方で、少子化による子ども会活動の縮小や廃止を余儀なくされた地域も多く、地域の存続に対する危機感を共有しました。また、子どもたちの遊び場としての公園整備、部活動の選択肢確保や送迎負担の軽減といった要望も伺っています。

学校・家庭・地域が互いに補完し合う良好な関係構築が図られ、「協働」が形成されるよう、当委員会も引き続き調査研究するとともに、政策提言につなげてまいります。ご協力ありがとうございました。

○健康について（福祉環境委員会）

福祉環境委員会では健康をテーマに意見交換をさせていただく中で、身体だけでなく心も含めた健康について様々な角度から多くのご意見を頂きありがとうございました。地域で運営されてきたサロン活動が地域コーディネーターの削減により運営継続が難しくなっているのご意見は多くの地域から出されており、サービスが後退することのないようチェックしていきたいと思えます。サロン等の活動への参加や通院、買い物等、日常生活における移動手段の確保は中山間地のみならず市内中心部でも深刻化しています。人口減少と少子高齢化で組織団体の維持が困難になっており、行政と関係機関(社会福祉協議会等)、地域自治組織やグループ・団体との連携を大切に制度設計が課題となっています。市では令和6年度からの地域公共交通計画の策定に向けて、公共交通施策の検証と見直し作業が行われており、ご要望が計画に反映できるよう努めてまいります。浜田医療センターの放射線治療装置(リニアック)の更新のための治療中止に伴い、遠方の病院への通院を余儀なくされている現状も伺いました。これらの課題は一般質問や福祉環境委員会でも議論してきておりますが、改善に向けて引き続き研究し取り組んでまいります。今後とも福祉環境委員会の活動にご理解、ご協力をお願いいたします。

○農業・林業・漁業の問題点と希望について（産業建設委員会）

今回の地域井戸端会において、産業建設委員会では3つのテーマを基に要望や問題点についてお伺いすることができました。

いただいたご意見や問題点について、現地でお答えできることについてはお話しさせていただきましたが、十分な対応ができなかったのが現状で、不足していた点につきましては次ページ以降の内容でお答えさせていただきます。残る課題については当委員会で協議を行い、委員会代表質問や個人一般質問の機会を活用して働きかけなど、今後も市民の皆様の負託にお応えできる産業建設委員会活動を行ってまいります。

【自由意見などへの回答（浜田まちづくりセンター）】

Q. コロナワクチンの問題。

ワクチンを打って被害副反応が出て 40 日間入院した。ワクチンを打って生活が変わった。ワクチンを打って亡くなった人がたくさんいる。ワクチンを打って流産が増えている。ワクチンを打って精子が少なくなったりで少子化につながっている。このことは大変なことである。取り上げてもらいたい。

泉大津市の市長のように浜田市においてもワクチンに反対してほしい。皆さんでこの DVD を見てほしい。

A. コロナワクチン接種を疑問視するご意見については、一地方議会が是非や検証を含め判断できる問題ではありませんので、一つのご意見として市とも情報共有させていただきます。

※他の会場への回答は市議会ホームページに掲載しています ⇒



【お問合せ先】 浜田市議会事務局 0855-25-9800

【自由意見などへの回答（国府まちづくりセンター）】

Q. 公共施設再配置実施計画の問題点を指摘

- ①中期財政計画の数字は甘すぎる。計画時より様々な要因が大きく変化しており、短期で見直し、修正を行うべき。
- ②ハコモノ取得・建設は利用者想定数を調査している場合とそうでない場合があるが何故なのか。本来ハコモノは必要ないのでは。

A. ご指摘の通りです。陳情もいただき採択しました。改善が図られるよう引き続き働きかけます。

Q. 登下校の見守りを継続してほしい。

A. 登下校の見守りは大変重要だと考えます。地域住民が連携して子どもを見守る活動が継続されるよう関係機関に働きかけを行います。

Q. 健康に関するまちづくりセンター事業への補助が必要。

A. まちづくり推進委員会と連携して実施に向けて検討します。

Q. サロン活動を実践する場所を提供してほしい。百歳体操を普及して健康づくりを推進してほしい。

A. 担当課や関係機関に対して検討していただくよう進言します。

Q. 養殖について、大手企業を誘致するだけでなく、閉鎖循環式の養殖を考え、中山間地域でも養殖に挑戦できる助成が必要。

A. 産業建設委員会の課題でもあり、ご意見も参考に今後も調査してまいります。

※他の会場への回答は市議会ホームページに掲載しています ⇒



【お問合せ先】 浜田市議会事務局 0855-25-9800

【自由意見などへの回答（美川まちづくりセンター）】

Q. 第三中学校へ通う子ども達の送迎に困っている。当初は夫婦で送迎できていたが、勤務時間に変化があり送迎が難しくなったので、スクールバスを前倒しして運行してほしい。

A. 6月定例会議の中で、一般会計補正予算(第3号)「中学生の通学手段確保を行う地区まちづくり推進委員会に対する支援に係る事業費」として組み込まれ可決しました。8月から来年3月までの運行予定です。

Q. 農業耕作放棄地の管理対策について。

A. 令和7年度までに法定化された「地域計画」を策定すれば、この問題はある程度解決に向かう予定です。今後の策定状況を見守ってまいります。

※他の会場への回答は市議会ホームページに掲載しています ⇒



【お問合せ先】 浜田市議会事務局 0855-25-9800

【自由意見などへの回答（長浜まちづくりセンター）】

Q. 公共施設の延床面積の増加に対する問題意識を。また、財産の位置付けが不明確。総量で管理すべき。

A. ご指摘の通りです。陳情もいただき採択しました。改善が図られるよう引き続き働きかけます。

Q. 地域活動を支援する制度を充実させてほしい。

A. 様々な活動が充実されるよう、行政支援のあり方を当委員会でも検討します。また、地域での活動を検討される際には、まちづくり委員会とも十分に協議をされてみてください。

※他の会場への回答は市議会ホームページに掲載しています ⇒



【お問合せ先】 浜田市議会事務局 0855-25-9800

【自由意見などへの回答（周布まちづくりセンター）】

Q. 孤独死について、地域の問題として捉える必要性がある。独居について若者と考える機会を持つ必要がある。

A. 地域防災推進の中で、声かけ運動から安否の確認をするなどの取組を伺います。地域ができる手法で推進していただきたいと考えます。

Q. 健康寿命について、県下8市及び他市との比較を広報でされたい。

A. 担当課に対して他市との比較を広報するよう検討を依頼します。

Q. 遊休農地、除草残渣処置の検討を。

A. 遊休農地の状況把握を早急に行い、その対応策を検討するよう働きかけてまいります。

Q. 草刈り後の処置について、野焼きができない場合の処置は。

A. 野焼きの基準を再度周知するとともに、野焼き条件に合致しない場合の処置対策は必要と思います。処置対策を検討するよう働きかけてまいります。

※他の会場への回答は市議会ホームページに掲載しています ⇒



【お問合せ先】 浜田市議会事務局 0855-25-9800

【自由意見などへの回答（石見まちづくりセンター）】

Q. バスの便が悪い。デマンド交通など高齢者の足の確保を。敬老タクシー券の増額を要望したい。

A. 現在、石見交通路線バス有福線の廃止問題が議論されていますが、これまでに民間路線バスが廃止された地域や公共交通空白地域の対策については浜田市公共交通再編計画を基に市が運営する生活路線バスの運行や、予約型乗合タクシー、自治会輸送活動への支援、あいのりタクシー運行補助等と併せ、敬老福祉乗車券交付事業等により、市民の移動手段と利便性の確保を図っています。これらの地域公共交通施策の総合的見直しを令和5年度に行い、令和6年度から法定計画となる浜田市「地域公共交通計画」を策定することになっています。皆様から頂いたご意見を計画に反映できるよう努めるとともに、実施にあたっては利便性と安全性を確保し一層の充実に向けて取り組みます。

Q. 高速バスの送迎車両の停車可能場所が少ない。タクシー待機場所を減らしては。

A. 以前よりも待機タクシーが少ないように感じるので、検討を働きかけてまいります。

Q. 浜田市が目指すもうかる農業とは。

A. 振興作物となっている有機野菜への取組を、栽培面積・販路・収益性を含め検討がなされるよう働きかけてまいります。

Q. 営農の基礎データを公開し活用環境を整えるべき。

A. 必要なデータの公開を進めるよう働きかけてまいります。

※他の会場への回答は市議会ホームページに掲載しています ⇒



【お問合せ先】 浜田市議会事務局 0855-25-9800

【自由意見などへの回答（大麻まちづくりセンター）】

Q. 確定申告窓口が大麻支所であったが、今はなくどうなったのか。

A. 申告窓口は e-tax 推進や職員体制の関係から減らす方向になっており、大麻支所での窓口については地元協議を経て令和2年1月から周布会場と統合し廃止となっていますのでご理解をお願いします。

Q. なぜ社協が生活支援事業（コーディネーター）を受けなかったのか？地域には必要である。

A. 昨年度まで浜田市社会福祉協議会へ委託していましたが、令和5年度は生活支援体制整備事業を社協と市の考えが違い受託されませんでした。その結果市の運営となり、生活支援コーディネーターの動きも今までとは異なってきています。今後地域に役立つ事業になるようチェックしていきます。

※他の会場への回答は市議会ホームページに掲載しています ⇒



【お問合せ先】 浜田市議会事務局 0855-25-9800

【自由意見などへの回答（二反田団地集会所）】

Q. 産業全般における人手不足、担い手不足に対する若者対策のうち、地元就職対策は。

A. 浜田市においては市内の高等学校に対し、雇用推進協議会などと連携して地元企業への就職支援が行われています。また、島根県立大学では卒業後県内就職につながるよう県内高校からの入学者の増加を図る「入試制度改革」を実施されたところです。

Q. 産業全般における人手不足、担い手不足に対する若者対策のうち、UI ターン対策は。

A. 都会地に暮らす方を対象とした相談会や仕事体験ツアー、ウェブサイト「働こう@はまだ」による地元企業の魅力発信など、若者の移住・定住につながる支援が行われています。また、県においても県外流出の抑制に力を入れておられます。産業建設委員会では上記の状況を踏まえ、人手不足・担い手不足に対して調査するとともに、機会を捉え委員会代表質問などで積極的に働きかけてまいります。

※他の会場への回答は市議会ホームページに掲載しています ⇒



【お問合せ先】 浜田市議会事務局 0855-25-9800

【自由意見などへの回答（小国まちづくりセンター）】

Q. スポーツも健康の項目である。今の課題は、世話をする人がいない。謝金を出したくても補助金が少ない。百歳体操や 3B 体操は福祉であったりスポーツであったり介護予防であったりコミュニティでもある。ここを大切にすべきではないか。

A. 中山間地における人口減少と少子高齢化による課題の一つと認識しています。

また、地域でのふくっぴーサロン等を担ってきた浜田市社会福祉協議会が令和 5 年度、介護予防・日常生活支援総合事業から撤退し直営にしたことにより、住民サービスが低下しているのご意見が多くありました。この問題は一般質問や福祉環境委員会でも取り上げられ議論しています。現行の資源活用と協力団体との連携によりサービスの質を維持するための工夫も検討されています。改善に向け引き続き協議、研究してまいります。

Q. 介護保険の保険料において、4 階層と 5 階層の対象者に「世帯内に住民税課税者がいる場合」となっており、このことによって負担割合がかなり上がるので制度の見直しを要望したい。

A. 65 歳以上の人の介護保険料は、浜田地区広域行政組合の介護保険サービスにかかる費用などから算出された「基準額」をもとに、皆さんの所得に応じて決まります。この度、このようなお声があったことを市（浜田地区広域行政組合）に伝えます。

Q. 産業全般における人手不足、担い手不足に対する若者対策のうち、地元就職対策は。

A. 浜田市においては市内の高等学校に対し、雇用推進協議会などと連携して地元企業への就職支援が行われています。また、島根県立大学では卒業後県内就職につながるよう県内高校からの入学者の増加を図る「入試制度改革」を実施されたところです。

Q. 産業全般における人手不足、担い手不足に対する若者対策のうち、UI ターン対策は。

A. 都会地に暮らす方を対象とした相談会や仕事体験ツアー、ウェブサイト「働こう@はまだ」による地元企業の魅力発信など、若者の移住・定住につながる支援が行われています。また、県においても県外流出の抑制に力を入れておられます。産業建設委員会では上記の状況を踏まえ、人手不足・担い手不足に対して調査するとともに、機会を捉え委員会代表質問などで積極的に働きかけてまいります。

※他の会場への回答は市議会ホームページに掲載しています ⇒



【お問合せ先】 浜田市議会事務局 0855-25-9800

【自由意見などへの回答（美又まちづくりセンター）】

Q. 子どもが少なく、遊び場も少ない。美又温泉施設の改修・整備が行われるなら、遊具など親子で遊べる場所があれば滞在時間も増えるし良いと思う。

A. 公園等の整備については、市も取り組んでいますが、地域の現状も確認しながら、執行部と協議を行っていきます。

Q. 憩いの場・外出について、あいのりタクシー活用で家から出て他者との関わり増。シルバーカーの補助があれば活用して外出が可能。

A. シルバーカーの補助はケアプランの対象者に対して月額 2,000 円から 2,500 円のリース補助があります。要望があれば一考すべきと考えます。

Q. 認定農業者以外へ手厚い補助を。

A. 機械購入時などに対して高額少額を問わず、認定農業者以外の方への効果的な方策が検討されるよう働きかけてまいります。

Q. 草刈支障木除去への手助けを。

A. 対策としては、ボランティア隊の受入れや防草コンクリートの施工、地域建設業者への委託等もあるので、費用面も含め検討するよう働きかけてまいります。

※他の会場への回答は市議会ホームページに掲載しています ⇒



【お問合せ先】 浜田市議会事務局 0855-25-9800

【自由意見などへの回答（波佐まちづくりセンター）】

Q. 医師確保の予算をもっと増やしてほしい。

A. 市も市議会も大きな問題であると認識しています。引き続き働きかけていきます。

Q. 商店の閉鎖について、地元唯一の食料品店が閉鎖すれば不便となり、買い物難民が増加する。

A. 公共交通の利用をお願いすることになりますが、利便性について調査検討するよう働きかけます。移動販売など市内での取組や全国先進地での取組を関係事業者等へ紹介するなど働きかけてまいります。

Q. お魚市場について、もう少し魅力があり地元の方にも向いた体制が必要では。

A. 産業建設委員会では所管事務として調査しておりますが、今後も必要な体制や方策について対応するよう働きかけてまいります。

Q. 圃場整備をして1枚当たりの面積を大きくすることが必要では。

A. 圃場整備については多くの方から意見が出ており、委員会代表質問等で取り上げてまいります。

※他の会場への回答は市議会ホームページに掲載しています ⇒



【お問合せ先】 浜田市議会事務局 0855-25-9800

【自由意見などへの回答（久佐まちづくりセンター）】

Q. 全国で大きな地震が起きている。浜田地震から 150 年がたち、可能性が高くなってきているのではないか。（100 年周期）浜田市は大きな地震への対応を考えているのか。また、その際食料自給率も低いため心配。

A. 大きな災害時の対応として、避難時 1 万 1 千食の食料など、県と合わせ 1 日分用意されています。個人の持ち出し分も含め 2~3 日は対応できるものとされていますが、引き続き防災意識の向上が図られるよう働きかけます。

Q. 空き家対策を進めてほしい。高知県梶原町の取組事例。

A. 空き家対策を強化するよう働きかけるとともに、先進事例等も研究します。

Q. 久佐の佐々田邸を保護してほしい。門も石垣も他にはない。残してもらいたい。また、久佐の地芝居「松竹座」も支援し守ってほしい。

A. 佐々田邸はまちづくりセンター主催の「抱月ウォーキング」でも紹介されていると伺いました。ご意見を担当課に伝え、要望します。参考までに、他地域では、住民の方々が協議して地域計画書をつくり、地域要望として支所に届け、改善に向かった例もあります。地域の方々と協議もされてみてください。

Q. 敬老乗車券の上限額を引き上げてほしい。

A. いただいたご要望は担当課に伝えさせていただきます。地域での「あいのリタクシー事業」の導入もご検討されてみてください。

Q. 旧久佐小のグラウンド整備

A. 総務文教委員会委員が一般質問でも取り上げさせていただきました。いただいたご意見を担当部局へ伝え、改善が図られるよう働きかけを行いました。

Q. 社協のコーディネーターがおられなくなって活動が停滞している。なぜ、このようなことになったのか。「健康づくりとは・・・」ここをコーディネーターさんはちゃんと考えていた。特に中山間地にはコーディネーターが必要であり、サロンは入口である。福祉・介護予防・医療費削減・コミュニケーション社会参加等少ない費用で大きな効果が得られる。お金がないからやめますではない。

A. 地域でのふくっぴーサロン等を担ってきた浜田市社会福祉協議会が令和 5 年度、介護予防・日常生活支援総合事業から撤退し直営にしたことにより、住民サービスが低下しているとのことのご意見が多くありました。この問題は一般質問や福祉環境委員会でも取り上げられ議論しています。現行の資源活用と協力団体との連携によりサービスの質を維持するための工夫も検討されています。改善に向け引き続き協議、研究してまいります。

Q. 米価の低さ・米離れについて

A. 産業建設委員会内や一般質問等で取り上げてまいります。

※他の会場への回答は市議会ホームページに掲載しています ⇒



【お問合せ先】 浜田市議会事務局 0855-25-9800

【自由意見などへの回答（今福まちづくりセンター）】

Q. バスの便が悪い。デマンド交通など高齢者の足の確保を。

A. 地域の実情に合った交通手段の確保について研究してまいります。

Q. 敬老タクシー券の増額を要望したい。

A. 全体を見ながら適正な支援となるよう調査・研究してまいります。

Q. 活動するほどお金が要る。総合交付金の人口、面積配分を考え直してほしい。

A. 総合交付金のあり方を含め研究してまいります。

Q. 高速バスの送迎車両の停車可能場所が少ない。タクシー待機場所を減らしては。

A. 以前よりも待機タクシーが少ないように感じるので、検討を働きかけてまいります。

Q. 圃場整備をすべきだが、西部は後れている。

A. 圃場整備については多くの方から意見が出ており、委員会代表質問等で取り上げてまいります。

※他の会場への回答は市議会ホームページに掲載しています ⇒



【お問合せ先】 浜田市議会事務局 0855-25-9800

【自由意見などへの回答（雲城まちづくりセンター）】

Q. 市街地にしか不登校児童・生徒が通う施設がないのは不公平ではないか。通うのに不都合がある。例えばまちづくりセンターで支援しても良いのではないか。

A. 現在、不登校児童・生徒への対応について所管事務調査を行っています。その中で、通いの負担を含めた立地等についても検討します。

Q. 福祉を軽視しているように思えるのだが。 地域コーディネーターの削減などでサロン運営が継続できなくなったなどの問題が。

A. 地域でのふくっぴーサロン等を担ってきた浜田市社会福祉協議会が令和5年度は介護予防・日常生活支援総合事業から撤退し直営にしたことにより、住民サービスが低下しているとのことのご意見が多くありました。この問題は一般質問や福祉環境委員会でも取り上げられ議論しています。現行の資源活用と協力団体との連携によりサービスの質を維持するための工夫も検討されています。改善に向け引き続き協議、研究してまいります。

Q. 通院する移動手段 公共交通・乗合タクシー等 についても考えていかないといけない。

A. 地域の実情に合わせた移動手段の確保については、地域課題解決の重要テーマでもあります。令和6年度からの次期、浜田市「地域公共交通計画」の策定に向けてこれまでの取組の検証も現在行われています。皆様から頂いた公共交通に関するご意見を計画に反映できるよう努力するとともに、具体的実施においても通院、買い物など日常生活に不可欠な移動手段として利便性と安全性を確保し、より一層の充実に向けて取り組めます。

※他の会場への回答は市議会ホームページに掲載しています ⇒



【お問合せ先】 浜田市議会事務局 0855-25-9800

【自由意見などへの回答（和田まちづくりセンター）】

Q. 住み慣れた地域に空き家がある。空き家問題をどうにかする必要がある。

A. 空き家対策を強化するよう働きかけます。

Q. コロナがあり、高齢者には影響があったのではないか。

A. ワクチン接種を含め、コロナ関連の行政からの報告は定期的にありますので、その際に質問いたします。

Q. 浜田市は漁業に力を入れているが、中山間地に生活していて林業のことが見えない。山林の樹木を伐採しているが、その後植林をされているのか。

A. 浜田市は面積の約 8 割に及ぶ豊富な森林資源を有しています。引き続き森林環境譲与税を有効活用し、健全な森林環境の整備や地域林業の活性化などが行われるよう調査研究を行い、機会を見て委員会代表質問等で働きかけてまいります。

Q. 農地管理と課税について、高齢化で管理が困難な状況なのに課税の増額が示された。

A. 遊休農地について課税対象となる場合があります。農業委員会へ詳しく丁寧に説明するよう働きかけます。

※他の会場への回答は市議会ホームページに掲載しています ⇒



【お問合せ先】 浜田市議会事務局 0855-25-9800

【自由意見などへの回答（今市まちづくりセンター）】

Q. あいのりタクシーが使いにくい。

A. お互いにお声がけしていただくなど、まちづくり推進委員会において利用方法についてご相談もしてみてください。持続可能な仕組みを引き続き研究します。

Q. 米軍機の騒音軽減をお願いしたい。

A. 委員会としても問題意識を強く持っています。軽減が図られるよう働きかけます。

Q. 地域活動を促進するため ICT 活用に関する補助制度を検討してほしい。

A. 地域の ICT 化は様々な部分で進めていく必要があります。スマホ教室の開催にあたっては、まちづくり総合交付金等の活用も検討してみてください。

Q. 生徒が減り、部活動の実施が難しくなっている。理科教室など文化系の部活動も充実させてほしい。

A. 部活動においては地域移行が検討され始めています。受け皿づくりが急務ですが、指導者に対する報酬や安全の確保など課題は多いです。国や県の動向も注視しながら、部活動の選択肢の提供を含めた環境改善が図られるよう働きかけます。

Q. 資産管理ができない。山、空き家、土地などを国に返したい。

A. 令和 3 年に相続等の土地を手放すための制度の法律「相続等により取得した土地所有権の国庫への帰属に関する法律」が制定されています。相談は資産税課にお問合せいただきたいと思います。

Q. サロンについて、高齢者が高齢者を世話する状況なので、サポーターが必要。また、サロンのメニューにも苦勞をされていて、外部講師を呼ぶための申請手続き等も大変。5 年後、10 年後のサロン活動がどうなるか心配。サロン参加者が少なくなっている。参加者を増やすにはどうしたらいいか。サロン会場に行くための移動手段がない（免許返納等で）。地域のサロン活動の予算。

A. サロン活動を継続するために必要な支援について、担当部局とも連携しながら研究してまいります。

Q. 運動について、コロナで様々な制約もあり、運動不足になっている。運動を促すための適度なおせっかいも大事では。

A. はまだ健康チャレンジの活用を通じて、各種軽スポーツ等への取組が進むよう推進してまいります。

Q. 食について、塩分の摂り過ぎ。若者の食生活に対する意識付けが必要。食改さんとの接点も若い人は少ない。計算された食事を体験することもいいのでは（給食の試食など）。

A. 健康のために食生活の意識付けは大変重要なことだと考えています。浜田市の現状を知っていただくことも必要と考えますので、減塩の取組や現状の周知について担当部局に要望してまいります。

Q. 健康なうちはその価値に気付かない。体の健康だけでなく、心の健康も心配。

A. 心の健康を保つためには、孤立しないことや相談できる場所があることなどが大切です。相談窓口の周知や見守り活動の推進等、調査・研究してまいります。

Q. 集落営農の組織がない（5 年後、10 年後の農林業が不安）。

A. 地域一体化と必要な支援がなされるよう働きかけてまいります。

Q. 産業全般における人手不足、担い手不足に対する若者対策のうち、地元就職対策は。

A. 浜田市においては市内の高等学校に対し、雇用推進協議会などと連携して地元企業への就職支援が行われています。また、島根県立大学では卒業後県内就職につながるよう県内高校からの入学者の増加を図る「入試制度改革」を実施されたところです。

Q. 産業全般における人手不足、担い手不足に対する若者対策のうち、UI ターン対策は。

A. 都会地に暮らす方を対象とした相談会や仕事体験ツアー、ウェブサイト「働こう@はまだ」による地元企業の魅力発信など、若者の移住・定住につながる支援が行われています。また、県においても県外流出の抑制に力を入れておられます。産業建設委員会では上記の状況を踏まえ、人手不足・担い手不足に対して調査するとともに、機会を捉え委員会代表質問などで積極的に働きかけてまいります。

Q. 林業に力を入れてほしい。

A. 浜田市は面積の約 8 割に及ぶ豊富な森林資源を有しています。引き続き森林環境譲与税を有効活用し、健全な森林環境の整備や地域林業の活性化などが行われるよう調査研究を行い、機会を見て委員会代表質問等で働きかけてまいります。

※他の会場への回答は市議会ホームページに掲載しています ⇒



【お問合せ先】 浜田市議会事務局 0855-25-9800

【自由意見などへの回答（木田まちづくりセンター）】

Q. 市が空き家を解体処分する補助制度ができないものか。現行制度以上を求める。

A. ご指摘の課題を委員会の中で共有しました。ご意見を参考に、今後議論していきます。

Q. 市の箱物事業全体について危惧。福屋跡地の 1F 使用目的の分かりにくさ。浜田城資料館、神楽伝承館、瀬戸ヶ島埋立地の現状など。

A. 引き続き分かりやすい説明を求めています。

Q. 議会として消防団員確保に向けて取り組んでほしい。

A. ご指摘の課題は委員会の中でも共有しております。引き続き議論していきます。

Q. 空き家バンクに入居を検討される方向けに、地域活動への参加を条件にするとホームページ上で明示可能か。

A. 地域活動への参加を必須にすることは難しいと考えますが、共助の促進は図られる必要があると考えます。地域活動の継続・活性化の方策については、委員会内でも引き続き議論していきます。

Q. 心の健康が心配。元気になれる要素がない。サロン等に来られない人の移動手段確保も特区を含め検討してほしい。

A. 中山間地の移動手段の確保は全国的な課題でもあり国においても様々な方策が検討されています。タクシーを活用したドア・トゥ・ドアの交通手段も考えられていますが、厳しい経営環境のなかで事業者も保有台数も減少している中、従来からの法規制を見直す動きも出ています。地域特性やニーズに合った移動手段について、地域組織、行政、議会が連携し整備していく必要がありますので、今後もあらゆる場で意見を伺い、特区等モデル事業の可能性についても研究していきたいと思っております。

Q. 医療センターの放射線治療機器が壊れ、当分使えない状態。出雲や県外に通わなければならぬ困っている。高額な修理費がかかるため直る見込みもないと聞くと、なんとかならないものか。

A. 浜田医療センターでは、令和 4 年 12 月末に放射線治療装置（リニアック）の保守期間が終了したため令和 5 年 1 月から治療を休止し、令和 6 年 2 月頃の再開に向け更新準備がされています。治療を必要とする皆様に不便をおかけしていることを市も重く受け止めています。今後は医療センターの医療機器更新計画を県とともに情報共有の場を設け、県と協議してき得る支援を行うこととなっています。

Q. 浜田市は漁業に力を入れているが、中山間地に生活していて林業のことが見えない。山林の樹木を伐採しているが、その後植林をされているのか。

A. 浜田市は面積の約 8 割に及ぶ豊富な森林資源を有しています。引き続き森林環境譲与税を有効活用し、健全な森林環境の整備や地域林業の活性化などが行われるよう調査研究を行い、機会を見て委員会代表質問等で働きかけてまいります。

Q. 農地管理と課税について、高齢化で管理が困難な状況なのに課税の増額が示された。

A. 遊休農地について課税対象となる場合があります。農業委員会へ詳しく丁寧に説明するよう働きかけます。

Q. お魚市場について、もう少し魅力があり地元の方にも向いた体制が必要では。

A. 産業建設委員会では所管事務として調査しておりますが、今後も必要な体制や方策について対応するよう働きかけてまいります。

Q. 米価の低さ・米離れについて

A. 産業建設委員会内や一般質問等で取り上げてまいります。

※他の会場への回答は市議会ホームページに掲載しています ⇒



【お問合せ先】 浜田市議会事務局 0855-25-9800

【自由意見などへの回答（都川まちづくりセンター）】

- Q. まちづくり総合交付金に面積割をつくってもらったが、「寒冷地加算」を追加で検討してもらいたい。
- A. 今後の制度見直しの検討会の中で議論されることとなっています。委員会でもご意見を共有させていただきました。
- Q. あいのりタクシーは利用者が多くなっている。買い物や病院だけでなく、規制を緩めて、娯楽などにも利用できるようにしてもらいたい。ひな人形を見に行くのはだめだった。
- A. まずはまちづくり委員会の中で、なるべく多くの方々が利用できるような効率的な使い方になるよう協議していただけたらと思います。また、必要に応じ増額できるように担当課にも要望します。
- Q. 補助金の「ひもづき」を緩めてもらいたい。市街地と周辺部では環境が違うため、同じ制度でも負担が違う。
- A. 補助金も様々あり、具体的には各所管の部局で検討されますが、市全体の認識として使いやすい制度設計に努めるよう働きかけます。
- Q. 地域で子どもたちの行事や居場所の取組を行っても、移動に距離があるため子どもたちの送迎が必要。その対応をどうするのか。
- A. 子どもさんの移動については責任や保証の問題もあるので、基本的には保護者さんに頼らざるを得ないと思われま。地域でのネットワークなどで取り組めないか研究したいと思います。
- Q. 地域の子どもたちに地域の良さを知ってもらって卒業してもらいたい。伝える機会があれば案内したい。地域では企画力がないので教えてもらいたい。
- A. 旭町各地域においてまちづくりセンターと連携した取組が活発に行われていると伺っています。さらに機会を増やす取組を支所とも連携し取り組んでいただけるよう、支所に要望していきます。
- Q. 学校教育の中のテーマで地域を回ってもらい、ふるさと教育の一環で学校に取り組んでもらいたい。
- A. 教育委員会を通し地域の学校に伝えるよう要望します。
- Q. 近くの病院医院において、十分な駐車場を確保してほしい（市外含む）。
- A. 過去に福祉環境委員会で協議されたことがあり、改めて所管事務調査をして、課題について市と共有いたします。
- Q. インフラの整備が進み、しまね医療情報ネットワーク（愛称：まめネット）が活用できる環境を望む。
- A. 所管事務調査をして、課題について市と共有いたします。
- Q. 産業全般における人手不足、担い手不足に対する若者対策のうち、地元就職対策は。
- A. 浜田市においては市内の高等学校に対し、雇用推進協議会などと連携して地元企業への就職支援が行われています。また、島根県立大学では卒業後県内就職につながるよう県内高校からの入学者の増加を図る「入試制度改革」を実施されたところです。

Q. 産業全般における人手不足、担い手不足に対する若者対策のうち、UI ターン対策は。

A. 都会地に暮らす方を対象とした相談会や仕事体験ツアー、ウェブサイト「働こう@はまだ」による地元企業の魅力発信など、若者の移住・定住につながる支援が行われています。また、県においても県外流出の抑制に力を入れておられます。産業建設委員会では上記の状況を踏まえ、人手不足・担い手不足に対して調査するとともに、機会を捉え委員会代表質問などで積極的に働きかけてまいります。

※他の会場への回答は市議会ホームページに掲載しています ⇒



【お問合せ先】 浜田市議会事務局 0855-25-9800

【自由意見などへの回答（市木まちづくりセンター）】

Q. 健康診断の場所が都川と今市の地域で行われない。

A. 担当課に対して該当する地域と協議をするよう依頼します。

Q. 人口養殖について、隣の北広島市大暮地区のレモンサーモン養殖を参考にしては。

A. 産業建設委員会の課題でもあり、ご意見も参考に今後も調査してまいります。

※他の会場への回答は市議会ホームページに掲載しています ⇒



【お問合せ先】 浜田市議会事務局 0855-25-9800

【自由意見などへの回答（安城まちづくりセンター）】

Q. 不登校児童・生徒数の把握ができていないのではないか。

A. 現在、不登校児童・生徒への対応について所管事務調査を行っています。その中で、対象者数及びその方法について、正確な現状把握を行います。

Q. 部活動の選択肢が少ない。

A. 部活動においては地域移行が検討され始めています。受け皿づくりが急務ですが、指導者に対する報酬や安全の確保など課題は多いです。国や県の動向も注視しながら、部活動の選択肢の提供を含めた環境改善が図られるよう働きかけます。

Q. 学校教育でも神楽に触れる機会提供を

A. 神楽は地域の重要な資産であると考えます。地域文化への理解が深まる教育機会の提供を引き続き求めます。

Q. 島根県東部と西部の福祉に対する温度差が全く違う。

A. 実態把握を含め調査してまいります。

Q. サロン活動も人数が少なくなって、今後どうなるか心配。

A. サロン活動を継続するために必要な支援について、担当部局とも連携しながら研究してまいります。

Q. サロンに参加しない人への支援が必要。

A. 集いの場に参加されない方への支援について、官民協働の取組が必要と考えますので、調査・研究してまいります。

Q. 産業全般における人手不足、担い手不足に対する若者対策のうち、地元就職対策は。

A. 浜田市においては市内の高等学校に対し、雇用推進協議会などと連携して地元企業への就職支援が行われています。また、島根県立大学では卒業後県内就職につながるよう県内高校からの入学者の増加を図る「入試制度改革」を実施されたところです。

Q. 産業全般における人手不足、担い手不足に対する若者対策のうち、UI ターン対策は。

A. 都会地に暮らす方を対象とした相談会や仕事体験ツアー、ウェブサイト「働こう@はまだ」による地元企業の魅力発信など、若者の移住・定住につながる支援が行われています。また、県においても県外流出の抑制に力を入れておられます。産業建設委員会では上記の状況を踏まえ、人手不足・担い手不足に対して調査するとともに、機会を捉え委員会代表質問などで積極的に働きかけてまいります。

Q. 米価の低さ・米離れについて

A. 産業建設委員会内や一般質問等で取り上げてまいります。

※他の会場への回答は市議会ホームページに掲載しています ⇒



【お問合せ先】 浜田市議会事務局 0855-25-9800

【自由意見などへの回答（黒沢まちづくりセンター）】

Q. 肥料をプラスチックでコーティングしたものが使用されているので、それが川から海に流れて汚染している。家庭からのマイクロプラスチックも環境汚染につながっている。

A. 環境汚染との因果関係について把握できていませんが、可能性は否定できないことから所管事務調査等で研究を進めてまいります。

Q. 敬老乗車券について、黒沢地区は三隅や浜田市の中心地に出るのに大変距離がある。15冊では到底足りない。

A. 敬老福祉乗車券は来年度は見直しをするので、検討をしている段階です。市としては、あいのリタクシ-を充実させていく考えですが、今後住民の方のご意見を伺いながら計画をつくっていきます。

Q. 様々な制度が本庁に集中。申請や問合せが支所で短時間に完結しないことが多い。本庁に行くことは交通費もかかり大変。

A. 地域の方々にご不便をかけないように、今後の課題として検討してまいります。

Q. 認知予防対策が進んでいないと感じる。

もっと地域に丁寧な支援活動をしてほしい。保健師などにももっと地域を理解してほしい。こまめに実情を見てほしい。

A. 認知症予防は進んでいないと感じていますので、引き続きしっかりと支援ができるよう担当課とも話をしてまいります。地域の実情を把握できるように支所にも話をしていきます。

Q. 矢原川ダムの早期建設を強く希望してほしい。

A. 要望については産業建設委員会で検討してまいります。

※他の会場への回答は市議会ホームページに掲載しています ⇒



【お問合せ先】 浜田市議会事務局 0855-25-9800

【自由意見などへの回答（三隅まちづくりセンター）】

Q. ハコモノの取得・建設問題（郷土資料館、4号荷さばき所、まちなか交流プラザ、三桜酒造跡地など）

A. 4号荷さばき所・まちなか交流プラザの建設は完了しています。有効活用されよう期待するとともに、活用状況をチェックしていきます。また、郷土資料館・三桜酒造跡地取得については、市民の皆様の声をお聞きしながら、執行部と協議を行ってまいります。

Q. 子どもたちの居場所づくり（公園整備）。

A. 公園整備については、市も取り組んでいますが、地域の現状も確認しながら、執行部と協議を行っていきます。

Q. 少子化問題に対し市の全課が連携した取組が必要。

A. 少子化問題は市の重要課題ですので、全課が連携した取組を行うよう働きかけます。

Q. まちづくり地域計画書の作成を求められるが、その計画書を作成することもできないくらいの少ない地域もある。

計画書作成が目的ではなく、地域まちづくりが進むことが大切なのではないか。

A. まちづくり地域計画書の作成は必要です。この意見は地域住民の減少や計画策定に慣れた人材がないという課題もふくまれていると考えます。計画策定をサポートする体制も検討する必要があるかもしれません。

Q. 人間ドック希望者が支所窓口で受付できるようにしてほしい。葉書で申し込む場合、個人情報の上にはマスクシールをすべき。

A. 個人情報保護の観点からも大切なことです。担当課に改善を提案します。また人間ドックの申込み等健康に関する申請も身近な場所で行えるよう改善を提案します。

※他の会場への回答は市議会ホームページに掲載しています ⇒



【お問合せ先】 浜田市議会事務局 0855-25-9800

【自由意見などへの回答（三保まちづくりセンター）】

Q. 公共交通問題、地域の現状に合った運行を。

A. 令和5年度末、公共交通の再編が行われます。地域のニーズに応えられるよう、執行部へ要望します。

Q. 学童、児童クラブが6年生まであり、地域の人と接する時間が少なく、現状、地域の人と関りはなくなった。よって意図的、目的をもって小さい頃から行っている地域の人と接する機会を多くするべきだ。

A. 伺った現状・ご意見を踏まえ、委員会で協議を行います。

Q. 障がい者の方のスキルアップを応援してほしい（以前NHKドキュメントで障がい者をバックアップしている企業が紹介されていた。浜田市、もしくは石見地区にそのような企業やNPO団体はないのか）。

A. 報道を確認し、市内の現状を精査します。障がい者支援は重要課題です。有効な施策ならば担当課も検討をしてほしいと考えます。

Q. 健康寿命を延伸する取組をしっかりと検討してほしい。

A. 担当課に提案してその結果を回答したいと考えます。

Q. 商店の閉鎖について、地元唯一の食料品店が閉鎖すれば不便となり、買い物難民が増加する。

A. 公共交通の利用をお願いすることになりますが、利便性について調査検討するよう働きかけます。移動販売など市内での取組や全国先進地での取組を関係事業者等へ紹介するなど働きかけてまいります。

※他の会場への回答は市議会ホームページに掲載しています ⇒



【お問合せ先】 浜田市議会事務局 0855-25-9800

【自由意見などへの回答（白砂まちづくりセンター）】

Q. 民生委員・児童委員の担い手がいない。

1人の方に任せるのではなく、組織として受けるようにしてもらえると複数人で地域の高齢者や子供を見守ることができる。

A. 過度の負担も担い手不足につながっていると考えます。制度や仕組みそのものに関わる問題でもあるため、負担軽減の工夫等も含めて研究していきます。

Q. 過年により補償額が減少し、ハウス等の修繕費の増加が農業継続支障となり得るのでそこに補助を。

A. 改修や修繕等にかかる費用の支援や、放置されているハウスが再利用できるよう働きかけてまいります。

Q. 認定農業者以外へ手厚い補助を。

A. 機械購入時などに対して高額少額を問わず、認定農業者以外の方への効果的な方策が検討されるよう働きかけてまいります。

Q. 草刈りについて、道路のり面の除草は人員不足である。

A. 対策としては、ボランティア隊の受入れや防草コンクリートの施工、地域建設業者への委託等もありますので、費用面も含め検討するよう働きかけてまいります。

※他の会場への回答は市議会ホームページに掲載しています ⇒



【お問合せ先】 浜田市議会事務局 0855-25-9800

【自由意見などへの回答（岡見まちづくりセンター）】

Q. 部活動が自由になった（なぜ）。地域活動に位置づけてはどうか。

A. 部活動は義務ではなく元々任意のものです。また、中学校における地域系部活動の設置も良いアイデアに思います。まちづくりセンター及びまちづくり推進委員会から学校へ働きかけてみてはいかがでしょうか。また、部活動においては地域移行が検討され始めています。受け皿づくりが急務ですが、指導者に対する報酬問題や安全の確保など課題は多いです。国や県の動向も注視しながら、部活動の選択肢の提供を含めた環境改善に委員会としても努めます。

Q. 子どもとの交流や地域間交流へ活用できる移動車両確保。

A. 福祉バスの利用制限もあることから、あいのリタクシーの活用も含め研究してまいります。

Q. 親御さんの支援が必要。子ども以上に親が悩んでいるのでは。窓口つくるだけではだめ。悩みがあったときに助けを求められる何か家庭支援ができないのか。場所があることが地域の力ではないのか。

A. 学校、教育委員会、民生児童委員、子ども・子育て支援課、やまびこ学級、青少年サポートセンター、子育て世代包括支援センターなど相談窓口は様々ありますが、身近な相談しやすい場の確保についても研究してまいります。

Q. JAのところでは皆さんが出てくるときに血圧を測ったりしている。そういうときにミニ講座などを入れてくれると考える機会になるのでは。

A. 集いの場を活用した講座は大切だと思いますので、担当部局へ提案してまいります。

Q. 食改さんが塩分測定器を持って職場訪問している。測定器を全家庭に配ってはどうか。気付きの提供が重要。議会だよりチェックシートなど啓発用のメッセージ等を載せてはどうか。

A. 日頃の塩分や野菜の摂取状況をチェックすることは大切ですので、減塩活動を進めるために市民の皆様にとって必要かつ有効な取組につながるよう研究してまいります。

※他の会場への回答は市議会ホームページに掲載しています ⇒



【お問合せ先】 浜田市議会事務局 0855-25-9800

浜田市議会主催の地域井戸端会にご参加いただき、ありがとうございました。

会場を分散した結果、延べ 200 人(前回比 159%)の市民の皆さまの意見を伺うことができました。

事前にお知らせしていたとおり、いただいたご意見に対し、議会としての対応を以下のとおりお知らせします。

【テーマ別にいただいた意見への各委員会の所感】

○子どもたちと地域の関わりについて（総務文教委員会）

たくさんのご意見、ありがとうございました。大変参考になりました。

子どもを皆で育てていこうという認識をお持ちの方々(地域)が多かったように感じました。私たちも同様で、子どもたちに地域が関わる(関われる)まちを目指したいと考えています。まちづくりセンター等が主導となって子どもを意識した活動を積極的に企画されているところでは、子どもを通じて保護者とも接点生まれ、地域内コミュニケーションの充実が図られている様子が見え、暮らしの安全確保、地域教育、歴史文化継承など、学校や家庭だけでは担えない地域の役割も改めて認識したところです。

一方で、少子化による子ども会活動の縮小や廃止を余儀なくされた地域も多く、地域の存続に対する危機感を共有しました。また、子どもたちの遊び場としての公園整備、部活動の選択肢確保や送迎負担の軽減といった要望も伺っています。

学校・家庭・地域が互いに補完し合う良好な関係構築が図られ、「協働」が形成されるよう、当委員会も引き続き調査研究するとともに、政策提言につなげてまいります。ご協力ありがとうございました。

○健康について（福祉環境委員会）

福祉環境委員会では健康をテーマに意見交換をさせていただく中で、身体だけでなく心も含めた健康について様々な角度から多くのご意見を頂きありがとうございました。地域で運営されてきたサロン活動が地域コーディネーターの削減により運営継続が難しくなっているのご意見は多くの地域から出されており、サービスが後退することのないようチェックしていきたいと思っております。サロン等の活動への参加や通院、買い物等、日常生活における移動手段の確保は中山間地のみならず市内中心部でも深刻化しています。人口減少と少子高齢化で組織団体の維持が困難になっており、行政と関係機関(社会福祉協議会等)、地域自治組織やグループ・団体との連携を大切に制度設計が課題となっています。市では令和6年度からの地域公共交通計画の策定に向けて、公共交通施策の検証と見直し作業が行われており、ご要望が計画に反映できるよう努めてまいります。浜田医療センターの放射線治療装置(リニアック)の更新のための治療中止に伴い、遠方の病院への通院を余儀なくされている現状も伺いました。これらの課題は一般質問や福祉環境委員会でも議論してきておりますが、改善に向けて引き続き研究し取り組んでまいります。今後とも福祉環境委員会の活動にご理解、ご協力をお願いいたします。

○農業・林業・漁業の問題点と希望について（産業建設委員会）

今回の地域井戸端会において、産業建設委員会では3つのテーマを基に要望や問題点についてお伺いすることができました。

いただいたご意見や問題点について、現地でお答えできることについてはお話しさせていただきましたが、十分な対応ができなかったのが現状です。残る課題については当委員会で協議を行い、委員会代表質問や個人一般質問の機会を活用して働きかけるなど、今後も市民の皆様の負託にお応えできる産業建設委員会活動を行ってまいります。

※他の会場への回答は市議会ホームページに掲載しています ⇒



決算資料の購入について

資料名称	価格(円)
主要施策等実績報告書	200
浜田市一般会計・特別会計歳入歳出決算書 浜田市一般会計・特別会計歳入歳出決算書附属書類	500
(意見書) 浜田市一般会計・特別会計歳入歳出決算等審査意見書 浜田市水道事業会計決算審査意見書 浜田市工業用水道事業会計決算審査意見書 浜田市健全化判断比率及び資金不足比率審査意見書	400
浜田市水道事業会計決算書	100
浜田市工業用水道事業会計決算書	100
浜田市下水道事業会計決算書	100
合計(全て購入の場合)	1,400

- ・ これらのPDFデータはタブレットに配信します。
- ・ 紙媒体で上記資料購入を希望される場合は、**料金を添えて8/21(月)の午後3時までに議会事務局の小寺まで申し出てください。**
- ・ 8/25の議会運営委員会時に会派分をまとめてお渡しします。
- ・ 上記書類の購入費は政務活動費の対象です。